

2012 年度総括

お陰さまで、無事5年目のスタートをきることができました。設立時に展望した自転車旅行の推進による持続可能なまちづくりは、空前の自転車ムーブメントと愛媛県・今治市両トップの牽引により、しまなみの観光・地域振興の切り札と位置づけられるまでになりました。実際、「しまなみ海道」を訪れるサイクリストは爆発的に増えています。レンタサイクルで手軽なサイクリングを楽しむ家族連れ、長距離サイクリングを楽しむ旅行者、近頃は、「しまなみ海道」をそれ、今治市のまちなかを回遊するサイクリストも多く見かけるようになりました。私たちの取組にも多様な方々のご意見やご参画を得る機会が増え、自転車通行量増加に伴う安全対策、自転車施策の本質的な意義の浸透といった市民向けの活動への命題も頂戴しております。自転車旅行者を受け入れる自転車先進地・しまなみに求められることを、多様な切り口で実践していければと思っています。

ここに2012年度の事業についてご報告いたします。会員の皆様におかれましては、ご意見・ご批評いただきますと共に、引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

目次

2012 年度事業報告	1
Ⅰ 事業ダイジェスト	1
Ⅱ 事業詳細	5
2012 年度決算報告	93
2013 年度事業計画	100
2013 年度活動予算	110

2012年度 事業報告書

自転車の聖地として人気が高まる「しまなみ海道」において、自転車旅行者と住民との交流促進、自転車旅行者受入環境整備、情報発信機能強化など、住民参画型の活動を展開した。周遊型・滞在型の自転車旅行スタイルの定着、自転車人口の裾野拡大など、わが国唯一の「海峡をまたぐ自転車旅行」の充実を推進し、未来の子ども達の笑顔につながる持続的可能な地域振興の取り組みとなった。

I 事業ダイジェスト

1. しまなみサイクリスト交流創出事業（緊急雇用創出事業）	詳細 P5～P20
「自転車を積載できる“サイクルトレイン”運行」、自転車休憩所「サイクルオアシス」等の受入環境をよりよいものにする ことで、来訪意欲喚起及び交流を促進し、滞在型・周遊型旅行地を形成、地域活性化へ寄与する。	
(1)「しまなみサイクルオアシス」の付加価値向上 オアシスの担い手と懇談、継続的な運営ビジョンを共有。研修会実施によるサービス検討。 成果:バックアップ機能を持つ「しまなみ島走レスキュー」への登録者を創出。 課題:継続的運営に向け、担い手の達成感の醸成のための関与やしきみが必要。	
(2)「サイクルトレインしまなみ号」の運行 9回の運行・延べ304名(内12名は子ども)乗車。情報提供等、車内サービスの実施。 成果:ファン獲得。しまなみ号の他地域への波及。 課題:乗車率56%・認知度不十分。区間の短さ、臨時便対応等の運行形態に改善の余地。	
(3)「サイクルトレインと連動した「ガイドツアー」の実施 島の季節感あるイベントを盛り込んだ5回のツアー企画・延べ22名(1回は催行不可)。 成果:住民交流を促進。リピーター確保等。 課題:集客率が低く、ビジネスの芽が見いだせない。イベントツアーの抜本的な見直し必要。	
(4)情報誌の発行 「自転車の聖地しまなみ海道」・「瀬戸内まるごとサイクルツーリズム」を製作・配布。 成果:県外のサイクルショップ、アウトドアショップへ配布。読者の反響大。 課題:紙ベースの情報・WEB情報の両輪活用の戦略確立を目標に。	
2013年度の取組 「しまなみサイクルオアシス」は追加整備及び担い手懇談会設置。	詳細 P104 へ
「サイクルトレインしまなみ号」はサービスを付加し、継続運行。	詳細 P99 へ
「ガイドツアー」は一泊二日ツアー・オーダーメイドに重点展開。	詳細 P103 へ
「情報誌」はシクロ機関紙・マップ発行・島走本の発行を展開。	詳細 P100 へ

2. 自転車旅行サポートシステム開発事業（愛媛県緊急雇用対策事業）	詳細 P21～P30
荷物を持たず身軽な旅を楽しみたいとのニーズ、“マイ自転車”を運びたいニーズを満たす運搬サービスを社会実験。 サービス確立化に向けた課題を整理し、新しいビジネス確率によるしまなみの自転車旅行受入体制整備に寄与する。	
荷物運搬の実験的実施(モニターツアーの実施(社会実験))・ステークホルダーとの意見交換 搬送モニター公募による2回のツアー催行。個人旅行者の荷物搬送を期間限定で実施。 成果:エリア内での荷物運搬のサービス仕様が確定。MY自転車搬送提携先確保。 課題:既存の運送業者はサービス化の芽が見い出せず提携困難。	
2013年度の取組 「荷物運搬サービス」は荷物らくらく便として土日サービス開始。	詳細 P101 へ

3. しまなみスローサイクリング普及事業（愛媛県東予地方局委託事業）	詳細 P31～P45
自転車とグリーンツーリズム(GT)をつなぐ視点をベースに、しまなみエリアを点～線～面へと結ぶ観光スタイルを普及し、地域との交流を促進。活力の低下が続くしまなみ地域(今治市島嶼部、上島町)の活性化を目指す。	
(1)しまなみサイクルレスキュー(仮称)整備事業 怪我や自転車の故障時の救援システムを模索。募集と研修により、サポート体制を整備。 成果:「島走レスキュー」の名称でしくみ化。タクシー会社 4・ポイント 14 整備。尾道へも波及。 課題:本質的な役割の整理(求められている機能とできるサービスのギャップあり)。	
(2)しまなみグリーンサイクリングフォトラリー・100倍楽しむツアー 「グリーンツーリズム体験(GT)」、「サイクルオアシス」を巡るフォトラリーを開催。 成果:65点の応募。入賞者に特産品+情報を提供。同時開催ツアーは4回催行。 課題:GTを楽しむサイクリストは稀有。個人ではチョイスしにくい・担い手の柔軟対応も課題。	
2013年度の実組	詳細 P102 へ
オアシス・レスキューに加え、サイクリストの宿の情報発信準備。	詳細 P102 へ



4. しまなみサイクリスト施設緊急整備事業	詳細 P46～P50
しまなみ海道愛媛県エリアで、サイクリストが快適にサイクリングを楽しめるよう、公共的な施設やサイクリスト立ち寄りポイントへの備品整備を進め、受入体制を整える。	
サイクルスタンドと自転車修理工具の整備 市町、受入住民との協議を進め、設置、手続き等の共有をした。 成果:サイクルスタンド26基、自転車修理工具20セットを設置。 課題:スタンドは目立つ場所に複数ある理想環境とは言えない。民間業者の自助努力も期待。	



5. まちなか活性化を目的とした、サイクリストおもてなし事業（市町モデル事業）	詳細 P51～P76
域資源「瀬戸内しまなみ海道」をいかし、サイクリストと市民の交流創出、市民への自転車の魅力啓発を進め、空洞化が進む中心市街地再生のしくみづくりを進めた。	
(1)自転車移動カフェ“シクロカフェ”のしくみ創出 公園、店舗前空間等の公共空間に、サイクリストを誘客するカフェオープン。 成果:カフェ 13 回(1300 人) ヒロバ 12 回(850 人)メニュー開発試食会 2 回実施。 課題:継続的運営に向け、ビジネスマインドを持った提携者発掘。ヒロバ維持の資金繰り。	
(2)就労支援作業所との提携商品「サイクリスト土産」の開発 就労支援作業所との懇談会の実施・商品開発 成果:協働先NPO等とのコラボ開発で複数のアイテム完成。商品カタログ完成。 課題:2012年度は販売実験をするも売れない。販路の開拓が課題。	
(3)自転車マナーUPのしくみ創出 曖昧な自転車ルールの学習機会として「出前講座」のしくみ化 成果:出前講座4回(体験者:約240人 ※自転車安全運転宣言者)。 課題:地道で息の長い活動が必要。徒歩・自転車・車の道路シェア提言がビジョン。	
2013年度の実組	詳細 P105 へ
自転車移動“シクロカフェ”は「自転車ヒロバ」とセットで定期出店。	詳細 P105 へ



6. 瀬戸内サイクルアクティビティ構築事業（愛媛未来づくり協働提案事業）	詳細 P77～P89
大・島博覧会のインパクトの要となるサイクリングロードの観光資源の付加価値向上を目指し、瀬戸内海を自転車と船で周遊するダイナミックな旅行提案とその受入基盤整備により、地域ファン獲得や地域振興の担い手育成を進める。	
(1)しまなみ海道沿線の航路現状調査 現存する航路の発着港、経由地、自転車積載台数等を調査した。 成果: 自転車積載に制限がある航路が可視化。 課題: 自転車積載台数向上を提言。一方、複雑な航路で個人では利用に限界感。	
(2) 波方町周辺住民を対象とした地域資源のブラッシュアップ・商品構築イベント 自転車のサブブランドとなる地域資源を整理するための座談会等開催 成果: 3回の座談会・1回のイベントで、自転車による地域振興への可能性共有。 課題: キーマン発掘・プログラム構築は見えるも、実働部隊には若手参画も必須。	
(3) 船を活用したパイロットツアーの企画・実施 日帰り(上島1回・大三島1回)、1泊2日パイロットツアー(1回)を開催。 成果: 3回のツアーで船を活用したダイナミックなツアーの可能性検証。 課題: チャーター船活用ツアーは利用者負担で実施できる集客力が必須。	
2013年度の取組	詳細 P103 へ
船を活用したツアーは継続展開。 波方エリアでのサイクリスト受入総合拠点設置を模索。	詳細 P104 へ

7. その他の自転車ツアー	詳細 P90
自主事業として、旅行会社、地元の宿泊事業者とタイアップしたツアーや個人旅行者のオーダーによるツアーを販売。島を周遊するスタイルを盛り込んだ独自性あるガイドツアーを行った。	
パートナーツアー、」オーダーメイドツアーの企画、販売。 今治国際ホテル、道後温泉八八、毎日新聞旅行とのタイアップで実績。オーダーメイドも。 成果: 社員旅行のオーダーメイド等、継続的なつながりも感じるツアーあり。 課題: 年間13本(63名)と催行数が少ない。事業の柱になりにくい。	
2013年度の取組	詳細 P107 へ
継続するが、抜本的な見直しは先送り。	

8. 物品販売	詳細 P90
事業「5-(2)」と連動する形で、サイクリスト向け土産の開発と販売を展開し、しまなみ自転車旅行者のおもてなしに寄与すると共に、しまなみファン・シクロファンづくりを目指す。	
サイクリストを意識した土産の開発と販売 2012年に引き続きTシャツ、タオル等を販売。サコッシュ等新規商品も。 成果: 島走マップの販売数はコンスタントに維持。オリジナル商品の顔に。 課題: 対面販売を基本としつつも、販売チャンネルの拡大が課題。	
2013年度の取組	詳細 P107 へ
しまなみ島走本の商品化。他社との販売提携模索。	

9. 講師派遣/ 10. 審議会委員会への参加	詳細 P91～ P92
しまなみ自転車旅行振興による地域活性化の使命を達成する現場として有意義であることから、積極的に参画。観光振興に留まらず、持続可能なまちづくり、暮らしの足元を見直す仲間づくりの啓発を意識しての取組。	
講演形式、ワークショップ等への講師派遣。審議会委員会への委員就任。 企業・教育機関・団体等の依頼に応じ、人材を派遣。 成果：8機関(10回)の講師派遣。4機関の審議会委員会の委員就任。 課題：研修プログラムや派遣のしくみが可視化されれば、依頼が増加する可能性あり。	
2013年度の取組 依頼に基づき対応。研究プログラムの造成も視野に活動。	詳細 P107 へ

11. 今治市中心市街地再生事業 事務局	詳細 P92
「しまなみ海道」を目的地に来訪する自転車旅行者を、中心市街地まで誘客し、賑わい創出を目指す「サイクル部会」の事務局を担当。	
(1) まちなかサイクリングの推進 中心市街地誘客及びまちなか滞留のプログラム造成と空間演出。 ○自転車まちづくりトーク(講演会)開催○まちなか散走の実施 ○サイクルスタンドデザインコンテストの開催○サイクルオアシスのまちなかオープン 成果：まちなか回遊の息吹が醸成。浜風海道のルート可視化。 課題：島とは異なり、交通量が多いまちなか散走の誘客に懸念材料あり。	
	
(2) 自転車利用の意識向上 自転車先進都市に相応しい人材育成、啓発活動の展開。 ○いまばりスマートライドの開催○ONヘルメットONライドプロジェクト ○ONヘルメットアイデアコンテスト開催○しまなみランニングバイク選手権開催 成果：スマートライド・RB選手権は今治のイベントとして高評価。 課題：啓発事業のため、収益が見込めず、継続展開の資金繰りが課題。	
	
2013年度の取組	サイクルスタンドの製品化と設置
	サイクルオアシスのまちなか追加整備
	いまばりスマートライドの開催
	しまなみランニングバイク選手権開催
	詳細 P105 へ
	詳細 P104 へ
	詳細 P105 へ
	詳細 P107 へ

12. 会議に関する事項について
(1) 総会 ①第4回通常総会 日時：平成24年4月23日(月)19:30～ 会場：今治市民活動センター 大会議室 議題：○2011 年度事業報告・収支決算報告○2012 年度事業計画・収支予算の件○定款変更の件 (2) 理事会 ①2012 年度第1回理事会 日時：平成24年4月23日(木)18:30～ 会場：今治市民活動センター 大会議室 議題：○2012 年度事業計画・収支予算の件○役員・有給役員の件○総会に付すべき事項の件 ①.....2012 年度第2 回理事会 日時：平成24年5月12日(土)19:00～ 会場：今治市民活動センター 大会議室 議題：○代表理事の選任の件○スタッフ雇用の件○補正予算の件 (3) その他運営会議 ① 企画立案会議 8回開催 ② 広報宣伝会議 12回開催

Ⅱ 事業詳細

1. しまなみサイクリスト交流創出事業（緊急雇用創出事業）

自転車旅行者のニーズを具現化したサイクリスト休憩所「しまなみサイクルオアシス」の担い手スキルアップ研修、定評を得ている「サイクルトレインしまなみ号の運行」とガイドツアーの実施、またガイドブックの発行等を進め、地域と自転車旅行者の継続的な交流の創出に取り組んだ。

（1）サイクルオアシスの付加価値向上

①サイクルオアシスの担い手ヒアリング

平成23年度に整備した「しまなみサイクルオアシス」の機能充実を目指し、担い手のヒアリングを実施した。オープン当初から船の待ち時間までの休憩やトイレ利用で訪れるサイクリストが多く、空気入れの借用もあるオアシス。体験や食事ができるオアシスでは、目的地としての来訪も見られる。サイクリストウェルカム雰囲気にとくさんのサイクリストが訪れるオアシスがある一方、全く来訪がないオアシスもあるなど、担い手のやりがいの創出面では課題が感じられた。



（聞き取った意見）

★担い手から

- ・短時間でのストップがほとんど。最初は、何と声をかけていいか戸惑ったが、話していると、元気をいただけるので、楽しい。
- ・サイクリストはマナーが良いので安心。
- ・空気入れはとても喜ばれた。
- ・サイクリストが観光情報をはじめ、地元の情報を必要としていることが分かった。
- ・「どこかに食べるところはないですか？」と聞かれることが多く、島の中の「食」の情報が不足していることが分かった。
- ・「しまなみ島走マップ」は大好評で、あっという間になくなった。補充が欲しい。
- ・情報が不足している。
- ・ベンチを固定させて欲しい。
- ・スタンドのビスが抜ける。修繕が必要。
- ・情報スタンドが風雨でカビがはえてしまった。
- ・お遍路さんなど、島内を歩いている人にも喜ばれている。
- ・利用がまったくない。

★サイクリストから

- ・地元で温かく迎えられる感じがしていい。
- ・タペストリーがステキ。
- ・地元との人と交流できていい。
- ・自転車の修理工具が欲しい。
- ・チューブ等の販売があればありがたい。
- ・喫煙できる場所が欲しい。
- ・休憩もでき空気入れなども備えたサイクルオアシスがあるのは、とても心強い。
- ・がんばって走らなければならないときも、オアシスを目標にできる。
- ・堂々と休める場所があって助かる。
- ・大勢の人に案内して、利用しやすくすべき。
- ・看板がちょっとわかりづらい。
- ・自然と一体になれる場所にあり、くつろげる。
- ・オアシスがあると思うだけで、しまなみツーリングがとても安心できる。
- ・もう少し特色をだして寄ってみたいなどと思わせる仕掛けがあるとよい。
- ・お土産とかも買えるオアシスがあるとよい。



オアシスの担い手からは、●現状を維持しつつ、PRをして利用者を増やしたい、●対応できる時はサイクリストと交流したい、との意欲的な声が聞かれた。そのためには、サイクリストが欲している情報の充実や体験プランの創出（例えば、食事・島四国遍路との組み合わせによるプラン作成など）の声があがった。同時に、しくみを構築した行政サイドのビジョンを聞きたいとの意見も多く聞かれ、設置した行政、運営を担うNPOや住民との協働運営の在り方を再検討し、今後の持続的な運営に向けた具体的な支援をする体制が求められると感じた。

②サイクルオアシス担い手スキルアップ研修によるコア拠点の整備

自転車旅行者の休憩所「しまなみサイクルオアシス」の担い手は、往来するサイクリストが目に見えて増える日常に、サイクリングブームの高まりを肌で実感。ペダルをとめて、ほっとできる空間である「オアシス」では、横になって体を休めるサイクリストも。そんな中、パンク等の自転車トラブルが起こった際に、バックアップになればと、愛媛県が自転車用の修理工具を全オアシスに整備した（しまなみサイクリスト施設緊急整備事業の一環）。

そこで、工具の使い方等に興味があり、工具貸出に留まらず、修理請負に関心がある担い手を対象に、自転車のバックアップに関する講習会を開催した。



＜ブレーキ点検＞

スポーツ車のブレーキ構造を理解し、調整の仕方を説明



＜ヘッドステムの点検＞

ハンドルのガタツキを点検し、調整の仕方を理解する



＜空気圧の点検＞

リム打ちパンク等のトラブル回避は適正空気圧が重要



＜ホイールのはずし方＞

修理のためにホイールの外し方と取り付け方を説明



＜タイヤのはずし方＞

ホイールからインナーチューブを取り出す方法を説明



＜タイヤのはずし方＞

リムからインナーチューブの取り出し方を習得



＜パンク穴の修理＞

パンク穴を見つけてパッチを貼る要領を説明



＜パンク穴の点検＞

ピンホールパンクなどは水を使って穴を見つける



＜パッチの貼り方＞

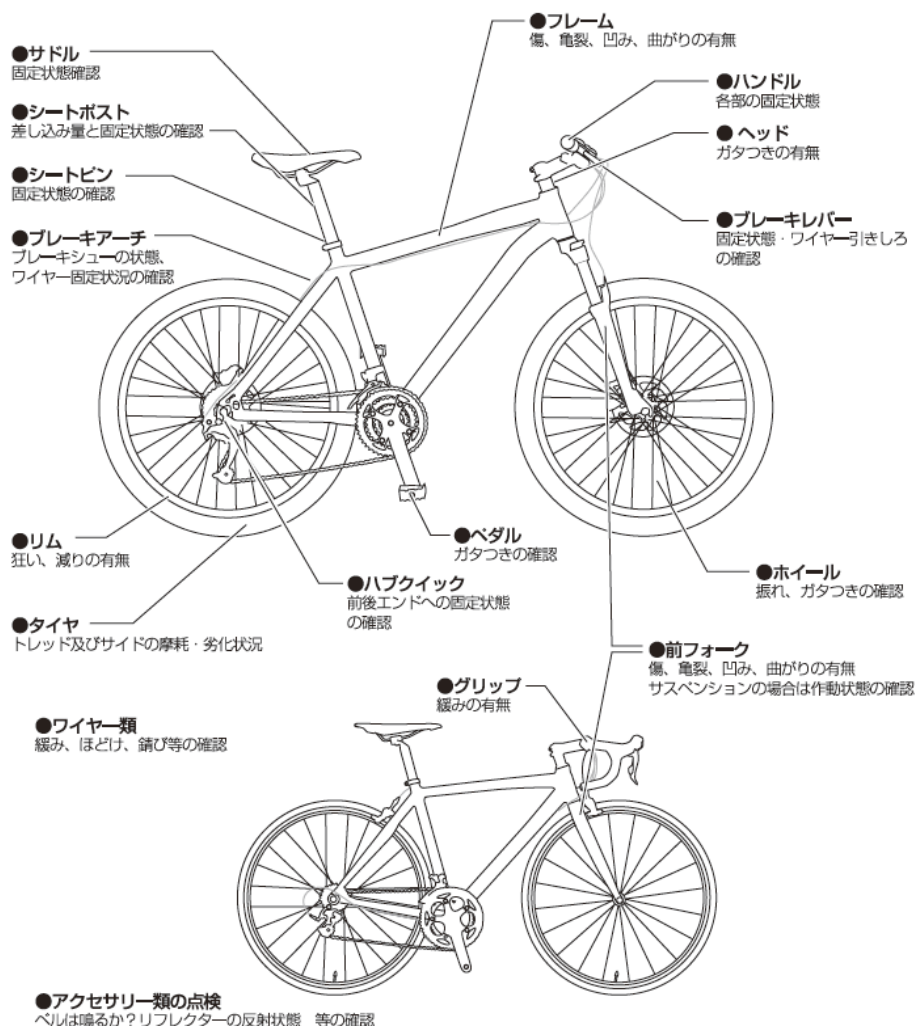
パッチの正しい張り方のコツと要領を習得

オアシスの担い手を対象にした研修会では、サイクリストの立場に立って、どんなトラブルがあり、どんな助言をすればいいかを熱心に学ぶ姿が見られた。その後の個別の相談などを経て、既に整備されていた「しまなみサイクルオアシス」のうち、3箇所はトラブル時のバックアップ機能を持つ「しまなみ島走レスキュー」として登録。活動をスタートすることができた。

(島走レスキューの担い手が習得した内容) ※講習会時、配布資料より

★スポーツバイクのパーツの名称

基本的なパーツの名称は言えるようになっていただきました。



★乗車前点検の手順

走行中に自転車トラブルが起こり、ヘルプを求めて立ち寄った際、次のサイクリング時には心がけてほしい「出発前点検」についての助言ができるようになって欲しいと、学習をしていただきました。自らが簡単にチェックして出発する習慣、そして「いつもと違う感じ」がある時には、必ず専門店で点検してもらうことが大切との助言ができる担い手を育成しました。

ブレーキのチェック



前後のブレーキを交互にかけて車体を前後にゆすり効きを確認。

(チェック項目)

- ☐ ブレーキはしっかりと効きましたか？
- ☐ ワイヤが伸びて引き代が大きくなっていませんか？
- ☐ ワイヤの取り付けネジが緩んでいませんか？
- ☐ ブレーキパッドは消耗していませんか？



左：新品のブレーキシュー
右：磨耗したブレーキシュー

タイヤのチェック



タイヤを親指で押すなどして確認。

(チェック項目)

- ☐ 空気は十分にはいっていますか？
(親指で押してもへこまない。野球の軟球くらいの硬さ)
- ※空気圧計でのチェックがベスト

ロード：6～8気圧・クロス：4～6気圧・MTB：2～4気圧

- ☐ 摩耗、ひび割れはありませんか？
(溝があるタイヤは溝がなくなっていたら寿命)

下地が見えるほど消耗
→パンクの危険



ハンドル・ブレーキレバーのチェック



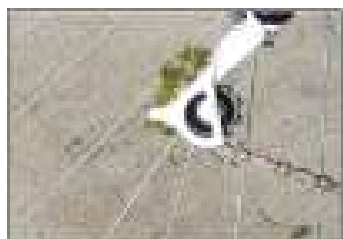
前輪を股に挟んでハンドルを前後・上下・左右に揺さぶり確認。

(チェック項目)

- ☐ ハンドルはしっかりと固定されていますか？
- ☐ ブレーキレバーはしっかりと固定されていますか？

動いてしまうようなら、ネジの締め付け不足。増し締めを。

チェーンのチェック



チェーンを回して音を確認。

(チェック項目)

- ☐ 「チャリチャリ」ときしむ音がしませんか？

音がする場合は油切れです。チェーンを洗淨した後、油を適量まんべんなく注し、空転させて隅々まで行き渡らせ、その後、布をあてながらチェーンをしごくように油を拭き取ります。

★パンク修理の手順

走行中に起こるトラブルで一般的なパンク。担い手には実地講習で学んでいただきました。繰り返して行い、覚えていくことが大切なことから、継続的に質問などを受け付けながら身につけていただきました。

① ホイールを外し、タイヤレバーを使ってタイヤとチューブを取り出す。



1本目のタイヤレバーをタイヤとリムの間に入れ、タイヤを持ち上げる。



もう1本のタイヤレバーで1本目の近から徐々にタイヤを持ち上げていく。



ある程度持ち上げれば手で簡単に外せる。バルブ部分は注意して真っ直ぐ抜くように。

② パンク穴を探す。



水槽の中で穴を探す。水槽がない場合は、耳を近づけ音と吹き出る空気を探す。



マーカで印をつけると穴を見失いません。穴は複数ある場合も。見つけた穴の裏側に別の穴があることも。



③ パッチをはる。



- チューブの表面にパッチより大きめにヤスリをかけ、表面を荒らして溶着剤を塗る。溶着材は薄くぬるのがコツ。
- 溶着剤を十分に乾かす。(5～10分)
- 裏の銀紙を剥がしパッチを貼り付ける。タイヤレバーなどを使ってパッチの端まで押し付け、パッチの保護シート(透明のフィルム)をはがす。

穴の数だけ、abcを繰り返す。※連続している穴には、横長のパッチでまとめてはるのもテクニック。
bの工程で、穴がふさがったか確認。

④ 取り付ける。



パンクの原因となった異物がタイヤに残っていないかタイヤをチェックする。



軽くチューブに空気を入れ、タイヤに納め、バルブからホイールに取り付ける。タイヤレバーは使わない方がベター。チューブのねじれ、噛み込みに注意。



自転車に取り付け、走行前チェック(ブレーキのセット・ホイールをフレームのセンターに設置)

研修やヒアリングを通して、自転車のトラブルは質の多様性、個別性が多く、担い手のスキルアップに委ねるには限界があるとの意見が寄せられた。また、マイ自転車で訪れるサイクリストは自身で最低限度の工具などを持参していることが多いが、域内のレンタサイクル利用者がトラブルを抱えて訪れることもあり、レンタサイクルステーションとの連携の必要性も感じるとの声もあった。

(2) サイクルトレインしまなみ号の利便性向上

①サイクルトレインしまなみ号の運行

しまなみのたもとまでの二次交通として、自転車を解体せず、そのまま車内に持ち込める「サイクルトレインしまなみ号」を運行し、自転車旅行の先進地としての基盤整備を進めた。

①実施日

平成24年 5/6(日)、5/20(日)、6/3(日)、7/1(日)、8/5(日)、9/2(日)、10/7(日)、10/21(日)、11/4(日)

②運行ダイヤ

往路：松山駅 7：33頃 → 波止浜駅 8：48頃

復路：波止浜駅 17：44頃 → 松山駅 18：50頃

(10月21日は来島海峡サイクリング大会の開会に合わせて往路の運行時間を30分程度早め、松山駅6：53頃 → 波止浜駅 8：11頃の運行とした。)

平成24年度 サイクルトレイン乗車状況

乗車人数(定員30名)

		往復	往路のみ	復路のみ	往路合計	復路合計	合計	乗車率
1	5月 6日(日)	29+子1	0	0	29+子1	29+子1	58+子2	100%
2	5月20日(日)	25+子1	0	3	25+子1	28+子1	53+子2	92%
3	6月 3日(日)	8	0	2	8	10	18	30%
4	7月 1日(日)	6	0	0	6	6	12	20%
5	8月 5日(日)	14+子1	0	0	14+子1	14+子1	28+子2	50%
6	9月 2日(日)	8+子1	0	0	8+子1	8+子1	16+子2	30%
7	10月 7日(日)	9+子1	2	0	11+子1	9+子1	20+子2	37%
8	10月21日(日)	30	1	0	31	30	61	102%
9	11月 4日(日)	13+子1	0	0	13+子1	13+子1	26+子2	47%
合 計		142+子6	3	5	145+子6	147+子6	292+子12	Av. 56%



車内では、しまなみ海道の観光情報を伝えたり、島走マップ配布により走行行程の相談にのったりと、自転車旅行の充実に資するサービスを展開。また、“オリジナルソング「走れ！サイクルトレイン」”を流し、社内でのひと時を楽しく演出した。

②サイクルトレインに連動したガイドツアーの実施

地元らしい体験や食、土産などを付加した自転車ツアーを企画・実施した。しまなみ海道やその沿線の島々の隠れた魅力をポタリングガイドが案内し、自転車旅行者と地域とを橋渡しするツアーとなった。参加者の体力や嗜好などに合わせ、安心感や手軽感のあるツアーは自転車ビギナーにはもちろん、走りなれた方でも交流を望むサイクリストに好評であった。

●しまなみを真ん中まで制覇！ しまなみ海道ハーフライド

実施日：平成24年5月6日（日）

参加者：12名

見どころさがちなスポットや路地裏を巡りながら、大島・伯方島・大三島を楽しむツアーとなった。ツアー名称の通り、「しまなみ海道」を半分、走破できる定番の人気ツアーとなった。帰路は高速艇を利用するが、船への積載自転車数が限られていることが運営上の課題である。

[ツアーレポート]

■9:45am 来島海峡大橋

朝のうち怪しかった天気も、出発までにはぴかぴかの晴れ空に。気分も上々、追い風受けてすいすい進んで、気持ちよさ満点。



■11:00am 大島 田浦峠

泊地区の海岸線を気持ちよく走ったら、次は田浦峠越え。「下りは絶景で爽快だよ」というガイドの声に励まされて、懸命に登る。



■11:50am 伯方島 道の駅「伯方 S・C パーク」

海を見ながら『しまなみ二輪弁』でランチ。本日の二輪弁は、ひじき、刻み梅干し、たこ飯の3種のおにぎりと蕎麦の煮物、卵焼き、プチトマト。大満足。



■13:20pm 大三島 工房「こりん」

多々羅大橋を望む絶景ポイントにある「こりん工房」の庭でおやつタイム。グリーンツーリズム体験「フルーツピザ」は、パリッと最高！



■15:30pm 大三島 大山祇神社

厳粛な気分でお参り。もちろん、お願いするのは「無事故・安全」。静かなブームのヘルメットお守りは大好評。



■17:20pm 波止浜駅

約52kmの行程を無事、完走。「しまなみを自転車で走るのが夢だった」というお客様の声もいただいた。満面の笑顔で解散。

●島の神秘に大接近！ 大島石の秘境ツアー

実施日：平成24年6月3日（日）

参加者：0名 催行中止

大島の名産品である「石」の文化をテーマに、地元住民が売り出しに力を注いでいる石文化体験ツアーとのコラボを企画していたが、自転車で走りたいという明確な目的を持つサイクリストたちには、訴求力を欠く結果となった。

●自転車ライフをスキルアップ 輪行で行こう！

実施日：平成24年7月1日（日）

参加者：3名

自転車のムーブメントを受けて、自転車のスキルアップに熱心な大学生、自転車通勤に励む女性たちに支持されて、この梅雨の季節、雨の予報にも関わらず開催した。自転車の特徴に特化した企画の有効性を認識し、さらなるスキルアップツアーの開催を要望された。

[ツアーレポート]

■9:30am 来島海峡大橋

雨のしまなみ海道。モヤにつつまれた来島海峡大橋を自転車で走る。
眼下から、行き交う大型船の警笛が響く。



■9:45am 大島

いきなりのパンク発生。しかも立て続けに2台も！勉強熱心な参加者の皆さん、スタッフから手順を教わりながらチューブ交換にチャレンジ。



■11:50am 大島

2回のパンクトラブルを乗り越えて伯方島に接近。すっかり雨も上がり太陽がサンサンと！グッと気温が上がり汗ばみながらペダリング。



■13:20pm 伯方島 木浦港

輪行講習＆実践。ツボを得た懇切丁寧なレクチャーで、メカを触るのが苦手な人でも安心してトライ。簡易式輪行方法を習得してスキルアップ！



■14:25pm 伯方島 木浦港

伯方島発今治行きの快速船に乗船。輪行術をマスターすれば、遠くまでの“おでかけサイクリング”が可能に。要領を忘れないよう復習を！



■16:05pm 今治城

今治市内ミステリーツアーを速攻企画。今治市内お勧めポイント「迷城、洋館風銭湯、南光坊」などを自転車散走。スペシャルツアーに大満足。



● 2輪4脚でGo！ タンデム自転車ポタリング

実施日：平成24年9月2日（日）

参加者：2名

タンデム自転車が公道走行できる愛媛県の独自性を打ち出すことができるツアーとして、昨年度に引き続き実施したツアー。大島をぐるり一周するツアーで、目まぐるしく変わる風景、島民のお接待心に触れる「島四国」のお寺への立ち寄りなど地域性があるツアーとなった。

[ツアーレポート]

■START

夏休み最後の日曜日のツアーはキャンセルが続出し、兵庫から来訪のひと組のカップルだけの催行となった。



■9:20 来島海峡大橋

タンデム自転車で感じる風、光、空気を浴びて、「気持ちいい〜^^」を連呼して、蒼い世界を快走中！



■10:00 大島 西海岸

かぎりなく透明なブルーの海岸線。ワインディングカーブを抜けると忽然と現れる造船所。静と動の織りなす風景のギャップが面白〜いと絶賛。



■11:00 大島 西海岸

島四国 88ヶ寺のひとつ「86番 満福寺」で、亀のミイラを拝む。
なぜ此处に？という疑問は、昔話を聞いて納得。



■13:00 大島 北海岸

「波に乗るより潮に乗れ」...はるか昔、この瀬戸内海を治めた村上水軍の教訓を、目の当たりにする潮流見学ポイントへ。水の速さに絶句！



■13:30 大島 東海岸

ちょっと遅めのランチタイム。ひっそりとした海岸線に佇む食堂で、天然酵母パンを使用したサンドウィッチに舌鼓。地野菜にオリジナルソースが絶妙。



■15:30 大島 東海岸

大島をほぼ一周して帰路に。「だんだんとコツがつかめて、楽しく走ることができた」とタンデム自転車の感想を寄せてくれた。
「自転車を買ってしまうかも！」と、自転車大満喫のご様子。



●伯方島スペシャル 畑 de カフェ

実施日：平成24年11月4日（日）

参加者：5名

サイクリストとの交流に積極的な島民が増えつつある中、農業従事者を中心に構想が実現した「畑カフェ」はグリーンツーリズムメニューとしての受入が本格化しており、コラボレーションが実現した。青空空間での体験とランチは、アウトドア志向のサイクリストの満足度が高いプログラムとなった。

[ツアーレポート]

■START

今年度最後のサイクルトレインが波止浜駅到着。朝の冷え込みに身をすくめながら、でもみなさん元気に笑顔で、愛車とともにホームに降り立つ。



■9:30am 来島海峡大橋

曇り空で少々寒さを感じますが、来島海峡大橋はやっぱり気持ちいい～。
でも、橋の上は風がキツ～イ。この時期、暑さ寒さの判断が難しい。



■10:15am 大島

伯方・大島大橋を目指す途中、何やらにぎやか。石材会社がフェアを開催中。ちょっと寄り道。墓石の値段に「おおっ!」、石の加工技術に「へえ～」。



■12:30pm 伯方島 沖浦

本日の目的地、伯方島沖浦に到着。本日のみ営業の『畑 de カフェ』がオープン。さっそくみかん狩り。裏年ながら、甘くてすっぱくておいしい。



■13:00pm 伯方島 沖浦

そしてピザ作り。生地を伸ばして、伯方産の野菜やイカなどトッピング。
ポテトサラダ、ほうれん草のポタージュも用意してくれていて、大満足。



■13:30pm 伯方島 沖浦

デザートは、石窯で焼いたサツマイモと、島の天草とレモンをたっぷり使った新感覚のドリンク「飲むトコロテン」。今、商品開発中!

■17:44pm 波止浜駅

途中、バラ公園などに立ち寄りながら、波止浜駅に帰着。今年度、最後のサイクルトレインに合わせたツアーが無事終了。



サイクリングの聖地として注目を集める「しまなみ海道」の魅力を伝える2種の媒体を発行した。

レンタサイクルで手軽なサイクリングを楽しむ家族連れから、マイ自転車をマイカーに積載し、長距離サイクリングを楽しむ旅行者まで幅広いターゲットにその魅力を伝える冊子を発行した。

② 瀬戸内まるごとサイクルツーリズム（広報誌）

「しまなみ海道」の魅力を高める要素として、住民手づくりの受入体制「しまなみサイクルオアシス」。「しまなみ島走レスキュー」について、利用促進や住民理解につながる広報誌を発行した。

「しまなみ海道」沿線を走行したり、住民提供の体験に参加したりしながら、訴求力ある資源をリサーチ。

サイクリスト視点でタイトルやリードを編集。手にとってもらえるデザインを専門家と検討。



○成果物：自転車の聖地しまなみ海道（冊子）



〔配布〕

出来上がった媒体は、誘客に直結するよう、ノベルティを添え、首都圏・関西圏のサイクリスト来訪施設への営業や郵送による設置依頼を展開した。



＜ルナサイクル＞
（神奈川県・横浜市）
自転車搬送サービス提携店を
訪問し、情報を交換した。



＜サイクルランドコープ＞
（東京・品川区）
自転車搬送サービス提携店を
訪問し、ヒアリングを実施した。



＜Y'S Road サンシャイン通り店＞
（東京・豊島区）
池袋随一のスポーツバイク専門店
にチラシ設置を依頼。



＜アートスポーツ＞
（東京・台東区）
スポーツショップの自転車専門
館にチラシ設置を依頼。



＜サイクリー西武新宿店＞
（東京・新宿区）
新宿の繁華街にある中古専門
バイクショップに設置を依頼。



＜サイクリー銀座店＞
（東京・中央区）
銀座の繁華街にあるショップを
訪問。継続した設置を依頼。



＜Café カーネネーロ＞
（東京・江東区）
都心で急増中の人気サイクルカフェ
を訪問し、客層の趣向性を確認。



＜CHI CHI Café＞
（東京・世田谷区）
人気の多摩川サイクリングコース
沿いにあるサイクルカフェに設置。



＜Only Free Paper＞
（東京・渋谷区）
各地のフリーペーパーを集めた専門
店に設置し、配布促進に努めた。



＜イーストリバーサイクルズ＞
（東京・江東区）
自転車搬送サービス提携店
を訪問し、しまなみ情報の発
信拠点の役割を依頼した。



＜サイクルショップ・チャーリー＞
（東京・豊島区）
在庫アイテム数豊富なショップを
訪れ、チラシ設置場所を確保
し、継続設置をお願いした。



＜ICIスポーツ西新宿店＞
（東京・新宿区）
新宿の繁華街にある、自転車用品も
完備したスポーツ用品店を訪
し、チラシ設置棚を確保した。



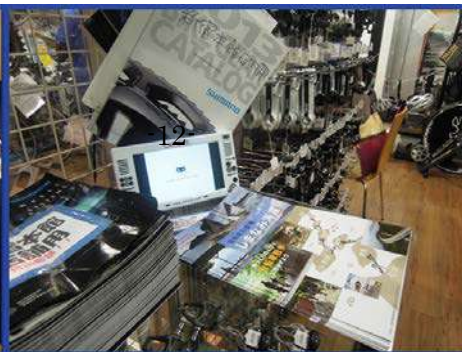
＜SRC新宿店＞
（東京・新宿区）
歌舞伎町繁華街にあるスポーツ
用品店にチラシを設置し、しま
なみ海道アクセスの動向の聞き
取りを行った。



＜Y's Road 小田急ハルク店＞
（東京・新宿区）
新宿駅前ビルにあるショップを訪
問し、しまなみサイクリングに関
するビギナー向の質問に関する回
答例のレクチャーを行った。



＜Y's Road 新宿クロスバイク館＞
（東京・新宿区）
最大規模の展示車数を誇るショップを訪問し、しまなみ海道サイクリングに関する一般的な質問を受け、回答を行った。



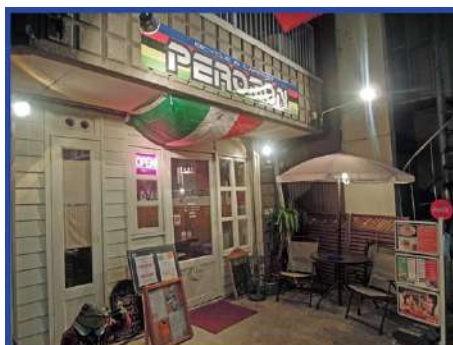
＜Y's Road 新宿本館＞
（東京・新宿区）
入門者からベテランまで出入する店にチラシを設置し、しまなみへのアクセスについての質問を受け、チラシの内容をもとに説明を行った。



＜アートスポーツ御徒町＞
（東京・台東区）
幅広いスポーツファンが足を運ぶ店舗を訪問し、イベント掲載チラシのコーナーの一部を確保し、チラシを設置した。



＜Café sacoché＞
（東京・世田谷区）
自転車愛好家のオーナーが営み、幅広顧客層をもつ自転車カフェにチラシを設置し、事業連携の企画を模索した。



＜CYCLECAFE PELOTON＞
（東京・世田谷区）
サイクリング車を展示し、気さくなオーナーのもとに多数の自転車ファンが集う店を訪問。しまなみ海道サイクリングの基礎情報を提供した。

【チラシ送付先一覧】

高松	シナノ	760-0024	高松市兵庫町 1-14
	ライドストア	761-8075	高松市多肥下町 1531-9
	BASE CAMP 高松店	761-8075	高松市多肥下町 1529-11
	LEONiA	760-0029	高松市丸亀町 13-3 高松丸亀町三番街東館 1F
徳島	ナカニシサイクル	770-0854	徳島市徳島本町 1-6
広島	東急ハNZ 広島店	730-0013	広島市中区八丁堀 16-10
	彩工房	722-0035	広島県尾道市土堂 1-6-9
岡山	サイクルギャラリー カヤマ	703-8271	岡山県岡山市円山 58-11
	Freedom	700-0023	岡山県岡山市駅前町 1-10-28
	Bon Vivant	700-0985	岡山県岡山市厚生町 2-14-23
	BICYCLE PROSHOP なかやま	700-0831	岡山県岡山市京橋町 8-3
	レストラン&バイク	700-0973	岡山県岡山市下中野 468-7
	オクダサイクル	710-0046	岡山県倉敷市中央 2-1-1
	FARM	710-0836	岡山県倉敷市沖 12-9
大阪	シルベストサイクル梅田店	530-0001	大阪市北区梅田 2-5-2 新サンケイビル 1F
	イトーサイクル	533-0013	大阪市東淀川区豊里 5-25-24
	トモダサイクル	543-0043	大阪市天王寺区勝山 3-12-1
	アクオード&ジャンキー	545-0023	大阪市阿倍野区王子町 4-1-1-4
	一条アルチメイトファクトリー大阪店	550-0014	大阪市西区北堀江 2-2-25
	ウエムラサイクルパーツ住之江本店	559-0007	大阪市住之江区粉浜西 2-7-7
	ウエムラサイクルパーツ梅田店	530-0057	大阪市北区曾根崎 2-2-15 ビューフレックス梅田 1F
	シルベストサイクル豊中店	561-0881	大阪府豊中市桜塚 3-10-23
	一条サイクルセンター	565-0821	大阪府吹田市山田東 4-1-7
	BAOBAB	586-0026	大阪府河内長野市寿町 1-16
	伊藤忠サイクル	589-0011	大阪府大阪狭山市半田 1-224-96
	ワイズロード	541-0058	大阪府中央区南久宝寺町 2-2-9 船場藤井ビル 1F
	トレックストア大阪	550-0012	大阪府西区立売堀 2-1-9
	タベルナ エスキーナ	553-0003	大阪府福島区福島 1-6-21 エノキビル 1F
神戸	バイクストア ライドワークス	659-0068	兵庫県芦屋市業平町 6-11 1F
	サイクルセンターサンワ	660-0881	兵庫県尼崎市昭和通 8-290
	コンフォート口スペース	654-0011	神戸市須磨区前池町 2-8-13
	SPARK	650-0004	神戸市中央区中山手通 4-18-21
京都	イワイサイクルセンター	600-8248	京都市下京区大宮通木津屋橋下ル
	コセキサイクリングセンター	602-8325	京都市上京区七本松通今出川上ル毘沙門町 496-17
	シルベストサイクル京都店	604-8073	京都市中京区六角通柳馬場東入ル大黒町 71 イーグルコート京都六
	アイバサイクル	606-8206	京都市左京区川端通御蔭橋下ル
	一条アルチメイトファクトリー京都店	606-8385	京都市左京区川端二条下ル孫橋町 32-1
	cafe & gallery Lugol	604-0032	京都市中京区新町御池上ル中之町 50-1 シェモア御池新町 1F
奈良	キタサイクル	639-1134	奈良県大和郡山市柳町 79

	Funny Bikes	631-0805	奈良市右京 1-3-1 平城第 2 ショッピングセンター
	GUELL BICYCLE STORE	630-8113	奈良市法蓮町 570-7
	mtb garage ZONE	631-0065	奈良市鳥見町 3-11-1
	ストラダバイシクルズ奈良	631-0003	奈良市中登美ヶ丘 6-3-7 リコラス奈良登美ヶ丘
	サイクルショップシルクロード	630-0122	奈良県生駒市真弓 2-4-10
	奈良ニシカワ西九条店してんしゃ館	630-8453	奈良市西九条町 3-11-1
	サイクルベースあさひ	630-8014	奈良市四条大路 2-2-18
	ゲストハウス 奈良バックパッカーズ	630-8283	奈良市油留木町 31
愛知	カトーサイクル	457-0007	名古屋市南区駄上 2-8-26
	ワタキ商工 ニコー製作所販売部	462-0059	名古屋市北区駒止町 1-116
	カミハギサイクル 小牧本店	799-3113	愛知県小牧市小木東 1-25
	Circles	460-0012	名古屋市中区千代田 4-14-20
	モリサイクル&ツールドリバー	453-0053	名古屋市中村区中村町 8-55-3
	Due	460-0011	名古屋市中区大須 3-22-33 トヒチビル 1F
静岡	ミソノサイクル 有楽街店	430-0933	静岡県浜松市中区鍛冶町 320-27
東京	guava jelly bike shop	154-0012	東京都世田谷区駒沢 3-2-3
	フレンド商会	166-0004	東京都杉並区阿佐谷南 1-8-4
	原サイクル	164-0001	東京都中野区中野 5-6-11
	TOKYO BIKE	110-0001	東京都台東区谷中 1-5-11
	OVE	107-0062	東京都港区南青山 3-4-8 トレディカーサ 1F
	カフェ・プラス・ジョーヌ	154-0005	東京都世田谷区三宿 1-30-1 グレー三宿 1F
	デコボコカフェ	202-0012	東京都西東京市東町 3-11-22
	芝浦自転車研究所	108-0023	東京都港区芝浦 4-10-1-3314
群馬	サイクルテック IKD	370-0837	群馬県高崎市下横町 10-10 シルキーコート 101
全国	バイシクルセオ ららぽーと店	273-0012	千葉県船橋市浜町 2-1-1 ららぽーと北館 1F
	バイシクルセオ ららぽーと West 店	273-0012	千葉県船橋市浜町 2-1-1 ららぽーと西館 3F
	バイシクルセオ 船橋ガレージ	273-0003	千葉県船橋市宮本 3-6-7
	バイシクルセオ アリオ蘇我店	260-0835	千葉市中央区川崎町 52-7 1F-39
	バイシクルセオ 浦和店	336-0022	埼玉県さいたま市南区白幡 3-2-7
	バイシクルセオ ステラタウン店	331-0812	さいたま市北区宮原町 1-854-1 ステラタウン 1F-1230
	バイシクルセオ 大宮店	330-0800	さいたま市大宮区市宮町 2-81 日本生命アネックスビル 1F
	バイシクルセオ 川口店	332-0016	埼玉県川口市幸町 2-7-30
	バイシクルセオ トレッサ横浜店	222-0002	横浜市港北区師岡町トレッサ横浜南棟 1F
	バイシクルセオ ロックシティ守谷店	302-0110	茨城県守谷市百合ヶ丘 3-249-1-1F-112
	バイシクルセオ 晴海店	104-0053	東京都中央区晴海 1-8-1 トヨペット棟 1F

2. 自転車旅行サポートシステム開発事業（愛媛県緊急雇用対策事業）

世界有数のサイクリングコース「しまなみ海道」がサイクリングの聖地としての認知度を高める中、自転車ビギナーの来訪者が増えている。また、滞在型旅行者も増加しており、旅行中の荷物を持たず身軽な旅を楽しみたいとのニーズ、“マイ自転車”を「しまなみ海道」へ運びたいニーズがあることが、平成23年度に実施したアンケート調査から伺えた。

そこで、サイクリストの自宅から「しまなみ海道」におけるサイクリング出発地点で“マイ自転車”を送る新しい形態のサービス、自転車旅行周遊中の随所から荷物を直送できる荷物運搬サービスの2種について、社会実験を通してサービス確立化に向けた課題の整理を行った。個人旅行から大規模集客イベント時など、多様なサイクリングシーンを想定し、実現可能なサービス実稼働へ向け、検討。“マイ自転車”を送るサービスは実現にはハードルが高いものがあるが、荷物運搬サービスについては、しまなみ海道域内での実現に向け、料金体系、搬送の際の資材の試作品づくりを進め、平成25年度以降のサービス化に向け、準備を進めた。

（1）荷物運搬の実験的实施（モニターツアーの実施（社会実験））

しまなみ自転車旅行サポートシステム（自転車らくらく便/荷物らくらく便）の有効性を調査することを目的に第2回目の実験ツアーを開催した。以下の2つのサービスについて、実験的に提供した。

①自転車らくらく便

MY自転車を自分で分解・組立することができない利用者を対象に、MY自転車を分解・梱包する作業を自転車ショップと提携して実施する社会実験ツアーを開催した。（平成23年度に1回実施済。）

【日程】平成24年4月21日（土）・22日（日）＜1泊2日＞

【内容】社会実験ツアー参加者の自宅からツアー出発地点（尾道駅）、ツアー終着地点（今治市内）から自宅の「自転車無料運搬サービス」を実施

MY自転車無料運搬 社会実験の様子

a. モニターが協力店を選択し、自転車を持参

関東：「サイクルテック I K D」（タンデムOK） 〒370-0837 群馬県高崎市下横町 10-10 シルキーコート 101 （1階東側） TEL：027-324-2360	関東：「イーストリバーサイクルズ」（タンデムOK） 〒130-0025 東京都墨田区千歳 3-3-2 TEL：03-6676-3500
関東：「サイ克兰ド コーファー」（タンデムOK） 〒142-0063 東京都品川区荏原 4-6-4 TEL：03-3783-7881	中部：「ミソノサイクル」（タンデムOK） 〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町 320-27 TEL：053-454-7108
中部：「モリサイクル&ツールドリバー」（タンデム不可） 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町 8-55-3 TEL：052-481-3653	関西：「GUELL BICYCLE STORE」（タンデム不可） 〒630-8113 奈良県奈良市法蓮町 570-7 TEL：0742-31-2114
愛媛：「BANFF」（タンデムOK） 〒794-0027 愛媛県今治市南大門町 4-2-10 TEL：0898-34-7130	愛媛：「上野サイクル」（タンデムOK） 〒790-0932 愛媛県松山市東石井町 5-8-1 TEL：089-956-3256

旅行者は、自分の自転車を購入したショップ（自宅から近隣）に持参。

ショップは旅行者から預った自転車を適当な箱に梱包し、発送。

b. ツアースタート地で自転車を受け取り、スタッフが組立



分解され、梱包された状態で送られてきた自転車を組立。
多種多様な自転車があるため、組立作業には十分な知識と熟練した技術が求められる。

c. ツアーゴール地点で自転車を預け、スタッフが梱包



ゴール地点で、送られてきた状況と同じように梱包。
配送の際の傷や故障が無いように配慮し梱包。

②荷物らくらく便

「しまなみ海道」で自転車旅行を楽しむ方の手荷物を実験的に無料配送した。

(平成23年2月から継続実施)

社会実験の内容

【日程】平成24年6月30日（土）までの土日及び祝日

【内容】事前予約制により、サイクリングスタート地点で荷物を預り、指定場所に無料配送。

広島県尾道駅周辺から、しまなみ海道島嶼部、そして今治駅周辺エリア（但し、上島町を除く）での実施。

③ 自転車らくらく便及び荷物らくらく便

「しまなみ海道」着地後の手荷物及びMY 自転車について、滞在型・周遊型サイクリングに求められる基盤整備の一スタイルとして、人・自転車・荷物を運ぶ「サイクルバス」運行した。

【日程】平成24年7月28日（土）

【内容】事前申込制で、しまなみ海道着地後の手荷物を預ること、海道沿線でのMY 自転車と人のピックアップによる移動を臨時バスで応援する。

<往路> 港湾駐車場⇒大浜 PA⇒瀬戸田 PA⇒多々羅しまなみ公園⇒はかた SC パーク⇒糸山 CT

<復路> 糸山 CT⇒多々羅しまなみ公園⇒港湾駐車場

■人と非分解の自転車を同時に輸送（サイクルトレインと同様システムで域内バックアップ）

使用したバス：中型バス

トランク室 開口部サイズ 縦90cm 横130cm 奥行き240cm

実質容量 縦67cm 横115cm 奥行き240cm



（2）荷物運搬のビジョン（専門家招聘による学習会及びワークショップ）

国内遠路からのしまなみ来訪ニーズの高まりを感じる中、首都圏在住の自転車業界オピニオンリーダー招聘による学習会及びワークショップを開催。荷物運搬ビジョン形成を進めた。

【日程】平成24年7月27日（金）・28日（土）

【講師】疋田智氏（自転車ソーキニスト・NPO法人自転車活用研究会理事）

沼尾浩子氏（エッセイスト・自転車輪行エッセイスト）

【内容】

① ニーズの確認

マイ自転車搬送、手荷物運搬ともにニーズはある。

マイ自転車搬送：実現には大きなハードルあり。

首都圏から、自転車を分解せずに積載できる「サイクルバス」運行の提案あり。

手荷物運搬：立ち上げを検討。

既存の運送業者の新規サービス、NPOとの協働によるサービス、NPO単体でのサービス3種について、実現可能性を検討することで一致。

② サイクルバス社会実験を経て

しまなみ特区（人・手荷物・自転車を一括運送のため規制緩和が必要）の提案あり。

自宅ーしまなみの自転車搬送＝輪行の定着を追求

しまなみ域内の自転車運搬＝ビギナー向けに域内サービスで受入環境整備のポテンシャルUP

■しまなみ海道で荷物及びMY 自転車のピックアップやドロップオフができるバス

- 自転車レスキュー機能としての利用も展望
- MY 自転車積載の検討の場合（サイクルトレインのバス仕様のイメージ）
 - ・貸切バス＋トラック or トレーラー
 - ・出発地点から（まで）人＋自転車を同時に運搬
 - ・MY 自転車を非分解で輸送できることがベスト

■他県の事例

- ・自転車搭載デマンドバス/マルイ観光バス（高松）
- ・サイクリングバスツアー/国際興業トラベル（東京）
- ・観光バスに自転車ケース積み込み→サイクル急便社の協力

■新サービス確立に向け＝特区申請を提案

理想：地域公共交通の問題解決あるいは観光振興策として取り組むべき案件

→ 今治・しまなみ地域に地域交通活性化推進協議会(案)が理想的な姿

※サイクリストニーズを受けた、地域からの課題提起が第一

提案：大・島博覧会に向けた受入基盤整備として社会実験

○サイクリストが利用できる島内巡回バス

ex.) 自転車ごと乗れる低床式バス

小型バス＋カーゴに自転車搭載

■理想的なバス：改造が必要

○床下荷物庫の高さ：自転車に合わせた荷物庫の高さ（積載9台可能に）

※前輪のみ外して積載可能に。但し、他の荷物スペースがなくなる

○自転車用積み込み用リフト：座席数を減らす部分に自転車積載可能に

但し、高額な改装費（車椅子リフト設置改装費が約800～900万円）

○自転車キャリア牽引：NG

高速バスは全長12m未満という規制。12m超越のためNG。

○昇降口の位置変更：NG

側面の強度不足のため構造上NG（三菱ふそう回答）

（3）荷物運搬実施主体・協力先（運輸事業者・交通事業者等）の検討

平成23年度に実施したマーケティングの結果やモニターツアーの結果を踏まえ、他の運送事業所との連携によるサービス内容の構築をはかるための意見交換を進めた。結果的には、提携先の確定には至らなかったが、サイクリストの利便性を考えた「サイクルバスの運行」、「レスキューサービス」等とのサービスメニューとの一体的なしくみづくりに向けた意見交換を進めた。

第1回意見交換

日時：平成24年4月18日（水）

会場：今治市民活動センター 大会議室

内容：郵便事業株式会社今治支店との懇談

○ゆうパック当日配達の検討

今治⇄尾道 当日配達便を設定（1日1往復（今治午前発→尾道 折り返し便））を検討。

午前中集荷対応の検討は進んだが、荷物の量が30個/日以上の見込みが見えないため、社会的な運用も難しいとの見解が示された。

(参考資料)

運用に向けて、①荷物の量の確保、②取扱店、③PR（周知）が課題として共有された。

●取扱店の検討が必要

●日曜・祝日のみで検討（取扱量が見込める場合は平日開設も可能）

●ゆうパック料金

- ・基本料金 当日配達+50円を加算
- ・サイズ 60サイズ 750円 ～ 170サイズ 1,750円まで
大きさ：タテ+ヨコ+高さ＝1.7m以内・30kgまで
- ・割引 持込割引＝100円

●破損防止対策

包装用品は有料



キャスター対応カバー 230円



ボストンカバー中 130円、ボストンカバー大 200円

第2回意見交換

日時：平成24年5月11日（木）

会場：今治市民活動センター 大会議室

内容：株式会社瀬戸内しまなみリーディングとの懇談

①サイクルバスの運行

自転車をそのまま積載できる荷物庫のあるサイクルバスの提案

②荷物らくらく便

自転車旅行を楽しむ方の手荷物の搬送の提案

(①②のサービス対象地域)

広島県尾道駅周辺から、しまなみ海道島嶼部、今治駅周辺

希望の日時・場所の事前予約制時間帯：往路 8:00～ 復路：16:00～

→人・自転車の搬送 ・ 荷物や土産の搬送

※しまなみサイクル特区の申請を進めることを合意

③ガイドツアー

日帰りツアーの充実

首都圏・関西圏誘客の夜行バスツアー（バス2泊・しまなみ1泊）

（瀬戸内海周遊型ツアー（とびしまを含む提案）

第3回意見交換

日 時：平成24年5月15日（火）

会 場：株式会社瀬戸内しまなみリーディング 事務所

内 容：株式会社瀬戸内しまなみリーディングとの懇談
サイクルバスの運行にあたって、荷物庫の改造などの現場点検



第4回意見交換

日 時：平成24年5月18日（金）

会 場：株式会社瀬戸内しまなみリーディング 事務所

内 容：株式会社瀬戸内しまなみリーディングとの懇談
サイクルバスの運行にあたって、検討

第5回意見交換

日 時：平成24年6月28日（木）

会 場：株式会社瀬戸内しまなみリーディング 事務所

内 容：株式会社瀬戸内しまなみリーディングとの懇談
サイクルバスの運行にあたって、他県の事例検討

【交通事業者との懇談において共有した現状の基盤】

■高速路線バスの現状

- ・今治―福山 しまなみライナー
4 社（SSL+瀬戸内・中国・鞆鉄）
16 往復/日（SSL6 往復、瀬戸内・中国が各 4 往復、鞆鉄 2 往復）
- ・今治―広島 しまなみライナー
3 社（SSL+瀬戸内・広交観光）
3 往復/日（平日）、昼行 6 往復/日（土・日・祝日）
- ・キララエクスプレス
松山―新尾道駅・福山
4 社（SSL+伊予鉄・中国・本四）

■バス関連法規

- ・道路法、道路交通法、道路運送車両法
- ・バス事業参入規制（道路運送法）
路線ごとの免許制 → 需給調整規制

※一般路線において、人を運送する会社の新サービス立ち上げが有力。

高速路線において、人を運送する会社では、島内一般路線との連絡は難しい。

(4) サービス利用者の窓口整備と人材育成

社会実験から見てきたニーズを念頭に、運搬サービスの理想と現実を整理し、事業終了後の本格稼働に向けた提供体制を検討した。

① 自転車らくらく便

サービス化を見送り。

導入パターン	課題	対応策及びサービス化の提案
a ★既存サービス 輪行バッグ システム	・日本サイクリング協会の会員に限られたサービスである。	→ ・日本サイクリング協会とヤマト運輸提携によるサービスであるため、同列での参入は困難。
	・自分で分解・組立できる人に限られたサービスである。	
	・袋という形状なので、キズがつく可能性がある。	→ ・輪行できる人のサービス。しまなみ自転車旅行者にも利用啓発は可能。
b ★既存サービス 自転車分解 ダンボール 配送システム	・自分で分解・組立できる人に限られたサービスである。	→ ・佐川急便との提携により、しまなみ自転車旅行者向けサービスとして構築可能。
	・収受が往路・復路で同じ場所で行わなければならない。	→ ・新規サービスとして検討。
c ★社会実験 自転車店活用 配送システム	・発地側に協力者が必要。	→ ・継続的なサービスとしてのコスト設定を考えると、高額サービスとなり、利用者獲得が困難。 ・料金、発送日数などの統一性を担保することが難しく、サービス化が困難。 ・専門性の担保、場所等の空間の確保等、実現に向けた資源確保が困難。
	・発地側の協力者の意識統一が必要（統一のしくみに向け）。	
	・配送業者との連絡体制構築が必要（統一料金化に向け）。	
	・梱包の際のリスク軽減（キズ等）の理解の積上が必要。	
	・梱包材のストックの必要性（都市部は保管場所の確保懸念）。	
	・メーカーが多様であるため、高い専門性が必要。	→ ・サービス化の見送り
d 自転車非分解 ダンボール 配送システム	・既存の梱包材がない。	→ ・高額サービスとなり、利用者獲得が困難。
	・利用者宅～しまなみ拠点の配送業者との連絡が不明瞭。	
	・家具配送扱いのため、利用料が高額。	→ ・サービス化の見送り

※平成25年3月に、ツアーとして実行。

社会実験ではなく、サービス（有料）として、募集型ツアーに組み込む。

② 荷物らくらく便

ニーズは相当数あると想定される荷物運搬サービスは、既存の民間事業者の参入を促したが、1日当たりのボリュームが30個、コンスタントに入る見通しが立つことが運用条件となり、稼働が見送られた。

そこで、旅行者との交流を図る場としてオープンしている「しまなみサイクルオアシス」を活用しながら、新規事業としてNPOが運営する体制を意見交換。サービスのしくみをお客様目線で可視化するため、サービス内容を明示したリーフレットを作成した。

■ビジネスモデル：短期的なビジョンの提示

○荷物らくらく便

リーフレット（案）完成

→稼働については、平成25年度以降を目指すことを共有。この段階でのサービス広報は見送った。

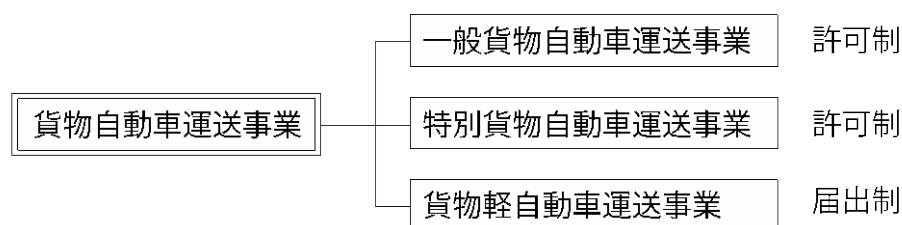
導入パターン	課題	対応策及びサービス化の提案
★社会実験 荷物らくらく便	自前の配送サービスの仕組みを構築	→しまなみポーター制度の確立（新規サービス） A-1. 荷物運送事業者登録 A-2. しまなみサイクルオアシスを拠点化 A-3. しまなみポーターの募集と登録
	・運輸局への届出事業者となる必要がある。	
	・荷物預かりの拠点整備が必要である。	
	・島に担い手育成が必要である。	

A) 自前の配送サービスの仕組みを構築

A-1. 荷物運送の主体と事業者登録

荷物の運送はシクロツーリズムしまなみが主催・運営する配送システムを活用して実施する。

対価を徴収して荷物を運搬するためには、一定の条件を満たした上で一般貨物自動車運送事業経営申請書を四国運輸局に提出し、国土交通大臣からの許可を受けなければ、その業務に当たることができない。



平成25年度以降、検討する。

A-2. 拠点（荷物取扱駅）の検討と整備

しまなみ海道での自転車旅行者の行動パターンを考慮した上で、旅行者にとって使い勝手のよい拠点を選出。平成25年度以降、荷物の届け先となる宿泊施設や地域外への玄関口となるポイントも選出する。

【拠点の条件】

- 1) 自転車旅行者からの荷物を受け取り料金を授受、荷物を送り出しの業務を行う。
- 2) 業務の対価として取り扱い荷物の個数に対応した手数料を受け取る。

以下が意見交換で出され、課題として積み残された。

※荷物を受け取る場合の費用

宿泊拠点が受け取りの場合は、無料で対応してもらえる可能性が高いが出口拠点などの場合、荷物受け取り業務にかかる人件費を本業部分でカバーできるか不明瞭。

【拠点の種別】

ハブ拠点 例えば、「シクロツーリズムしまなみのオフィス」など
しまなみでの自転車旅行をスタートする際の窓口となる拠点荷物の受付、次の拠点への発送ほか、遠方から来る自転車旅行者の土産販売の拠点。

宿泊拠点

島内や今治・尾道の陸地部に分布する宿泊施設。朝、預けた荷物の目的地となる。

荷物の受け取りは無料

※ 明朝の荷物の送り出しについても無料

出口拠点 例えば、「今治港」「JR 今治駅」など

※ ハブ拠点になる可能性あり

A-3. 荷物運搬の人材働き方のイメージ

しまなみ各島に2名ずつ荷物運搬スタッフ（仮称:しまなみポーター）を配置

しまなみポーターは配送のニーズがある時のみ稼働（スタートは土日のみ）

※ しまなみポーターはしまなみ島走レスキューを兼務するとのアイデア提案

（サービス内容仕様書案）

①荷物の大きさと数量

お一人様3個まで

縦 最大 145cm まで・横 最大 40cm まで・高さ 最大 117cm まで・重量 最大 23kg まで

②サービス対象地域

サイクリングスタート地点で荷物預かり

→広島県尾道駅周辺から、しまなみ海道島嶼部、今治駅周辺エリア

（上島町など、離島においては、要検討）

③配送の条件

希望の日時・場所の事前予約制

指定可能な時間帯：13：00 まで→同日 18：00 までに指定場所へ配送

→旅行後の荷物や土産をご自宅に届けるサービスは要検討

④料金

ポストンバック 1 個 1,000 円が収益分岐点として明示。

利用のし易さ（安心・安全・明瞭）に向け、単価設定を梱包資材により分類 4。

（個々の単価は未設定）

荷物らくらく便実施に向けての資材準備

預った手荷物の集配の際に使用するパッケージを試作。

大きさ（料金の明示）、個別保管、保管の仕様による安全管理の3つを念頭に3タイプ制作した。

① コンテナタイプ

利点：荷物を傷つけず搬送できる。

梱包コストの削減ができ環境に優しい。

同一規格で、海道沿線での一貫展開
ビジョンが描ける。

欠点：小口の搬送には向かない。

積み重ねか方によっては、容量をとり、
小型運搬車に対応できない。



② 段ボールタイプ

利点：荷物を傷つけず搬送できる。

（買取のため）島内配送はもちろん、
お客様の自宅直送が可能である。

欠点：積み重ねか方によっては、容量をとり、
小型運搬車に対応できない。



③ エコバックタイプ

利点：積み重ねがやすく、小型の運搬車での
搬送に向く。

（買取のため）島内搬送後は、MYバック
として利用できる。

欠点：荷物の破損が起こりやすい。



3. しまなみスローサイクリング普及事業（愛媛県東予地方局委託事業）

「サイクリストの聖地」として人気が高まりつつあるしまなみ海道と自転車、そして、地元のグリーンツーリズム（G T）を最大限活用したイベントや基盤整備を実施。しまなみ各所にある地域の魅力を自転車で点～線～面へと結ぶ観光スタイルを普及させることで、地域との交流を促すなど、活力の低下が続くしまなみ地域（今治市島嶼部、上島町）の活性化を目指す取り組みとなった。

（1）しまなみサイクルレスキュー（仮称）整備事業

しまなみを訪れたサイクリストが、怪我や自転車の故障により、島内で立往生した際の救援システムを構築し、しまなみの隅々を安心して周遊できる受入環境を整備することを目指すしくみ。

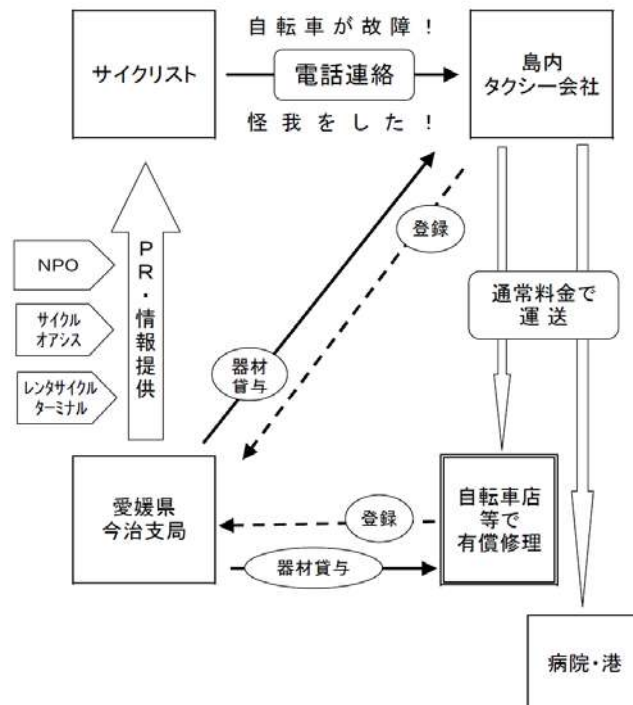
[概要]

○タクシー会社4社

：サイクリストや故障自転車の運搬
大島1、伯方島1、大三島2

○自転車店・サイクルオアシスの14店舗

：自転車修理
大島4、伯方島2、大三島4
弓削・生名島4、岩城島1



[しまなみ島走レスキュー器材の規格等]

①タペストリー

考案した「しまなみ島走レスキューシンボルマーク」をタペストリーに印刷、島走レスキューポイント、島走レスキュータクシーの全ての箇所に配布、設置した。

規格：A3サイズ 両面印刷 テント地



②ステッカー

考案した「しまなみ島走レスキューシンボルマーク」をマグネットシートに印刷、島走レスキュータクシーの全ての箇所に配布、車体に貼付した。

規格：角カク120mm×80mm 塩ビ製



③自転車メンテナンスガイドブック

書 名：「自転車メンテナンス」
出版社：学研パブリッシング
頁 数：239頁（フルカラー）
定 価：1680円



④自転車積載キャリア

トヨタコンフォート用2台、日産セドリック用1台を要望があった3箇所の島走レスキューに配布した。



＜トヨタコンフォート用＞

＜日産セドリック用＞

[ホームページ]

しまなみ島走レスキューの紹介ページを立ち上げ、運用を始めた。

[illegible][illegible][illegible]

〔しまなみ島走レスキューメンテナンス実技講習〕

自転車休憩所「しまなみサイクルオアシス」や自転車販売店、自動車修理工場等、本制度に手を上げてくれた担い手の希望者を対象に、メンテナンス実技の講習会を開催した。サイクリング中に一番多いトラブルである「パンク」のノウハウを学ぶ講習内容とし、延べ20人の参加を得た。

自転車販売店、自動車修理工場の経営者は、軽快車のパンク修理等のメンテナンス対応は手馴れているが、スポーツバイクのメンテナンス経験がなく、スポーツバイクの変速器、チューブ仕様等への質問が多く寄せられた。パンク修理の一連の作業をおさえる中で、高級なスポーツバイクを持ち込まれた際のケアの仕方等、本制度運用にあたっての不安材料が出され、課題が明確となった。

しまなみサイクリングを安心して楽しんでもらえる環境整備として定着するよう、本制度として「できること・できないこと」、サイクリストへの制度周知の「分かりやすさ」を優先し、本制度構築を進めることを共有した。

日時	会場	参加人数
平成24年6月10日(日) 9:00～11:00	NP0法人アクションアイランド(大島)	3人
平成24年6月10日(日) 13:00～15:00	野間自転車店(伯方島)	3人
平成24年6月13日(水) 19:00～21:00	工房こりん(大三島)	4人
平成24年6月14日(木) 13:00～15:00	上島モータース(弓削島)	6人
平成24年6月14日(木) 16:30～18:30	宮脇モータース(岩城島)	4人

スポーツバイクのしくみから始まり、タイヤの外し方、チューブの取り出し方などを実地研修。工具の使い方等も学んでいただいた。スポーツバイクを扱った経験は少ないが関心が高く、パンク修理以外にも様々な質問が寄せられた。「これまでも修理依頼を受けたことがあったが、高価な自転車に触ることに抵抗感があり、十分な対応をとれなかった」という声もあり、本講習会で自信をつけてもらうことができた。「島走レスキュー」は専門店でないため、「きること・できないこと」がある。その判断基準の共有ができたことは有意義だった。



＜伯方島＞
スポーツ車と軽快車の違い
について説明が相次いだ。



＜大三島＞
車輪の構造、ドライブシス
テムの仕組みの説明も行った。



＜弓削島＞
チューブの太さの違いによる
修理方法のコツも説明した。



＜大島＞
パッチの貼り方の要領を
丁寧に指導した。



＜岩城島＞
チューブの穴の探し方のコツ
を確認。繰り返す毎に上達。

(2) しまなみグリーンサイクリングフォトラリー

島民プロデュースの「グリーンツーリズム体験」、休憩スポット「しまなみサイクルオアシス」を巡るフォトラリーを開催した。参加者を呼び込むしかけとしてフォトラリーに参加を促すツアーの実施。フォトラリーの投稿写真でのコンテストの開催する等、様々な事業を行い、グリーンツーリズム（GT）など島の魅力を体験しながらしまなみをゆっくりと周遊するサイクリングスタイルの普及・定着を目指す事業を相乗的に進めた。

①しまなみグリーンサイクリング フォトラリー

グリーンツーリズム体験の提供者やサイクルオアシス運営者の島民とのツーショット写真等、立ち寄り分かる写真を添えて、応募いただいた。応募作品は、フォトラリー専用アルバムに掲載し、地域の魅力発信に努めた。

期 間：平成24年4月28日～10月30日

応募総数：65点

内訳 男 性：49名 女 性：16名

年 齢：10～50代

出身地：松山、今治、伊予市

[アルバム]



[写真タイトル]: サイクルオアシス「伯楽」
[ハンドルネーム]: メイ
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: オアシスのおばさんは、とても優しいかったです。アイスクリームありがとうございます。



[写真タイトル]: 土器で塩遣り
[ハンドルネーム]: メイ
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: レモンの搾り方を分かりやすく教えてもらいました。楽しかったです。



[写真タイトル]: サイクルオアシス「伯楽」
[ハンドルネーム]: ととも
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: パンプスタンドに、伯方島の地図や情報ペーパーがあり、とても便利でした。



[写真タイトル]: 土器で塩遣り
[ハンドルネーム]: ととも
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: 土器でつくった塩はすごくマイルドでした。レモン汁と塩で食べるBBQ...初めてのテストでしたが、すごく美味! もうやみつきになりそうな発見でした。



[写真タイトル]: サイクルオアシス「伯楽」
[ハンドルネーム]: 元策
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: 休憩もでき空気が入るなども備えたサイクルオアシスがあるのは、サイクリストにとってとても心強いですね。大勢の人が集まる場所になるいいなと思います。



[写真タイトル]: 土器で塩遣り
[ハンドルネーム]: 元策
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: 塩作りだけでなく歴史も教えてもらい、おもしろかった。地元の方々とのふれあいもあって、楽しい日でした。



[写真タイトル]: サイクルオアシス「伯楽」
[ハンドルネーム]: KUMI
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: サイクルオアシスの方との会話を楽しくて、出会いが身近に感じられました。



[写真タイトル]: 土器で塩遣り
[ハンドルネーム]: KUMI
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: 見る見るうちに原液から塩が結晶できて、おもしろかった。野菜もお肉もおいしくいただきました。



[写真タイトル]: サイクルオアシス「伯楽」
[ハンドルネーム]: Mai
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: サイクルオアシスのおかみさん、とてもやさしくて立ち寄りやすいところでした。



[写真タイトル]: 土器で塩遣り
[ハンドルネーム]: Mai
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: 初めて塩を作ったんですが、早くできるのでびっくり。しかもいつも使っている塩よりずっとおいしかった。おみやげにもらえてうれしいです。



[写真タイトル]: サイクルオアシス「伯楽」
[ハンドルネーム]: コタケ
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: サイクルオアシスは、もっと人が集まる場所になるといいですね。サイクリストや地元の人たちとの情報交換を楽しみたいです。



[写真タイトル]: 土器で塩遣り
[ハンドルネーム]: コタケ
[撮影日]: 2012.5.20
[撮影場所]: 伯方島
[一言メッセージ]: 塩で簡単にできるんですね。意外な発見だったなあ。プロコリーの収穫も初めてで、感動しました。



【写真タイトル】：サイクルオアシス「伯莚」
 【ハンドルネーム】：YUKO
 【撮影日】：2012.5.20
 【撮影場所】：伯方島
 【一言メッセージ】：娘とはじめてのロングサイクリング。サイクルオアシスののおかげで、ひと息ついて、エネルギーのリフレッシュができました。



【写真タイトル】：土器で塩塗り
 【ハンドルネーム】：YUKO
 【撮影日】：2012.5.20
 【撮影場所】：伯方島
 【一言メッセージ】：粘土職工は苦手な私。でもコツを教わりながら娘と一緒に土器をつくることができました。



【写真タイトル】：サイクルオアシス「千和」
 【ハンドルネーム】：あちゃ
 【撮影日】：2012.5.20
 【撮影場所】：大島
 【一言メッセージ】：愛娘をチャイルドレラーに乗せてしまなみ海道をサイクリング！気軽に立寄れるサイクルオアシスの存在は、心強いです。



【写真タイトル】：土器で塩塗り
 【ハンドルネーム】：あちゃ！
 【撮影日】：2012.5.20
 【撮影場所】：伯方島
 【一言メッセージ】：竹炭の熱があちゃちゃでしたが、見る見るうちに塩が出来ていくのが素晴らしいですね。生命の源を感じました。



【写真タイトル】：サイクルオアシス「ボルト街道」
 【ハンドルネーム】：teratera
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：生口島
 【一言メッセージ】：しまなみを訪れる人が増えているので、こういう場所があるといいですね。



【写真タイトル】：農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】：teratera
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：レモン横石はすっかりして夏の食事にぴったりと思いました。レモンゼリーが、とてもおいしかったです。



【写真タイトル】：サイクルオアシス「千和」
 【ハンドルネーム】：Miwa
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：大島
 【一言メッセージ】：がんばって走らなければならないときも、オアシスを目標にできますね。何かあったときも心強いし、助かります。



【写真タイトル】：農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】：Miwa
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：おいしかったです。今は時期ではないレモンの花をいっしょうけんめい育ててくださったとのこと。その気持ちがうれしかったです。



【写真タイトル】：サイクルオアシス「千和」
 【ハンドルネーム】：平林
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：大島
 【一言メッセージ】：サイクルオアシスは点在しているから、それを目指して走ることができるね。



【写真タイトル】：農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】：平林
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：ちいねえちゃんの話がいいねえ。おもしろかった。若い人が続いてくれて、島が元気になるといいね。



【写真タイトル】：サイクルオアシス「倉本石油」
 【ハンドルネーム】：まつもとK
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：こういう場所があるとひと休みできていいですね。自転車ダグナーには心強いです。



【写真タイトル】：農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】：まつもとK
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：どれもみんなおいしかったけど、特にお寿司が気に入りました。デザートはレモンゼリーがvery good!!



【写真タイトル】：サイクルオアシス「千和」
 【ハンドルネーム】：松本Y
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：大島
 【一言メッセージ】：地元の人とふれあえて、心身ともにホッと一息つけるサイクルオアシスは、まさにオアシスですね。



【写真タイトル】：農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】：松本Y
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：レモン横石、とてもおいしかったです。さっぱりしてて食べやすいですね。



【写真タイトル】：サイクルオアシス「倉本石油」
 【ハンドルネーム】：橋本
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：サイクルオアシスという場所があるなんて、初めて知りました。これからはぜひ利用したいと思います。



【写真タイトル】：農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】：橋本
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：レモンの葉でお寿司をくるむ、レモンの皮を器に使う。アイデアいっぱいのお料理に大満足です。



【写真タイトル】：サイクルオアシス「千和」
 【ハンドルネーム】：川瀬
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：大島
 【一言メッセージ】：オアシスの存在は知っていたけど、立ち寄るのは初めてです。ツーリングでは何か必ず起こるもので、オアシスがあると安心です。



【写真タイトル】：農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】：川瀬
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：ちいねえちゃん、いいキャラクターだ。島の元気を感しました。レモン横石、人によっては量が少ないというけど、僕には十分、多いくらいでした。おいしかったです。



【写真タイトル】：サイクルオアシス「千和」
 【ハンドルネーム】：岡田
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：大島
 【一言メッセージ】：こうしたオアシスがあると安心です。オアシスを運営している地元のおみなさんに感謝です。



【写真タイトル】：農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】：岡田
 【撮影日】：2012.7.22
 【撮影場所】：岩城島
 【一言メッセージ】：レモンをどうやって使うか、工夫が凝らされていて感心しました。おばちゃんの話がとってもいい話を聞けた。楽しかったです。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「倉本石油」
 【ハンドルネーム】: 松原K
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 岩城島
 【一言メッセージ】: オアシスがあると思うだけで、しなみツーリングがとて安心できます。



【写真タイトル】: 農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】: 松原K
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 岩城島
 【一言メッセージ】: レモンが大好きなので、レモン糖石はとってもうれしい。醤油に混ぜたり、ひじき料理に使ったりとても勉強になりました。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「千和」
 【ハンドルネーム】: 大谷
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 鳥のひと話ができても、旅のいい思い出になるね。話ができなくても、座って休めるところがあると安心だね。



【写真タイトル】: 農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】: 大谷
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 岩城島
 【一言メッセージ】: アジのマリネ、おいしかったです。骨までバリバリいただきました。僕にはちよつと量が足りなかったかな? ごちそうさまでした。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「倉本石油」
 【ハンドルネーム】: 松原(陽)
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 岩城島
 【一言メッセージ】: サイクルオアシスって工具とか空気入れとか常備しているんですね。それはいいなあ。助かります。



【写真タイトル】: 農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】: 松原(陽)
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 岩城島
 【一言メッセージ】: 魚が新鮮。おいしかったので完食です。おばちゃんが料理の説明してくれるのがよかったです。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「千和」
 【ハンドルネーム】: IN
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 僕自身はオアシスを利用することはありません。もう少し特色があると寄ってみたいと思います。今後に期待します。



【写真タイトル】: 農家レストラン「でべそおばちゃんの家」
 【ハンドルネーム】: IN
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 岩城島
 【一言メッセージ】: レモン糖石はおいしくて意外性があって楽しいですね。親戚の家を訪れたみたいで、非日常性を感じおもしろかった。ちねえちゃん、噂どおりのいい味出してました。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯原」
 【ハンドルネーム】: 渡川
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 休養できて、お水ももらえていい場所ですね。



【写真タイトル】: 「石蔵ビザブリ体験」
 【ハンドルネーム】: 渡川
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: みなさん親切にしてくれてうれしかった。楽しくビザブリ体験ができました。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯原」
 【ハンドルネーム】: 倉谷
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 自転車で来たら、ぜひ利用したいです。



【写真タイトル】: 「石蔵ビザブリ体験」
 【ハンドルネーム】: 倉谷
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: トマトもキュウリも新鮮でおいしかった。ビザブリは苦労したけど楽しかったです。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯原」
 【ハンドルネーム】: 山田
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: しなみ海運だけでなく、他の場所にもあったらいいと思います。



【写真タイトル】: 「石蔵ビザブリ体験」
 【ハンドルネーム】: 山田
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 自分ちで食べるビザブリ、何倍もおいしかったです。おばちゃんたち、ありがとう。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯原」
 【ハンドルネーム】: 越智N
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: すごく親切にしてくれて、とてもうれしかったです。



【写真タイトル】: 「石蔵ビザブリ体験」
 【ハンドルネーム】: 越智N
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 楽しくておいしかった。また来たいです。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯原」
 【ハンドルネーム】: 尾崎K
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: オアシスのことは今回初めて知りました。便利ですね。



【写真タイトル】: 「石蔵ビザブリ体験」
 【ハンドルネーム】: 尾崎K
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 初めて作った。楽しかった。でもおいしかったから、家にビザブリがあるといいなと思いました。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯原」
 【ハンドルネーム】: 尾崎F
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: オアシスの方にすごく親切にしてもらいました。おいしい水、ありがとうございます。



【写真タイトル】: 「石蔵ビザブリ体験」
 【ハンドルネーム】: 尾崎F
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: キュウリの丸かじり、おいしい! なんでだろう? 採れたばかりだからかな?



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: 小林
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 冷たい水ももらいました。おいしかった。本当に「オアシス」だと思いました



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: 小林
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 初めてだったけど、上手に作れました。満足！



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: 阿部
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 自転車好きなのでよく走っています。今までオアシスのことは知らなかったけど、ぜひ利用したいです



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: 阿部
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: ピザ作りは初めて。生地をのばすのが難しかった。でもおいしかったです



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: やはら
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: ここです！
 ここがサイクリストのオアシスです！



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: やはら
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 生地を延ばすのが、なかなか難しい。つうりん子さん、上手ですね～



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: 本東
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 歓迎されている感じがしています。堂々とお店に入っていきます



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: 本東
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 疲れが吹き飛びます。サイクリングにプラスαの感動が味わえていますね



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: 渡部
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 自転車好きは、ここに集合！ いろいろなサイクリストや地元の人とのふれあいの場になるといいですね



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: 渡部
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: うまい！ これ以上の言葉はありません。鳥のおかあさんたちの優しさが味になっていますね。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: 御手洗
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 看板がちよとわがづらいかも。でもとても親切にしてくれてうれしかったです。



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: 御手洗
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 鳥のお母さんたちと出会えて、コミュニケーションが図れて、よかったです。ピザもおいしかったです



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: 自転車ツーキニスト
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 日陰で腰を下ろせるだけでうれしいのに、「どうぞここを休んで」という気持ちがいいね。受け入れてくれるんだなとホッとしますよ。



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: 自転車ツーキニスト
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 自転車漕いできたら、鳥のおかあさんたちが笑顔で出迎えてくれる。うれしい瞬間ですね。野菜も新鮮でおいしい！



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: つうりん子
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: オアシスがあるって、サイクリスト歓迎という気持ちの表れですね。感謝しますね。



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: つうりん子
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 鳥のお母さんたちとのふれあいがうれしい。旅のいい思い出になりますね。また来たいな～



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: Yamanaka
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: オアシスがあるとそれを目指ができますね。水ももらえるので安心です



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: Yamanaka
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 空の下、夏風に吹かれて手作りピザなんて贅沢だなあ。感激の味ですね。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯楽」
 【ハンドルネーム】: Shiraiishi
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: まさにサイクリストのオアシス。ここで休んでもまた頑張ろうと思います



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】: Shiraiishi
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 自転車を漕いで、ピザを作って。おいしく食べられて。心身ともにリフレッシュ



【写真タイトル】: サイクルオアシス「伯良」
 【ハンドルネーム】: Mako
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 雲々と休める場所があって助かります。風が気持ちいいね。



【写真タイトル】: 「石窯ピザづくり体験」
 【ハンドルネーム】:
 【撮影日】: 2012.7.22
 【撮影場所】: 伯方島
 【一言メッセージ】: 石窯で焼くなんて、本格的な味が楽しいです



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: Mayumi Kido
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: いいですね。自転車初心者なので心強いです。安心して走れます。



【写真タイトル】: 「ブルーベリー狩り」
 【ハンドルネーム】: Mayumi Kido
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 木から直接もいで食べるなんて、貴重な体験になりました。甘くておいしかったですよ



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: ケイ
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島



【写真タイトル】: 「ブルーベリー狩り」
 【ハンドルネーム】: ケイ
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: ブルーベリー狩りなんて初めて!



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: 杉本
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 地元の人と交流も出て、一休みもできる。サバいいですね



【写真タイトル】: 「ブルーベリー狩り」
 【ハンドルネーム】: 杉本
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: ブルーベリーの甘味がこちよいですね。夏のフルーツ多岐わいます!



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: 五郎丸
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: こんなサイクリストにやさしい場所があるなんて、すごいです!



【写真タイトル】: 「ブルーベリー狩り」
 【ハンドルネーム】: 五郎丸
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 初めての体験。おいしかった。おもしろかった



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: 中島
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: こういうところがあると助かります。おみやげも買いました



【写真タイトル】: 「ブルーベリー狩り」
 【ハンドルネーム】: 杉本
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 生のブルーベリー、初めて食べました。おいしいですね。自転車ツアーとこういう体験の組み合わせ、楽しみです。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: Sumiko Yamaguchi
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 自転車っておながい空ので、サイクルオアシスに軽食とかあるといいですね。ここはおみやげとか買えるのかな?



【写真タイトル】: 「ブルーベリー狩り」
 【ハンドルネーム】: Sumiko Yamaguchi
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: ブルーベリーを木からのもいで食べるのは初めて。ブルーベリーの実ってあまり目立たないんですね



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工務こりん」
 【ハンドルネーム】: あちゃ!
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 絶景のなかでひと休みができました!



【写真タイトル】: 「稲刈り体験」
 【ハンドルネーム】: あちゃ!
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 大島のお米は神がかりの美味しさです



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工務こりん」
 【ハンドルネーム】: とよちゃん
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 自然と一体感を味わえる場所にあつてくつろげました。



【写真タイトル】: 「稲刈り体験」
 【ハンドルネーム】: とよちゃん
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: これは割ゲームか?! と思っちゃいました。でも働いたあとの新米のごはん、最高においしかった。ごちそうさまでした。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工務こりん」
 【ハンドルネーム】: やなぎ
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 大勢の人にわかりやすく案内して、より利用しやすくなるいいなと思いました。



【写真タイトル】: 「稲刈り体験」
 【ハンドルネーム】: やなぎ
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 虫がたくさんいて、自然の豊かさを感じました。水を張っているときはどしようもいたとか。そんな田んぼで実ったお米、最高にいいです。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: 仲うごりん
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 子どもも安心して遊べる場所でした。



【写真タイトル】: 「稲刈り体験」
 【ハンドルネーム】: 仲うごりん
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: うちの子も夢中で鎌をにぎっていました。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: FUJI
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: サイクリング中、休めるところがあるのはいいですね。ご主人も気さくに話しかけてくれました。



【写真タイトル】: 「稲刈り体験」
 【ハンドルネーム】: FUJI
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 40年振りの稲刈り！ 懐かしかった～！



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: ウッチー
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 出会いがあって、自然があって、名前どおり本当にオアシスみたいでした。



【写真タイトル】: 「稲刈り体験」
 【ハンドルネーム】: ウッチー
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 自然をたっぷり味わえる体験ができてよかったです。ごはんがおいしかったです。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: ちいちゃん
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 最高のロケーションですね。またぜひ利用したいです。



【写真タイトル】: 「稲刈り体験」
 【ハンドルネーム】: ちいちゃん
 【撮影日】: 2012.9.16
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 生まれて初めての体験。楽しかったです。将来は農業をしようかな？



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: iyo-taro
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: マイペースで走っています。



【写真タイトル】: 「石窯ピザ体験」
 【ハンドルネーム】: iyo-taro
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: しまなみに来るたびに楽しみ増えています。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: ウサチャン'52
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: マ秋の気配の心地よい風を堪能しました。



【写真タイトル】: 「石窯ピザ体験」
 【ハンドルネーム】: ウサチャン'52
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: ピザうま。石窯、絶対手作りするぞ！



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: 遠穂敏？
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 復路で周回しました。



【写真タイトル】: 「石窯ピザ体験」
 【ハンドルネーム】: 遠穂敏？
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 1枚で足りない？ いやいや充分です



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: 初めての長距離
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 自転車での初めての遠出でしたが、満喫できました！！



【写真タイトル】: 「石窯ピザ体験」
 【ハンドルネーム】: 初めての長距離
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: ピザも空気もおいしくいただきました。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: ひろくん
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: もう少し、海を渡りたかったな～



【写真タイトル】: 「石窯ピザ体験」
 【ハンドルネーム】: ひろくん
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 3種ソースの石窯ピザ、満足感300%



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工藤こりん」
 【ハンドルネーム】: ともちん
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 心地はよかったけど、体は正直でした。



【写真タイトル】: 「石窯ピザ体験」
 【ハンドルネーム】: ともちん
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: お腹も満足！



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工房こりん」
 【ハンドルネーム】: 紅のブツ
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 思えば遠くへ来たもんだ。



【写真タイトル】: 「石窯ピザ体験」
 【ハンドルネーム】: 紅のブツ
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 暑いからピザでずも作るか。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工房こりん」
 【ハンドルネーム】: akaisobera
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: これでもちゃんと脚はとどくぞん。



【写真タイトル】: 「石窯ピザ体験」
 【ハンドルネーム】: akaisobera
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: ノンアルコールビールがないといかん



【写真タイトル】: サイクルオアシス「工房こりん」
 【ハンドルネーム】: pureサイクリスト
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: アルコールも入っていないのにふらついたので、フェリーで帰りました。年かなー。



【写真タイトル】: 「石窯ピザ体験」
 【ハンドルネーム】: pureサイクリスト
 【撮影日】: 2012.9.29
 【撮影場所】: 大三島
 【一言メッセージ】: 自分で作り石窯で焼いたピザは「超まい」です。次回はノンアルコールビールを忘れずに持ちます。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: hiro
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: あいてよかったサイクルオアシス。まさに自転車旅人が安心できる心の拠り所ですね。



【写真タイトル】: 「ブルーベリー狩り」
 【ハンドルネーム】: hiro
 【撮影日】: 2012.8.5
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: お気に入りのあま〜いブルーベリーの木を発見！ 冷たい麦茶とおしぼりも嬉しかったです



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: とよちゃん
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 自転車 乗るの 楽しい あるよ



【写真タイトル】: 「潮流体験」
 【ハンドルネーム】: とよちゃん
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: オ〜 ニホンハ スパラシデスネ



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: Y2
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: ピザおいしゅうございました。



【写真タイトル】: 「潮流体験」
 【ハンドルネーム】: Y2
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 予想以上の潮の速さにびっくり！！



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: かくちゃん
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: しまなみはいつまでも最高ス！



【写真タイトル】: 「潮流体験」
 【ハンドルネーム】: かくちゃん
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 海のはずなのに川のように



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: Fuji
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: サイクリングで疲れた体を癒すことができました。



【写真タイトル】: 「潮流体験」
 【ハンドルネーム】: Fuji
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 村上天軍の歴史を知ることができました。貴重な地域資源ですね。



【写真タイトル】: サイクルオアシス「アクションアイランド」
 【ハンドルネーム】: でこびん
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: 大島へ来たからならなきゃアクションアイランド(本会社...)。



【写真タイトル】: 「潮流体験」
 【ハンドルネーム】: でこびん
 【撮影日】: 2012.9.22
 【撮影場所】: 大島
 【一言メッセージ】: よい波！よい風！！

[参加者の声]

●グリーンツーリズム体験について

- ・塩が簡単にできることが意外な発見だった。
- ・見る見るうちに原液から塩が結晶できて、おもしろかった。
- ・初体験。すぐ塩ができるのでびっくり。しかもいつも使っている塩よりずっとおいしい。
- ・おみやげに塩をもらえてうれしかった。
- ・ブロッコリーの収穫が初めてで、感動した。
- ・野菜もお肉もおいしくいただいた。
- ・歴史も教えてもらい、おもしろかった。

(塩づくり体験)

- ・工夫が凝らしてあり感心した。おばちゃんの話がいつそうおいしさを増していた。
- ・地元の方とのふれあいもあり、楽しい1日だった。
- ・みなさん親切にしてくれてうれしかった。楽しくピザ作り体験ができた。
- ・いろいろな人と出会えて、コミュニケーションが図れて、よかった。ピザもおいしかった。
- ・うまい！これ以上の言葉はありません。島のお母さんの優しさが味になっていた。
- ・疲れが吹き飛ぶ。サイクリングにプラスαの感動が味わえていい。
- ・自転車を漕いできたら、島のお母さんたちが笑顔で出迎えてくれる。うれしい瞬間。
- ・島のお母さんたちとのふれあいがうれしい。旅のいい思い出になる。
- ・生まれて初めての体験。楽しかった。将来は農業をしようかな？
- ・虫がたくさんいて、自然の豊かさを感じた。水を張っているときはどじょうもいるほどの田んぼで実ったお米、最高においしい。

●サイクルオアシスについて

- ・もっと人が集まる場所になるといいと思う。
- ・大勢の人が集まる場所になるといいと思う。
- ・サイクリストや地元の人たちとの情報交換を楽しみたいのでいい。
- ・オアシスの方との会話も楽しく、出会いが身近に感じられた。
- ・オアシスのおかみさん、とてもやさしくて立ち寄りやすいところだった。
- ・休憩もでき空気入れなども備えたサイクルオアシスがあるのは、とても心強い。
- ・歓迎されている感じがしていい。堂々とお店に入っていける。
- ・まさにサイクリストのオアシス。ここで休んでまた頑張ろうと思う。
- ・オアシスがあるとそれを目標にできる。水ももらえるので安心。
- ・日陰で腰を下ろせるだけでうれしい。『どうぞここを休んで』という気持ちがいい。受け入れてくれるんだなとホッとする。
- ・オアシスがあるって、サイクリスト歓迎っていう気持ちの表れ。感激する。
- ・堂々と休める場所があって助かる。
- ・風が気持ちいい。
- ・あいててよかったサイクルオアシス。まさに自転車旅人が安心できる心の拠り所。
- ・自転車初心者なので心強い。安心して走れる。
- ・出会いがあって、自然があって、名前どおり、本当にオアシスみたい。
- ・大勢の人にわかりやすく案内して、より利用しやすくなるといいなと思う。

②しまなみグリーンサイクリング フォトコンテスト

フォトラリー応募作品をイベント会場に展示。選考の結果、上位6点に地域の特産品をプレゼントした。



③しまなみグリーンサイクリング フォトラリーを100倍楽しむツアー

フォトラリーへの参加促進のしかけとして、ガイドツアーを実施した。

●砂浜バーベキューで夏体験 伯方島ビーチ満喫ツアー

実施日：平成24年5月20日（日）

参加者：9名

コース：グリーンツーリズム体験：「土器で塩づくり体験」（伯方島・土器で塩づくりの会）

しまなみサイクルオアシス：「伯方直売所 伯彩」・「民宿 千和」

走行距離60kmのロングライドながら、体験、立ち寄りオアシス共、地元の方とのふれあいが充実した内容で、ファミリーも楽しめるツアーとなった。

[ツアーレポート]



■9:45am 来島海峡大橋

曇ってはいますが、雨の心配はなさそう。心地よい風を感じながら軽快にペダリング。今日もお楽しみがたくさん待っていますよ～。



■10:30am 大島 よしうみバラ公園

ちょうど『バラ祭りよしうみ 2012』を開催中で、大勢の人で賑わっていました。400 種 3500 株のバラも見事に咲き誇り、その美しさをしばし堪能。地元主婦グループ手作りのハーブティーやイチジクアイスにも舌鼓！



■12:40pm 沖浦ビーチ手前の畑

今日のメインイベント、「土器で作った塩でバーベキュー」。ビーチに着く前に立ち寄った畑で野菜とレモンを収穫。とれとれの新鮮野菜でバーベキュー、期待も上昇。

■13:00pm 沖浦ビーチ

「伯方島・土器で塩づくりの会」代表の山岡さんから、塩作りの歴史を教わったあと、実際に土器で塩づくり。素焼きの土器を炭火の中に置き、塩分濃度を高めたかん水を注ぎます。見る見るうちに沸騰、白く結晶化していく様子は見ているだけでも楽しいものでした。そして土器作りにも挑戦。粘土をこねて、手びねりで形を作っていきます。が、これがなかなか。塩作りは簡単だけど、土器作りは・・・難しい！



■13:30pm 手作り塩でバーベキュー

塩ができたところで、お待ちかねのバーベキュー。自分で収穫した野菜やお肉を炭火で焼いて、まろやかでやさしい味の手作り塩とレモンでいただきます。う～ん、これがなんと美味！ タマネギもキャベツもブロッコリーも、タケノコもソラマメも、すべておいしく大満足。



■15:20pm サイクルオアシス 民宿「千和」

宮窪にある民宿「千和」到着。ここはサイクリストの休憩所、サイクルオアシスでもあります。笑顔がステキなやさしいおかみさんのおもてなしで、峠越えの疲れも吹き飛びました。さあ、もうひとがんばり！



■17:20pm 波止浜駅

土器と塩、レモン、夏みかんをおみやげに、本日のツアーは終了。地元の方々とのふれあいも楽しく、疲れを感じないツアーだったようです。最後に、グリーンツーリズムの“土器で塩作り体験”と、“サイクルオアシス”立ち寄りの写真をコメントを添えて『しまなみグリーンサイクリング・フォトラリー』に投稿！ 抽選で当たる景品やコンテストの結果が楽しみです！



●“でべそおばちゃんのお店”でゆったり「レモンの島・岩城一周ツアー」

実施日：平成24年7月22日（日）

参加者：12名

コース：グリーンツーリズム体験：「レモン懐石体験」（岩城島・でべそおばちゃん）

しまなみサイクルオアシス：「岩城 倉本石油」・「民宿 千和」

ふだんは訪れる機会の少ない岩城島へと足を延ばし、地元の名産品をいかした食材の料理を堪能。長距離走行の合間にサイクルオアシスを活用する等、しまなみらしいツアーとなった。

[ツアーレポート]



■8:00 今治市内 ■ START 受付 & スタート地点のサンライズ系山に、参加者のみなさんが続々集まってきました。クルマから自転車を降ろし、着々と準備を進めています。今日も暑い一日になりそうですが、岩城島行きフェリーに乗り遅れないよう頑張っていきましょう。



■10:10am 伯方島 マリンオアシス伯方

朝早い出発のため、ここで軽くお食事タイム。シクロカフェ自慢の“じゃこ天巻きおにぎり”を用意しました。じゃこ天を巻いたおにぎり？ みなさん、不思議な顔でひとかじり。「これ、おいしい！」。小ぶりだけど十分小腹を満たしてくれるスグレモノなんですよ。



■12:10pm 岩城島 海岸線

岩城島西側の海岸線を走り、でべそおばちゃんのお店を目指します。夕日がきれいなポイントもあるけど、今は日射しがキビシイ。でも、海からの風が気持ちいい。自転車、最高！



■12:40pm 岩城島 でべそおばちゃんのお店

岩城島のキャッチフレーズは「青いレモンの島」。その自慢のレモンをふんだんに使った“レモン懐石”が評判の農家レストラン・でべそおばちゃんのお店に到着。広い軒家のお座敷でいただきましたよ～、レモン懐石。おばちゃんの軽快なトークで紹介される料理は、当然ながらどれもこれもレモンが効いた絶品の品々。おいしすぎて、楽しすぎです。（ちなみにでべそとは、島の方言ででしゃばりのこと）



■14:30pm 岩城島

岩城島にもしまなみサイクルオアシスが3カ所あります。岩城港に向かう途中、そのうちのひとつ、倉本石油さんに立ち寄り、ひと休みしました



■15:00pm 岩城島 岩城港

今回のツアー、帰路は特別にサイクルシップを用意しました。岩城港から今治市の波方港までの船をチャーターしちゃったんです。特別です。自転車を乗せ、ライフジャケットを着て乗船です。視線が海面すれすれで、渦を巻いたり湧き上がったたりする潮流が間近に見られました。めったにできない体験にみなさんも大喜び。想像以上に快適な船旅でした。

■17:00pm ゴールサンライズ系山到着。みなさん、お疲れ様でした。前半は自転車を飛ばし、後半は船で帰るという今回のツアー、いかがでしたでしょうか。みなさんの記憶に残るツアーになったかな？ 『しまなみグリーンサイクリング・フォトラリー』への投稿も忘れないでくださいね

●夏こそ島遊びにチャレンジ 「潮流に乗る大島エンジョイツアー」

実施日：平成24年8月5日（日）

参加者：7名

コース：グリーンツーリズム体験：「ブルーベリー狩り」（大島・しまなみファーム）

しまなみサイクルオアシス：「空と海の駅」・「民宿 千和」

夏場の農業収穫体験として完熟ブルーベリー園を選択。地元グループが場所を提供するサイクルオアシスで交流と休息を図り、体と心にパワー充電のサイクリングツアーとなった。

[ツアーレポート]



■9:45am 来島海峡大橋

今日は風が強い！ しかも向かい風！ のんびりゆったりツーリングのはずが、最初からちょっとハードかも…。でも、やっぱり橋を渡るのって気持ちいいわあ。大島に降りて、海岸沿いを気持ちよ～くペダリングもサイコー！快走、快走。



■10:40am 大島くしまなみファーム>

ようみバラ公園近くのしまなみファームで、ブルーベリー狩り体験。200種以上あるなかから、この土地に適した6種類の木が植わっています。完熟ブルーベリーを木から直接もいで、いただきました「この木が好き」「いやこっちの方がおいしい」とみなさん、お好みの味を探してあちこち食べ比べてました。



■12:00 大島 レストラン能島水軍

さらに、大島北部の宮窪地区までひと走り。お待ちかね、ランチタイムです。今日は豪華ですよ～。海鮮バーベキューです。とれとれの魚、イカ、タコ、サザエ、そして今や貴重な瀬戸貝を七輪で焼いていただきます



■14:00 大島<潮流体験>

自転車散歩のあとはクルージング。その昔、能島水軍が活躍していたという瀬戸の急潮に突撃します。台風の影響かちょっと波があります。船は猛スピードで航行、乗船客から悲鳴(?)が上がるほどスリリングでした。



■15:30 大島

海沿いルートには峠道があります。これがたいそうキツイ。顔を真っ赤にしてペダルをこぎます。頑張れ！もう少し。最後まで一生懸命登る姿に感動をもらいました。



■16:00 大島

途中でサイクルオアシス「アクションアイランド」で休憩してエネルギー充填。あとひと踏ん張りだ！



■17:15 波止浜駅

ゴールです。みなさん、お疲れ様でした。本日の走行距離、48km。約39kmの予定だったのに、オーバーしちゃいました。みなさん、がんばりましたね～。スポーツバイク初体験のおふたりも、すっかりその魅力の虜になってしまったようです。またぜひ参加してくださいね！

●大山祇の神が告げる五穀豊穡 「石窯クッキングツアー」

実施日：平成24年9月16日（日）

参加者：8名

コース：グリーンツーリズム体験：「米づくり体験」（大三島・秋吉学農園）

「粉から作るピザづくり体験」（大三島・工房こりん）

しまなみサイクルオアシス：「工房こりん」

稲穂の収穫、小麦ひきから体験できるピザづくりを通して、大三島の実りの秋を堪能するゆったりツアーをアレンジ。大三島を起終点にし、島を満喫できる一日となった。

【ツアーレポート】



■9:15 START

今日のツアーは、大三島の美味しい“グリーンツーリズム体験”を巡る「石窯クッキングツアー」。当日は“曇り時々晴れ”。充分なサイクリング日和となりました。大三島に集合して、いざスタート！



■9:35 大三島 肥海地区

稲作を営む秋吉さんの田んぼへ到着。さあ、「稲刈り体験」です。「鎌で稲刈りをしたことがある人、手をあげて！」…50代の男性ひとり以外は、みんな初めての体験です。ドキドキ！？「大自然の一部になった気分です」「農家さんありがとう」…みなさん真剣に稲刈りに励みました。



■10:00 大三島 肥海地区

炊きたてほやほやの新米に舌鼓。「働いたあとの新米ごはんは、サイコーですね！」と満足まんぞう♪秋吉さんによると「うちは、農薬や化学肥料は使わずに作りよるんです。そうしたらね、オケラやバッタ、ドジョウなど、たくさんの虫が田んぼに帰ってきたんです。だからお米もおいしいんですよ」とのこと。大自然の味そのものなんですね。



■12:00 大三島 上浦地区

工房「こりん」さんに到着。陶芸の窯元ですが、陶芸教室のほかに、窯焼きピザ体験も行っています。本日は、「粉からつくる石窯ピザ体験」にチャレンジ。みっちり2時間半コースです。しかも、なんと小麦は自家製というこだわり！こんな体験、他では決して出来ませぬ。みんな、我を忘れて夢中で粉作りに励みます。



■13:30 大三島 上浦地区

粉から生地をこね、発酵させてから生地をのばして具材をトッピング。焼き時間数分で「窯焼きピザ」の出来上がり～。薄生地パリパリ系の食感。でも、しっかりとコシのある生地です。これだけ丹精込めた手づくりのピザが、美味くないワケが無い！みなさん、一心不乱に味わいましたよ。

■15:40 大三島 宮浦地区

帰路、山と海、そして戦いの神様を祭った「大山祇神社」を参拝。大三島随一の観光地で、続々と参拝客が押し寄せてきます。これを買わなきゃはじまらない…人気急上昇中のヘルメットお守りを購入。ヘルメットにつけて安全サイクリング！



■16:00 大三島 宮浦地区 GOAL！

無事に出発地に戻りました。記念に、ピザの残り生地で焼いたパンのお土産つき！サイクリング後の空いた小腹にピッタリんこ。もう、幸せ感いっぱい的大三島サイクリングでしたね。走行距離は約25km。

4. しまなみサイクリスト施設緊急整備事業

サイクリングブームの高まりも踏まえ、サイクリストが快適にサイクリングを楽しめるよう、公共的な施設やサイクリスト立ち寄りポイントに、サイクルスタンド、サイクル修理工具を設置した。

(1) 施設整備に係る設置協議・諸手続き

しまなみ海道沿線地域において、サイクリストが快適なサイクリングを楽しめるよう、サイクルスタンドと自転車修理工具の整備を検討するにあたり、各種施設、市町、受入住民との協議を進め、以下の通り、整備にあたっての手続き等を共有した。

①整備するもの

■金属製のサイクルスタンド



1 基の仕様



収納した状態



連結した状態

- ・耐用年数約 10 年から 13 年。

■自転車修理工具



[セット内容]

- ・タイヤレバー 3 本
- ・スプロケットはずし 1 個
- ・フリー抜き 1 個
- ・ニップル回し 1 個
- ・チェーン切り 1 本
- ・スパナセット 4 個
- ・アーレンキー 6 本
- ・ドライバー 1 本
- ・カニ目レンチ 1 本
- ・モンキースパナ 1 本
- ・コッタレス抜き 1 個
- ・ボトムブラケットツール 1 本
- ・レンチ(8×10mm) 1 本
- ・8mm クランクリムーバー 1 本



- ① クランク抜き
- ② " (ホルーテック用)
- ③ パッチ
- ④ ボトムブラケットカップツール
- ⑤ ドライバー
- ⑥ 8×10mm レンチ
- ⑦ ペダルレンチ
- ⑧ チェーン切り
- ⑨ モンキーレンチ

- ⑩ タイヤはずしレバー
- ⑪ スプロケット抑え
- ⑫ アーレンキー
- ⑬ ヘッドスパナ
- ⑭ ハブスパナ
- ⑮ ニップル回し
- ⑯ ソケットアダプター
- ⑰ 8mm クランクリムーバー
- ⑱ カセットリムーバー

②設置にあたっての協議事項

＜サイクルスタンド＞

- 平成 23 年度は、東予地域資源活用促進事業（地方局予算）を活用し「しまなみサイクルオアシス」を 20 箇所整備しており、このうち 13 箇所にサイクルスタンドを整備している。そこで、サイクルスタンドが不足している道の駅「マリンオアシス伯方」、平成 23 年度に整備が完了していない「NPO 法人アクションアイランド」、「海水温浴施設 潮湯」、「インランドシーリゾート フェスパ」、「立石港務所」にサイクルスタンドを追加整備することとした。
- その他、サイクリストの周遊者が多い島嶼部のニーズをヒアリングしたり、市町と協議したりし、道の駅など大型公共施設等 14 箇所に対する整備を進めることとした。
- サイクルスタンドを設置するにあたり、以下の事項を共有した。

サイクルスタンドは屋外に設置し、屋内への保管等はしない。

人力で持ち運び可能（約 10kg/1 台）な仕様であるが、固定式とはしない。

盗難等のリスクは、設置者である愛媛県に責任は帰属する。但し、盗難や破損等があった場合に、その経緯が正確に状況把握ができることが望ましいため、管理人がいる施設への貸与を進めることとした。

管理者は受託者である「NPO 法人シクロツーリズムしまなみ」が行い、貸与にあたって、備品シールを適切にはり、貸与することとした。

＜自転車修理工具＞

- 「しまなみサイクルオアシス」20 箇所に自転車修理工具を整備することとした。
- 管理のしやすさを考え、箱入りとした。
- 自転車修理工具を設置するにあたり、以下の事項を共有した。

適切な場所に設置し、立ち寄ったサイクリストが使いやすいように努めることとした。

管理者は受託者である「NPO 法人シクロツーリズムしまなみ」が行い、貸与にあたって、備品シールを適切にはり、貸与することとした。なお、備品シールに活用するロゴマークは、平成 24 年度は、東予地域資源活用促進事業（地方局予算）を活用し「しまなみ島走レスキュー」の整備を検討しており、事業相乗効果を図るため、この事業と共通のものを使用することとした。

（２）サイクルスタンドの整備

①「しまなみサイクルオアシス」不足箇所へのサイクルスタンド整備

場所	施設名	個数
大島	NPO 法人アクションアイランド★ 責 任 者：代表 矢野都林 住 所：今治市吉海町八幡 131-2 設置場所：同上 施設前広場 T E L：0897-84-3590	2
	道の駅「よしうみいきいき館」 責 任 者：支配人 酒井典久 住 所：今治市吉海町名 4520-2 設置場所：同上 駐車場内 T E L：0897-84-3710	2
	村上水軍博物館 責 任 者：館長 矢野均 住 所：今治市宮窪町宮窪 1285 設置場所：同上 駐車場内 T E L：0897-74-1065	1
	吉海郷土文化センター 責 任 者：館長 高橋剛 住 所：今治市吉海町福田 1290 設置場所：同上 駐輪場 T E L：0897-84-2566	2

大島	よしうみローズ館 責 任 者：支配人 田頭美香 住 所：今治市吉海町福田 1290 設置場所：同上 施設前アプローチ部分 T E L：0897-84-2970	2
	食堂みつばち 責 任 者：代表 求裕子 住 所：今治市吉海町仁江 1876-1 設置場所：同上 駐車場内 T E L：0897-84-3571	1
	カレイ山展望公園 責 任 者：指定管理者 NPO 法人能島の里 理事長 村上安直 住 所：今治市宮窪町宮窪 6363-1 設置場所：同上 喫茶アプローチ部分 T E L：080-2989-5179	1
伯方島	マリンオアシスはかた★ 責 任 者：支配人 福田守 住 所：今治市伯方町叶浦 1668-1 設置場所：同上 施設前空スペース T E L：0897-72-3300	2
大三島	道の駅「多々羅しまなみ公園」 責 任 者：支配人 清藤祐二 住 所：今治市上浦町井口 9180-4 設置場所：同上 駐車場内 T E L：0897-87-3866	2
	上浦歴史民俗資料館 責 任 者：館長 神原辰彦 住 所：今治市上浦町井口 7505 設置場所：同上 施設前空スペース T E L：0897-87-4288	1
	道の駅「しまなみの駅 御島」 責 任 者：指定管理者 株)大三島ものづくり 代表取締役 藤原史宣 住 所：今治市大三島町宮浦 3260 設置場所：同上 駐車場内 T E L：0897-82-0002	1
	伊東豊雄建築ミュージアム 責 任 者：東浩章 住 所：今治市大三島町浦戸 2418 設置場所：同上 施設前広場 T E L：0897-74-7220	1
	岩田健 母と子のミュージアム 責 任 者：東浩章 住 所：今治市大三島町宗方 5208-2 設置場所：同上 施設前アプローチ部分 T E L：0897-83-0383	1
	伯方の塩工場 責 任 者：工場長 岡田祐二 住 所：今治市大三島町台 32 設置場所：同上 駐輪場 T E L：0897-82-0660	1
	せとうち茶屋大三島 責 任 者：店長 丸谷伸治 住 所：今治市大三島町宮浦 5119-2 設置場所：同上 施設前空スペース T E L：0897-82-0195	2
弓削島	海水温浴施設「潮湯」★ 責 任 者：上島町長 上村俊之 住 所：越智郡上島町弓削上弓削 1907-1 設置場所：同上 駐車場内 T E L：0897-74-0808	1
	インランド・シー・リゾート「フェスパ」★ 責 任 者：上島町長 上村俊之 住 所：越智郡上島町弓削日比 287 設置場所：同上 駐車場内 T E L：0897-77-2200	1
生名島	立石港務所★ 責 任 者：上島町長 上村俊之 住 所：越智郡上島町生名 1885-5 設置場所：同上 駐車場内 T E L：0897-76-2224	1
陸地部	来島海峡展望館 責 任 者：村上貴樹 住 所：今治市小浦町 2-5-2 設置場所：同上 駐車場内 T E L：0898-41-5002	1

★は「しまなみサイクルオアシス」

[道の駅]



道の駅「よしうみいきいき館」



よしうみローズ館

[レンタサイクルステーション]



道の駅「しまなみの駅 御島」

[文化施設]



岩田健 母と子のミュージアム

[観光施設]



カレイ山展望公園



来島海峡展望館

[しまなみサイクルオアシス]



NPO法人アクションアイランド



マリンオアシスはかた

(3) パンク修理資材の整備

場所	施設名	個数
大島	ペンションみなみうら 責任者：オーナー 栗山英男 住 所：今治市吉海町南浦 830-3 TEL：0897-84-4621	1
	できかけ教室 責任者：主宰 吉井游児 住 所：今治市吉海町名 1182-5 TEL：090-8286-0468	1
	民宿「千和」 責任者：オーナー 平山日出美 住 所：今治市宮窪町宮窪 6112 TEL：0897-86-2257	1
	正味集会所 責任者：代表 武田宏志 住 所：今治市吉海町正味 149 TEL：0897-84-4214	1
	NPO法人アクションアイランド 責任者：代表 矢野都林 住 所：今治市吉海町八幡 131-2 TEL：0897-84-3590	1
伯方島	ファームイン ポーチュラカ西部 責任者：西部知香 住 所：今治市伯方町木浦 3064-1 TEL：0897-72-1018	1
	お好み焼き「さくら」 責任者：赤瀬智彦 住 所：今治市伯方町伊方 669-3 TEL：0897-73-0012	1
	伯方直売所 伯彩 責任者：赤瀬臣弥 住 所：今治市伯方町有津 2270-4 TEL：0897-72-0025	1
	道の駅「マリンオアシスはかた」 責任者：支配人 福田守 住 所：今治市伯方町叶浦 1668-1 TEL：0897-72-3300	1
大三島	井上いちご園 責任者：井上正道 住 所：今治市上浦町甘崎 379 TEL：090-8283-5765	1
	工房 こりん 責任者：古林一男 住 所：今治市上浦町井口 6691-9 TEL：0897-87-2252	1
	喫茶レストラン すりい〜わぁ〜るど 責任者：国定静子 住 所：今治市大三島町明日 176-2 TEL：0897-82-1212	1
	西向山 万福寺 責任者：住職 浅野純以 住 所：今治市大三島町口総 4168 TEL：0897-83-0032	1
岩城島	菰隠温泉ホテル 責任者：砂川勝利 住 所：越智郡上島町岩城 2559 TEL：0897-75-3250	1
	岩城物産センター 責任者：上島町長 上村俊之 住 所：越智郡上島町岩城 1427-2 TEL：0897-75-3277	1
	倉本石油 責任者：倉本清 住 所：越智郡上島町岩城 2132 TEL：0897-75-2135	1
弓削島	しまでカフェ 責任者：村上律子 住 所：越智郡上島町弓削下弓削 830-1 TEL：0897-77-2232	1
	海水温浴施設「潮湯」 責任者：上島町長 上村俊之 住 所：越智郡上島町弓削上弓削 1907-1 TEL：0897-74-0808	1
	インランド・シー・リゾート フェスパ 責任者：上島町長 上村俊之 住 所：越智郡上島町弓削日比 287 TEL：0897-77-2200	1
生名島	立石港務所 責任者：上島町長 上村俊之 住 所：越智郡上島町生名 1885-5 TEL：0897-76-2224	1

5. まちなかコミュニティ創出等まちなか活性化を目的とした、サイクリストおもてなし事業 (愛媛県地域課題解決活動創出支援事業(市町モデル事業))

■事業概要

「自転車移動カフェオープン」、「自転車旅行者向け土産の開発」等を多様な主体との連携の元を実施し、「しまなみ海道」で芽生えるサイクルネットワークを中心市街地に拡大する社会実験を実施。また、マナー啓発、人材育成(自転車ヒロバ)等の自転車の安全運転啓発活動により、自転車先進都市としての基盤整備を進めた。

■事業の背景

ポテンシャル: サイクリストが「一度は走ってみたい道」と羨望する「しまなみ海道」。

健康にも環境にもいい！ 二大効用に後押しされる自転車ムーブメント。

課題: 衰退の一途を辿る中心市街地。空洞化はまちの大きな課題。

サイクリストのゴールはサンライズ糸山。

中心市街地まで足が伸びない。

(台) しまなみ海道レンタサイクル利用実績



▲年間6万台のレンタサイクル、MY自転車4万台と合わせ、年間10万人のサイクリストが訪れる。

島しょ部のサイクルネットワーク
→中心市街地に拡大！

- ★一体的な情報発信
- ★同様の受入体制整備



▲橋から中心市街地へ伸びるブルーライン(サイクリングコースの目印)は誘客の好材料。「ブルーライン」から逸れ、まちなか回遊を促す実験に着手！チャレンジしたのが「シクロカフェ&自転車ヒロバ」。滞在時間増加のしかけに成長中！

■事業の概要（ダイジェスト）

交流機能（１）コミュニティ移動カフェ「シクロカフェ」のしくみ化

→旅行者と住民の交流機能

取組①シクロカフェオープン

○移動式カフェ 10 回実施

ポイント：コラボ展開に着手→マニュアル化



コラボパートナー募集中！

シクロカフェや自転車ヒロバと一緒に楽しい時間と空間をつくってくれるコラボパートナー募集中！



真心込めた品々を提供する個店、趣きある建築物 etc. まちなかには紹介したいところがたくさん。シクロカフェがドーンとコラボ！



市民の手づくりイベントがあつ〜い！シクロカフェも一緒に盛り上げたい！！そんな思いで市内随所にお出かけします。

成果：シクロカフェの認知度が向上

課題：個店とのコラボが実現せず

販売機能（２）「シクロカフェ」の付加価値向上

→販売力のある商品の開発

取組②シクロカフェ試食会・商品開発

○夏メニュー・冬メニュー試食会実施

ポイント：農漁業従事者参加型でメニュー開発

成果：ドリンク定番メニュー誕生

課題：フードメニューは試行錯誤中



▲島レモンジュレ



▲いちごスムージー

○サイクリスト向け土産の開発

ポイント：作業所のスキルをいかした商品づくり

成果：バリエーションあるアイテム完成・商品カタログ完成

課題：販売実績があがらず 対面販売＆ネット販売は次年度へ持ち越し

マナーUP（３）参画型のルール・モラル向上

→自転車先進都市を目指して

取組③自転車ヒロバ

○自転車ヒロバ 13 回オープン

ポイント：三世代が交流する賑わい空間

成果：自転車ヒロバファンの獲得・延べ 1,072 人が体験

（今治市園児数約 5,200 人（公私合わせ）の 20%を集客）

課題：不定期開催のため、オープン情報が伝わりにくい



○自転車啓発教室 4 回実施

ポイント：集客施設等との連携で実施

成果：延べ約 240 人に啓発活動・安全啓発のしくみが確立

課題：息の長い地道な取組必須・ハード整備も必要

■取組から得られたまちなか展望

(1) 市外から訪れるサイクリストによる賑わい創出

本取組への相乗的効果を確信して展開した2事業により、方向性が明確化！

事業1 ガイドツアー

「しまなみ海道」サイクリングとまちなか回遊を組み合わせたツアーを展開。老舗の味、歴史等、まちなかが持つ魅力を伝えた。船と自転車を組み合わせ、瀬戸内海を一体的に楽しむツアー企画を検討。発着を今治港とすることで、まちなか回遊をより促進することが目標。



▲今治の基幹産業と経済的基盤の象徴を紹介する。



▲城下町今治を散走しながら解説。案内人必要性を検証。



▲南光坊にて、お接待の文化とまちなか散走の魅力を考察。

事業2 受入基盤整備

ビギナーサイクリストをターゲットに、トラブル発生時のバックアップ機能を果たす「自転車休憩所 サイクルオアシス」、手軽なサイクリングを実現する「手荷物運搬サービス」を展開。休憩や荷物受取の総合的な拠点を、まちなかにおくことで、まちなかへの立寄を促す効果があることを感じた。

■「自転車休憩所 サイクルオアシス」のしくみ→今治市のまちなかに4箇所オープン



■手荷物運搬サービス

稼

平成 25 年度から週末



(2) 市民による賑わい創出

本取組から3つの課題が浮上！

まちなか課題① 駐車場がない・駐車場情報がない

→「シクロカフェ」「自転車ヒロバ」オープン時に近隣に駐車場を確保した。



▲辰の口公園イベント(5/26)
美須賀小学校



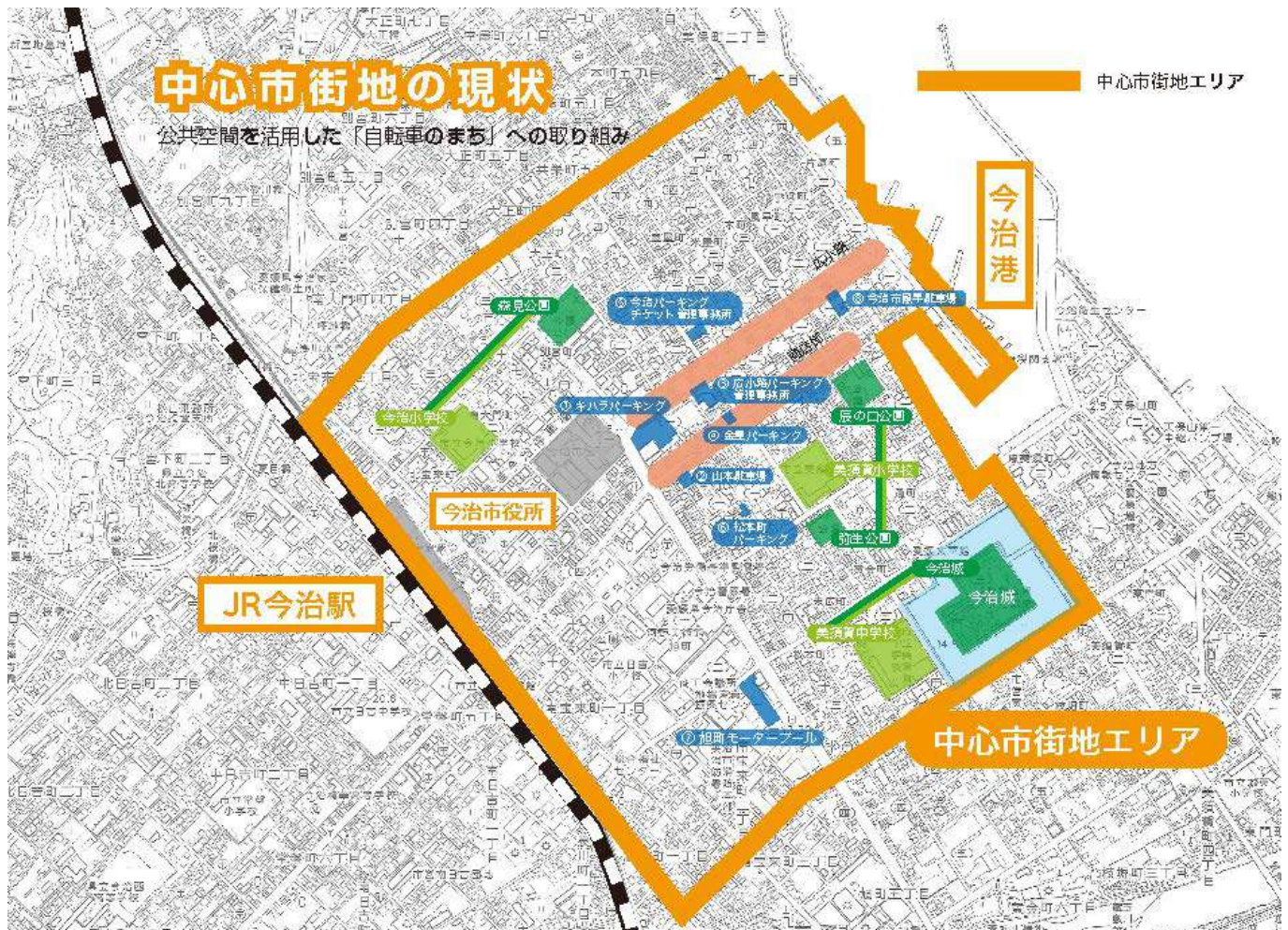
▲森見公園イベント(9/22)
南光坊



▲吹揚公園イベント(11/3)
美須賀中学校

※まちなかに駐車場が不足しているわけではない = 調査が必要

※イベント時だけではなく、日常的なまちなか来訪のために、駐車場情報が必要である



まちなか課題② 安心・安全な空間がない

→まちなかに点在する「公園」の多さは意外な発見！

場をいかすプログラムがないことが課題＝「自転車ヒロバ」をオープン

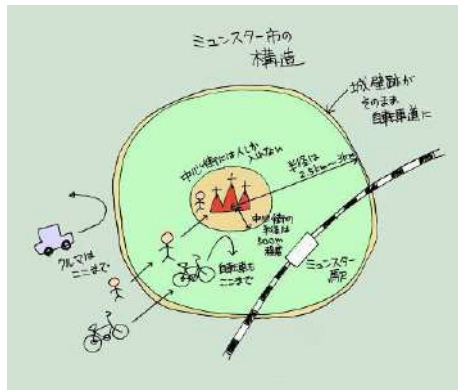
◎「シクロカフェ」と「自転車ヒロバ」は相性抜群

子ども達が夢中で遊べるしかけ&保護者が子どもを見守りながらカフェでゆっくり

(参考事例) ドイツ・ミュンスター市「徒歩・自転車による中心市街地再生」

◎郊外大型店との差別化を意識し、徒歩・自転車での購買層を獲得

◎半径2.5kmの小都市を自転車と歩行者のみが回遊できる空間へ



最中心街の0.5kmには、自転車も入れない。
中心市街地活性化に「車」を中心にした施策は逆効果。
便利なまちなかにある利点をいかして、徒歩・自転車施策を。

ヒントにしたのは・・・

大型ショッピングセンターの安心感
＝ 小さな子どもの手が離せること



車を排除 安全・安心
(朝夕の1時間のみ荷物搬入の車)



* 便利な中心地に人が戻る
* 夜はデートスポットに

※自転車を通じた三世代交流の促進がキーポイント

「シクロカフェ」&「自転車ヒロバ」のしくみは大きな可能性あり！



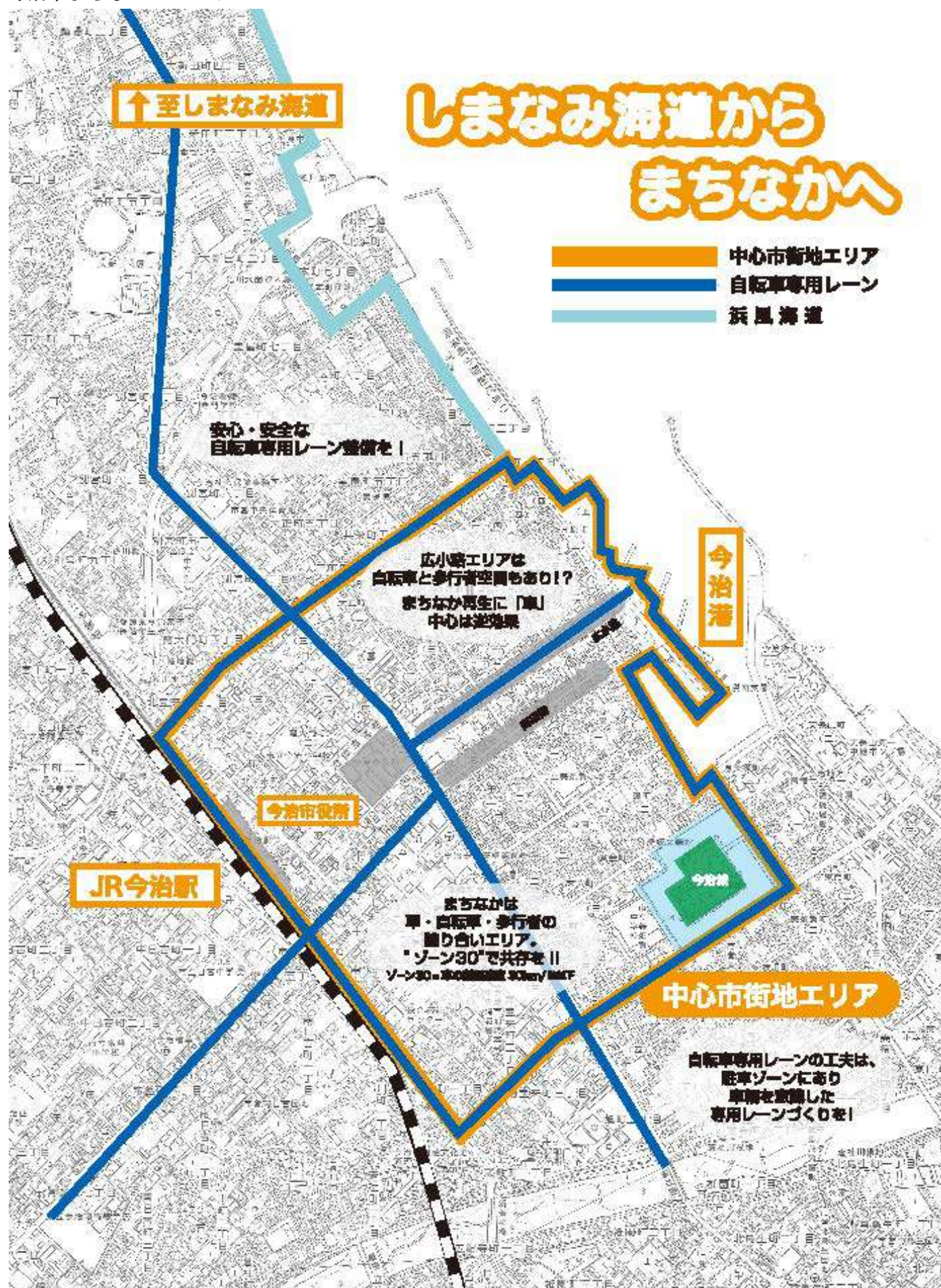
▲サイクリストの卵が成長中！
ヘルメットを着用して遊ぶキッズは
今治市の宝物。



▲子育てを通してまちへの愛着
孫育ての高齢者も参加。自転車に乗る
きっかけを得て、健康維持効果も。



▲まちなか滞留による購買意欲
魅力的な飲食、物販があれば、
購買は伸び、経済効果へ直結。



■事業の概要（詳細）

交流機能（１）コミュニティ移動カフェ「シクロカフェ」のしくみ化→旅行者と住民の交流機能

取組①シクロカフェオープン

地産食材を用いた地域ならではの飲食を求めるサイクリストを主要顧客とするカフェをオープンした。地産地消を条件に、食育、伝統の味と技、新しい食の文化等の担い手と共同で運営をてがけた。提携先の具体化、コラボメニューの商品化が進み、大きな一歩を踏み出すことができた。

ポイントA 地元店舗とコラボレーションによるメニュー提供

B 準備、撤収の手間の軽減を模索

C 出店スタイルを２種提示（連携先を探し、次年度以降の展開を模索）

※コラボパートナー募集

カフェコラボ：個店前や駐車場、公園等の公共的な空間を別目的使用し、賑わい創出

イベントコラボ：自転車まちづくりの啓発やまちなかの魅力発信に重点

【カフェコラボ】

① 日 時：平成24年5月12日（土）10：00～16：00

場 所：お好み焼き『昌万』（今治市大浜）

参加者数：18人

提 携：お好み焼き『昌万』（来島海峡大橋を望めるまちなか誘客推奨ルート沿いの店。ふれあいを楽しめる個店。）

コラボメニュー：シクロ焼き（食べやすい大きさ、野菜たっぷり健康志向のサイクリスト向けのアレンジお好み焼き）

「今治市中心市街地再生協議会サイクル部会」事業が実施する「安全走行のために必要なヘルメット着用等を啓発するプロジェクト“自転車人養成講座”」参加者である高校生メンバーを招致。しまなみ海道サイクリングを楽しんだ後、まちなかに向かうルート上で休憩できるスペースがあることの意義を感じた。参加者には自転車でゆっくりまちを巡り、住民との出会いを楽しむ魅力を体感してもらうことができた。



② 日 時：平成24年5月26日（土）10：00～15：00

場 所：辰の口公園（今治市通町）

参加者数：約70人

提 携：今治チームぎょしょく（地場産業の水産業に親しみ、魚好きの子ども達を育てようと活動するグループ）

コラボメニュー：ジャコカツバーガー（来島海峡でとれた魚を使ったアレンジメニュー）

併設オープンした「幼児を対象にした“自転車ヒロバ”」を訪れた親子による利用が中心であったが、サイクリストや自転車愛好家も来訪。ジャコカツバーガーも完売した。お弁当を広げ、長時間滞在する親子連れも見られ、「カフェ+ヒロバ」の集客力と滞在時間の伸長効果を感じた。また、公園を訪れるゲートボール愛好家の高齢者がカフェに立ち寄るなど、老若男女の出会いと交流を育むことができた。



③日 時：平成24年6月30日（土）7月7日（土）7月14日（土）7月21日（土）8月11日（土）
19：00～21：00

場 所：今治商店街

参加者数：合計約250人

提 携：夜店ルネッサンス2012まちなかカフェ

メニュー：じゃこ巻おにぎり・ところてん・島採れいちごのスムージー・まるごとブルーベリースカッシュ 等

今治の中心商店街で毎夏行われている“土曜夜市”。人出が少なくなっていたが、官民協働で中心市街地を盛り上げるプロジェクトの効果があり、昨年度より来訪者が増えている。そんな中、シクロカフェを出店。自転車牽引のトレーラーに、オシャレなテントは人目を引き、夜市の楽しい雰囲気を盛り上げることができた。販売品目も充実。ところてんは、大三島で採れた天草を使用し、夏メニューとして開発したもの。地元で天草を採る住民との仕入れから加工、販売までの協働作業へのチャレンジの一步となった。



④日 時：平成24年9月22日（土）11：00～14：00
※6月16日（土）雨天のため中止の代替日として実施。

場 所：森見公園（今治市）

参加者数：約60人

提 携：達川ベーカリー

老舗のパン屋。糖度の高いバターを使ったシャノン、揚げたてカレーパン等が人気。

コラボメニュー：達川ベーカリーのソフトフランスとラタトゥイユ

夏メニュー試食会を経てメニュー化されたラタトゥイユに人気パン屋のパンを添えて

タマネギ、だいこん、かぼちゃ、サツマイモ、ピーマンと秋野菜をふんだんに使った南仏プロヴァンスの名物料理『ラタトゥイユ』がシクロカフェに新登場。市内のくつろぎ空間「森見公園」をカフェ会場に、ご家族、お友だちとご一緒にアウトドアランチタイムをお楽しみいただくことができた。森見公園すぐそばの達川ベーカリーのソフトフランスをセット。店舗にとっては、新しい顧客開拓の一助にもなり、市内の個店とのコラボレーションはしくみ化したいと感じた。



【イベントコラボ】

①日 時：平成24年6月17日（日）13：00～17：00

場 所：ふれあいマリン広場（今治市片原町）

提 携：今治市中心市街地再生協議会みなと部会

中心市街地再生の一環として、今治港の再生を市民参画型で進めようとするグループ

メニュー：アイスコーヒー・島採れいちごのスムージー・まるごとブルーベリースカッシュ

今治港の再生を考える「BARI Newport Festival」会場にシクロカフェをオープン。手づくり紙芝居やおもちゃの船づくりを楽しむ家族連れに、しまなみの食材を活用したドリンクを提供した。



②日 時：平成24年10月13日（土）13：30～15：30

場 所：波方児童館グラウンド

提 携：ファミリーデーイベントとコラボ

メニュー：島採れいちごのスムージー・まるごとブルーベリースカッシュ

父親の育児参加等、子育てを応援する児童館イベントに出店。親子連れはもちろん、地元の老人会、おやじの会等の参加者に、シクロカフェのしゅみを告知する機会となった。



③日 時：平成24年10月14日（日）11：00～15：00

場 所：湯ノ浦グラウンド

提 携：ファミリーデーイベントとコラボ

メニュー：島採れいちごのスムージー・まるごとブルーベリースカッシュ

話題のB級グルメなどの出店と並び、シクロカフェをオープン。自転車牽引のトレーラーに、オシャレなテントは人目を引き、来場者に地産の食材をいかしたドリンクを堪能いただけた。



- ④日 時：平成24年10月28日（日）10：00～15：00
 場 所：今治商店街
 提 携：シンボル広小路とコラボ
 メニュー：島採れいちごのスムージー・まるごとブルーベリースカッシュ

今治市中心市街地シンボルロード・広小路に軽トラの店が並ぶ「軽トラ市」の一環で、シクロカフェをオープン。簡易な出店のしくみとしては、軽トラ市と通ずるものがあり勉強になった。



- ⑤日 時：平成24年11月3日（土・祝）10：00～15：00
 場 所：今治城吹揚公園
 提 携：しまなみランニングバイク選手権とコラボ
 メニュー：オレンジライスカレー・ラタトゥイユ・じゃこ天巻おにぎり

シクロカフェ出店のしくみと両輪で進めた「自転車ヒロバ」愛好者の選手権大会にシクロカフェをオープン。県外来場者もあるイベントで、地元グループとのコラボレーションでメニュー提供できた。



- ⑥日 時：平成25年2月16日（土）17日（日）11：00～15：00
 場 所：今治商店街
 提 携：今治ABC祭
 メニュー：島採れいちごのスムージー

映像・B級グルメ・キャラクターで今治市中心市街地を盛り上げるイベントにシクロカフェを出店。多くの来場者にシクロカフェに立ち寄っていただいた。



販売機能 (2) 「シクロカフェ」の付加価値向上→販売力のある商品の開発

取組②シクロカフェ試食会・商品開発

○夏メニュー・冬メニュー試食会実施

ポイント：農漁業従事者参加型でメニュー開発

シクロカフェの付加価値向上を目指し、サイクリストの声を意識したメニュー開発、提供に取り組んだ。地産食材の活用を前提に、コストを抑える調理の工夫、冷蔵、冷凍でデリバリーできる技術等を検討。一次産品の生産者、加工者等、飲食メニュー提供に関心のある人が参画できるしくみを検討した。

【夏メニューについて】

①第一ステップ

地元有志により、カフェ提供メニューを開発。素材の特徴をいかしながらの料理法等を検討した。

<第1回検討会>

日 時：平成24年6月24日（日）14：00～16：00

場 所：大三島公民館 サークルホール

講師：大三島婦人会

島らしい食材を活用したおやつづくりを目指し、島で採れる天草を使ったスイーツ開発に取り組んだ。



▲大三島の天草を使い、トコロテンの調理法を地元グループから教わった。



▲二番・三番のゆで汁を活用した、フルーツやコーヒー味への加工も。



▲トコロテンつゆの味付けはバリエーション利かせ、検討した。

<第2回検討会>

日 時：平成24年7月18日（水）10：00～12：00

場 所：今治市民活動センター

講師：地域おこし協力隊 吉海支部

夏採れのブルーベリーを活用したおやつづくりに取り組んだ。



▲サイクリスト向けのスイーツ提供を前提に、試作に取り組んだ。



▲エネルギーの補給につながり、かつ地域の特産品にと意気込む。



▲島採れのブルーベリーを使いマフィン。改良作のアイデアをつかむ。

<第3回検討会>

日 時：平成24年7月19日（木）9：30～15：00

場 所：伯方総合開発センター

講 師：地域おこし協力隊 吉海支部

地元の夏野菜等を活用したランチメニューの開発を目指し、試作に取り組んだ。



▲野菜の素材の選び方から、その特徴や活用のバリエーションを学ぶ。



▲提供の仕方をイメージしながら、加熱調理の手順を学んでいった。



▲ラタトゥイユ、野菜マリネ、ココナッツカレー等を試作した。

② 第二ステップ

日 時：平成24年7月21日（土）11：30～14：30

場 所：鶏小島キャンプ場

参加者：16名（男性4名、女性12名）

講 師：地域おこし協力隊 吉海支部

サイクリストへの提供を想定した“カフェスタイル”試食会を実施。実際にサイクリスト等が「こんなところでランチを食べてみたい」「ひとやすみしたい」と思える景勝地を選択。屋外空間での実践は、移動式で簡易にどこでも出店できるスタイルの可能性の検証となった。荷物の搬入、会場セッティング、料理の保温・冷却及び提供等について、簡易さや衛生面への配慮等について確認を進めた。

メニューは夏野菜をふんだんに使ったカフェメニュー。味や量はもちろん、食材の取入れ方の工夫や改善点、調理法のアイデアについても意見を求めながら試食会を進めた。調理方法について具体的な質問も出るなど、参加者は熱心に聞き取りながら、評価に向かってくださった。会場のシチュエーションが抜群で、汗ばむ陽気ながらもゆったりとした雰囲気が演出できており、ゆっくり食事ができたことで、概ね良好な評価を得られた。具体的な提供メニューの確定へつなげたい。



【冬メニューについて】

① 第一ステップ

地元有志により、カフェ提供メニューを開発。今回は和食を主軸に素材のいかしかた等を検討した。

<第1回検討会>

日 時：平成24年11月10日（土）10：00～16：00

場 所：吉海学習交流館

講 師：吉海太陽の会

タコ飯がパックで販売されることが多い中、カフェメニューに取り入れるために「タコ飯ロール」開発に取り組んだ。

② 第二ステップ

日 時：平成24年11月11日（日）11：30～13：30

場 所：大三島公民館サークルホール

参 加 者：42名（男性30名、女性12名）

講 師：地域おこし協力隊 吉海支部

和食メニューの試食会を実施。実際のサイクリングツアー参加者にモニターを依頼し、地元食材を使ったメニューへの意見を収集した。しまなみ地域で開催されるサイクリング大会、ウォーキングイベント等の定番メニューである「たこ飯」「たい飯」。パックで手渡されることが一般的な中、カフェスタイルに合う提供を検討し、今回は「たこ飯ロール」をアレンジ。野菜も一緒に食べられるよう、地元野菜の漬物を巻き込んだ。



●夏メニューアンケート結果（総括）●

①対象者

一次製品の生産者、加工者や飲食メニュー提供に関心のある人を対象として公募。16名による評価。

□性別：男性 4名・女性 12名

□年齢：～10歳まで 2名・30歳代 4名・50歳代 2名・60歳代 4名・70歳代 4名

②実施日・場所

平成24年7月21日（土） 鶏小島キャンプ場

③方法

アンケート記述式

【総括】

○爽やかな風を感じながらのくつろいだ雰囲気に満足度が高かった。

○地産の食材活用を前提に、提供の場所やスタイルはアレンジできる可能性を示唆いただいた。

食材の提供者、調理の担い手などの育成につなげたい。

○サイクリストと一般向けでは、味や量で違いがあった方がいいとの見解が多かった。

○主食をパンにするのか、ご飯にするのかは意見が分かれるところであったが、まちなかに点在する良質のパン屋とのコラボレーションを薦めてはとの意見は参考になった。

●冬メニューアンケート結果（総括）●

①対象者

実際のサイクリングツアー参加者42名にモニター依頼。

□性別：男性 30名・女性 12名

□年齢：～10歳まで 4名・20歳代 16名・30歳代 11名・50歳代 5名・60歳代 1名・70歳代 1名

②実施日・場所

平成24年11月11日（日） 大三島公民館サークルホール

③方法

アンケート記述式

【総括】

○今回は団体旅行やイベントでの提供を想定し、大グループへのモニター依頼となった。

○慣れない大量提供に不安を感じ、お膳の準備等をしたが、逆効果。

シクロカフェのコンセプト＝準備・撤収の簡便さと演出の重要性を再認識した。

○「たこ飯」「たい飯」を旅行者に提供する機会が多い中、カフェスタイルの提供にチャレンジ。

たこ飯を筒状に巻いたたこ飯ロールは初めて食べる食感に好評を得た。

シクロカフェへの提案

一次製品の生産者や加工者と取組を振り返り、「シクロカフェ」に携わってくれるネットワーク構築について意見交換。島嶼部の一次生産者から野菜を、陸地部・まちなかのパン屋でパンを購入する等、仕入先のバラエティもあり、今後への足掛かりができた。

★地産食材の活用は大前提→今治市内のパン屋等とのコラボで、バリエーションあるメニュー開発へ。

★小ロット提供のしくみを→準備・撤収の手間を軽減。多様な担い手と協働できるしくみ整備へ。

★提供の場をアレンジ →移動式は自然を感じる雰囲気の中で・固定式は交流促進を念頭に検討へ。

（主な提案）

○サイクリストを中心とするが、住民にも食べて頂ける工夫が必要。

○ツアーや体験学習など他のコンテンツと連携すべき。

○オリジナルパンレシピの製作をしては。同様にシクロカフェ開発商品をまちなかで販売。

○一次製品の生産者、個店とのつながりが今後の課題

（規格外農水産品の活用によるコスト削減、同時に生産者の意欲向上のしくみ）

○提供の雰囲気づくりを。

・メニュー紹介（こだわり、手作り感）

・提供の順番（ごはんの出し方、おかわりの案内、デザート等）、

○出店のPRを。

・定期的な開催

・広告、チラシの配布の仕方

●夏メニューアンケート結果（詳細）●

① シクロカフェの雰囲気

- ・ 自然と一体になった空間での食事は非常に気持ちがいい。
- ・ くつろいでゆっくり食べることができた。いろいろな場所で展開できる可能性を感じる。

しまなみらしい自然の中にくつろげる空間を作り出すことが付加価値となり、高い満足度につながると感じた。屋外提供でのデメリットを少なくし、自然を生かした心地よい空間作りが大切になることが分かった。

(人)

大変満足	10
満足	6
やや不満	0
不満	0
未回答	0



- ・ 自然と一体となった空間で気持ち良かった。
- ・ 場所がキャンプ場というのが良かった。
- ・ 天気に恵まれて、暑かったが時折吹く風がとても気持ちよく、くつろげる空間になっていた。(2)
- ・ 瀬戸に行く船のエンジン音が耳に心地よかった。
- ・ テーブルクロスが素敵だった。
- ・ くつろげる空間になっていた。(3)
- ・ 楽しかった。(2)
- ・ 島メニューを自然と調和した形で、陸地部で提供できれば。新しい港での提供が実現すれば、島に行けない（まちなかの自転車に乗らない）人々の需要を取り込むことが出来、まちなかでの展開に有効。(固定カフェ、サイクルカフェともに)
- ・ 景色、環境、器など落ち着いた雰囲気、くつろいでゆっくり食べることが出来た。
- ・ 色々な場所で行える可能性を感じた。
- ・ 空間は良いが、虫が気になった（ハチ）。
- ・ 立食が通常？

② メニューのボリューム

サイクリストが食べるランチという設定で評価してもらったところ、

- ・ 休憩がてら食べるには少し多い気がした。しっかり食べるのであればよい。
- ・ 長距離を走ってきたサイクリストにはちょうどいいかもしれない。

走っていない人には多い気がするが、サイクリスト向けには適量だという意見が多かった。

(人)

ちょうどいい	8
多い	8
少ない	0
未回答	0



- ・ 休憩タイムとしては多め、しっかり食べるならOK。
- ・ 長い距離を走ってきたサイクリストにとってはちょうどいい。そうでなければ量が多い。
- ・ サイクリストの方は体力があるので良い量かも。
- ・ 女性には少し多い。自転車に乗るなら適量か。
- ・ まちなかのパン屋分布を考えれば、ライスよりもパン。
- ・ 島野菜等＋パンでオリジナルパンの作成も面白い。
- ・ 好みだが、パンよりライスの方がいい。
- ・ ちょうどいいと思う。(3)

③ メニューの味

◎夏野菜のトマト煮込み

安価に入手できる地産のトマトを使い、鶏肉や旬の野菜を煮込んだもの。冷凍で保存でき、温めても冷たくしても提供できる。参加者からは「大変満足」13名、「満足」3名と高い評価を得た。「子どもから大人まで食べやすい」「多種類の野菜を使用しているのがよい」という感想であった。

(人)

大変満足	13
満足	3
やや不満	0
不満	0
未回答	0

- ・野菜(トマト)そのもので濃くないので良い。
- ・カレーがスパイシーな分、煮込みの味付けが丁度良く感じた。
- ・子どもから大人まで食べやすい。
- ・味がちょうど良かった。
- ・パンにつけるとあう。(2)
- ・トマト缶を使ったら酸味があるが、今回の煮込みは食べやすく美味しかった。
- ・鶏肉はもう少し小口切りでもいい。
- ・ちょっとパンチ不足。

- ・さっぱりとした味で美味しかった。
- ・野菜たっぷりで味が出ていて良かった。
- ・色々な夏野菜を使っていたのが良かった。
- ・大変美味しかった。(2)

(食材の提案)

- ・大三島ではイノシシソーセージ等ある。
- ・我家ニンニクある。

(ネーミング案)

- ・中国語、英語表記があれば、名前は普通でいい。
- ・ハイウエスト煮込み
- ・夏野菜煮込み
- ・島野菜のトマト煮込み
- ・採れたて野菜のトマト煮込み

◎夏野菜のマリネ

プチトマト、キュウリ等、地産の夏野菜をマリネ液に漬け込んだもの。甘めの味のものと、辛みと酸味を利かせたものの2種類を提供した。「大変満足」2名、「満足」13名。甘めのものの方が好評であったが、サイクリスト向けには酸味の強い方が向いているのではないかという意見が多かった。

(人)

大変満足	2
満足	13
やや不満	0
不満	0
未回答	1



- ・酸味の強いほうがサイクリスト向け。
- ・個人的には酸味を控えた方が好み。サイクリストには強いほうがいいのかも。
- ・2種類の違いが微妙。体にとっても良さそう。
- ・野菜が嫌いな人もいるので、種類を減らせばいい。
- ・はの皿(木?)の方がいい。
- ・さっぱり美味。大根の歯ごたえが良い。

(食材の提案)

- ・きのこ類が入ってもいい。
- ・アスパラガス。

(ネーミング案)

- ・ハイウエストマリネ
- ・夏野菜づけ

◎2色のカレー

カレーペースト、ココナッツミルクを用い、タイ風のエキゾチックなカレーに仕立てた。レッドカレーとグリーンカレーの2種類を作り、どちらも鯛のソテー、ブロッコリーを添え地元色を演出した。「大変満足」3名、「満足」13名、「やや不満」3名。スパイスが強く食べ慣れない味であるが、「変わっていてよい」「サイクリストには辛さが向くのではないか」という意見があった。

(人)

大変満足	3
満足	13
やや不満	3
不満	0
未回答	0



- ・唐辛子がよくきいて若い人向き。男性向き。(3)
- ・サイクリストには向いている。辛さがあう。
- ・赤＝よりスパイシー。白(グリーン)＝一般受け
- ・パンにつけて最後まで食べられるところは良い。
- ・違う味を楽しめるので、少量で両方提供がよい。
- ・白いほうがよい(グリーンカレー)
- ・赤いカレーは辛い。緑のカレーは辛くない。
- ・欲を言えばご飯が欲しい。
- ・エキゾチックなメニューは慎重にした方がよい。
- ・辛さが調整できるのならもう少し抑えてもいい。

(ネーミング案)

- ・ハイウエストカレー
- ・赤と緑のカレー
- ・汗倍増♪やみつき2色タイカレー
- ・レッドとグリーンカレー
- ・赤のカレー、みどりのカレー

◎マフィン

島で採れたイチゴとブルーベリーをそれぞれ生地混ぜ込んで小さなカップに流し込み焼いたもの。「大変満足」10名、「満足」6名。味については概ね好評であった。小サイズだが、「このサイズがちょうどいい」と評価が高かった。このサイズなら負担なく2種食べられるが、調理の際手間がかかるデメリットも考えられる。

(人)

大変満足	10
満足	6
やや不満	0
不満	0
未回答	0



- ・美味しかった。ふわふわで美味しかった。(4)
- ・マフィンはブルーベリーが美味しかった。
- ・大きさもちょうど良い。量も適量で良い。
- ・小さめの2種類で丁度良かった。
- ・手間かもしれないが、このサイズが丁度いい。
- ・単品で食べるのなら増やす。
- ・果実そのままを使ってもいいと思う。
- ・ブルーベリーのマフィン美味しかった。
- ・崩れやすかった。カフェで出すならかためで。
- ・パン屋とのコラボがよい。

他の種類のお店や生産者の協力をもらっては。
場所と生産品を活用したカフェ。可能性を感じた。

(食材の提案)

- ・ママレードや金柑

(ネーミング案)

- ・しまなみマフィン
- ・マフィンブルーストロベリー
- ・ベリージャムのプチプチマフィン

◎天草のジュレ

島で採れた天草、レモン果汁、グラニュー糖を使い、ゆるめに固めゼリー飲料に仕上げた飲み物。「大変満足」13名、「満足」3名。「あっさりしていて飲みやすい」「さっぱりとしてさわやか」と夏の飲料に最適であるという意見が多かった。塩を加えて飲んでもよく、熱中症対策にもなる。

(人)

大変満足	13
満足	3
やや不満	0
不満	0
未回答	0



- ・サイドメニューで塩をプラス。
- ・単品でも休憩時にさっと飲めていい。
- ・子どもにもサイクリストにも好評だと思う。
- ・さっぱりしていて美味しかった。(3)
- ・さっぱりととても飲みやすい。
- ・レモンがさわやか。
- ・さっぱりとさわやか！
- ・さっぱりとして美味しかった。

- ・天草くさくなく飲みやすい。口に入れた第一感想がポカリっぽかった。
- ・あっさりしていて飲みやすかった。レモンがきいていてあと味もなくよかった。
- ・少し酸っぱかった。

(食材の提案)

- ・ジュースという点で
赤しそジュースがあっさりでお勧め

(ネーミング案)

- ・グラス・ジュレ
- ・飲む、島の天然ポカリ風ジュレ
- ・海を飲むイメージで。

シクロカフェへの意見

- ・ツアーや体験学習との連携をしては。
- ・体験（ツアー）×農業×カフェ
島のツーリズムのしくみ×カフェのしくみ
- *野菜、魚を収穫するツアー（有料で自ら収穫）
調達コスト削減（規格外OK）
→カフェ（拠点等）に持参。
(具材・資料のストック、運搬コスト削減)
- ・釣った魚を調理して（野菜の収穫も）、料理として出す、6次産業ツーリズムを。規格外農水産物でコスト削減。
→同様の具材を使った料理の提供、又は一部その場で調理（取り手に感動、調理側も助かる）
- *季節メニューの充実。規格外を裁け、資金に。
- ・手軽な軽食の開発。
- ・季節ごとの旬のメニュー。
- ・冷凍できる観点は良い。

- ・電源に頼らないメニュー。
- ・各種大会・イベント（運動・文化）への出店。
- ・新しいことにどんどん取り組んで。
- ・今日の提供で、価格は1,200円では赤字かな。
- ・上浦（大三島）にも是非出店してほしい。
- ・提供を重ねて作り上げて。楽しみにしています。
- ・今治のまちなかに無い味付け。固定の拠点（港・味付薄め）と移動式カフェ（味付強め）で、まちなか集客を相対的に高められる。
- ・サイクリストの平均的な食事時間は？「ほんからどんどん」にサイクリストが集まり出した。対象をクローズしないほうが良い。
- ・まちなかパン屋の販売促進ニーズ→シクロがオリジナル菓子パンレシピ製作
- ・ひんやりスイーツ→まちなか銭湯への配置→サイクリストが銭湯を目指す。

●冬メニューアンケート結果（詳細）●

① メニューのボリューム

サイクリストが食べるランチという設定で評価してもらったところ、

- ・サイクリストは昼食後も走る、途中、携帯食（又は体験での飲食）があれば・・・

上記、意見から量は控えめ&簡単に食べられる→軽食スタイルの方が喜ばれると総括。

(人)

ちょうどいい	17
多い	24
少ない	1
未回答	0



- ・8割くらいでいい。ちょっと多すぎだった。
- ・女性としてはボリュームがありお腹いっぱい。
- ・もう一品少なくてもいい。厚揚げは一枚でいい。
- ・昼食後も走るので、お腹がいっぱいはNG。
- ・太巻きは二個、厚揚げ豚バラは各種一個、そうざいも一種類でいい。
- ・多いけど最高！うまい。
- ・ちょうど良い。
- ・ごはんの量が少ない。普通のお茶碗のご飯が良い。

- ・個人差があると思うので、今回のような「おかわり」が良い。
- ・島のものを使った食べ物が色々食べられるなら、少量ずつをもっと色々食べてみたい。
- ・豚のあんかけがちょっと多かった。
- ・魚が食べたかった。
- ・お弁当形式の方が、いっぺんに渡せて良いのでは。
- ・おにぎり、おかず、汁物がいい。

②メニューの味

◎そうざい三種盛り

素朴な味への評価が高かった一方、3種あるならバラエティある味付け、又は1種でもとの意見があった。

(人)

大変満足	16
満足	23
やや不満	2
不満	0
未回答	1

- ・しっかりした味で良かった。
- ・ちょうど良い味付けで二重丸。
- ・ひじきが美味しかった。
- ・三種類もあり、お得感あり。
- ・適量で良かった。

- ・三種もいらないのでは。
- ・もう少し少量でも良い。
- ・どれか一種類の方が良い。
- ・おかわりした。
- ・素朴で良い。
- ・おふくろの味
- ・普通。

◎焼き厚揚げ豚バラあんかけ

厚揚げと豚のミックスへの好評価の一方、サイクリング客には脂っこいので抵抗が……との声も。

(人)

大変満足	21
満足	14
やや不満	7
不満	0
未回答	0

- ・ボリュームがあり。
- ・豚バラが大きくて大変良い。
- ・肉も柔らかく美味だった。
- ・最近、焼豚玉子飯を食べた。今回も大変満足。
- ・厚揚げが入っているのが珍しい。
- ・美味しいが量が多い。

- ・油っこい。
- ・サイクリング中は、さっぱりとした食事が良い。
- ・厚揚げがボリュームありすぎた。
- ・厚揚げの味が少し微妙だった。
- ・揚げる前に一度汁を染み込ませて

◎タコめし太巻き

初めて食べる＝この地域でしか食べられないという好印象を持っていた。食べにくさを改善。

(人)

大変満足	16
満足	18
やや不満	7
不満	1
未回答	0

- ・できれば持ち帰りたいくらい。
- ・大変美味しくおかわりした。
- ・これは美味い！ (6)
- ・初めて食べる感じ。美味。
- ・崩れやすくて食べにくかった。
- ・海苔が食べにくかった。
- ・タコのパンチ力が少し薄かった。
- ・普通のタコ飯の方が良い。
- ・つけものが欲しい。
- ・地元の料理という感じ。
- ・量が多かった。
- ・二切れぐらいが良い。

◎山菜にゅうめん

レモン風味をいかした地元食で勝負。温かいものを出すタイミング、季節感への考慮が勉強になった。

(人)

大変満足	19
満足	17
やや不満	6
不満	0
未回答	42

- ・美味。レモンが良かった。
- ・冷えた体に温かいめん類はいい。
- ・だしが良い。
- ・量的にもちょうど良かった。
- ・量が多かった。
- ・量少な目の方が良い。
- ・少しだけ甘くしては。
- ・みょうがが惹きたてた。
- ・とろろを入れては。
- ・レモンの味がきつかった。
- ・最初に出してくれたら良かった。
- ・先に温かいものを出して欲しい。
(寒い日は)

◎つみれ汁

魚料理のメニュー化に苦労する中、つみれのメニュー化は地元色も出て、いいアイデアだと認識。

(人)

大変満足	27
満足	15
やや不満	0
不満	0
未回答	0

- ・これが一番美味しかった。
- ・いい味が出た。
- ・つみれが美味しかった。
- ・やわらかくて美味しかった。
- ・美味しかった。温まった。
- ・冷えた体に温かく美味。
- ・あっさりと良かった。
- ・魚は「えそ」？美味しかった。
- ・何のつみれ？と聞いて
「魚のつみれ」では意味不明。
- ・みょうがが惹きたてた。



○サイクリスト向け土産の開発

ポイント：作業所のスキルをいかした商品づくり

★就労支援作業所コラボレーションプロジェクト

→エンドユーザーが見える効率的なビジネス展開

サイクリストを意識した土産が少ないことに着目し、サイクリングの聖地としてのブランドイメージを盛り込んだ「しまなみオリジナルグッズ」を開発し、実際に販売をスタートした。日常でも土産物としても喜ばれる品物にこだわりたいとの意図を、就労支援作業所と相談し、商品開発した。

(オリジナルグッズ)

しまなみの波・山・そして時間を意識。普段使いできる点を重視しながら、商品開発した。

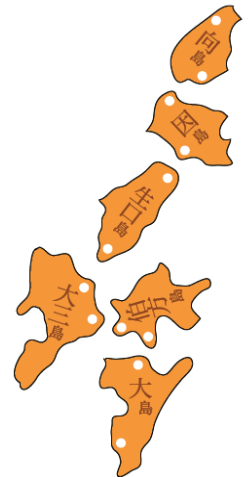
●島走サコッシュ

サイクリング中のちょっとした荷物入れに便利。
島の暖かさを感じる素材選びからタイアップ。
走行中は邪魔にならないベストサイズで仕上げ。



●しましまパーツMIX6

しまなみ海道でつながる島々をモチーフにする
アイデアは作業所からあがる。当初、木製で
チャレンジ。汎用性に着眼し、革製に。



(ノベリティグッズ)

自転車ヒロバから派生し、自転車先進都市いまばりに相応しいイベント。

イベントを支え、地域ファンを増やすオリジナルの商品を共に検討し、製作した。

●ランニングバイク ヘッドマーク

木を使った製品づくりにごだわる作業所ならではの。
木製のヘッドマークは温かみがあり、好評。

●イベント 参加賞

自転車大好きキッズにぴったりの記念品。本物の
木の色を生かした自然素材がうれしい。



取組③自転車ヒロバ

○自転車ヒロバ13回オープン

自転車旅行者のまちなか誘客と並行し、日常的なまちなかの賑わい創出にも自転車活用視点を検討。メイン対象を今治市民の親子に「自転車ヒロバ」を企画し、「シクロカフェ」とセットで試験的にオープンした。

「しまなみ海道」を目的地に訪れる自転車旅行者へのまちなか回遊が少しずつ見られるようになり、橋の上だけではなく、中心市街地でも日常的にサイクリスト往来が目に入るようになった。自転車先進都市・今治をまちのビジョンに掲げる総論が起ころ中、市民の自転車への関心、暮らしに自転車を取り入れるライフスタイルの変容などに踏む込んだプログラムとして手ごたえを感じるものとなった。

■参加人数：延べ1,072人が体験（今治市園児数約5,200人（公私合わせ）の20%を集客）

1回目：平成24年5月26日（土）	in辰の口公園	体験者数：子ども70名
2回目：平成24年6月17日（日）	inふれあいマリン広場	体験者数：子ども32名
3回目：平成24年6月30日（土）	in今治商店街	体験者数：子ども65名
4回目：平成24年7月7日（土）	in今治商店街	体験者数：子ども64名
5回目：平成24年7月14日（土）	in今治商店街	体験者数：子ども57名
6回目：平成24年7月21日（土）	in今治商店街	体験者数：子ども58名
7回目：平成24年8月11日（土）	in今治商店街	体験者数：子ども44名
8回目：平成24年9月22日（土）	in森見公園	体験者数：子ども48名
9回目：平成24年10月13日（土）	in波方児童館	体験者数：子ども44名
10回目：平成24年10月14日（日）	in湯ノ浦温泉グラウンド	体験者数：子ども175名
11回目：平成24年10月28日（日）	in今治商店街	体験者数：子ども110名
12回目：平成24年12月2日（日）	in富田小学校	体験者数：子ども85名
13回目：平成25年2月16日（土）17日（日）	in今治商店街	体験者：子ども220名

バランス感覚やスピード感覚が養え、自転車への移行がスムーズに行えるというランニングバイク「アーリーライダー」を用意、スタート台やスロープを用意し、コースを設置して子どもたちに遊んでもらった。上手に乗れない子にはスタッフが乗り方を指導し、子どもたちが飽きないように工夫を凝らした。はじめは上手にスロープを越えられなかった子も何回かするうちにクリアできたりするなど達成感も味わってもらえた。また、ヘルメット着用を必須とし、幼いうちからヘルメットの重要性を認識してもらうようにした。嫌がる子どもはおらず、自転車＝ヘルメット着用という意識付けとなった。同時にタンデムバイク、チャイルドトレーラー等の試乗も行い、自転車を通じた交流を図ることができた。

（参加者の声）

- ・安全に楽しめるのでいい。
- ・同じ年頃の子どもたちと遊びながらできる。
- ・土曜夜店は子どもが体を動かして遊ぶイベントが多くないのでうれしい。
- ・駐車場情報があり、よかった。公園にくる時、いつも駐車を迷うので。
- ・しまなみがある町として、小さい時から自転車を意識できる取り組みはいい。

<辰の口公園>



<ふれあいマリン広場>



<今治商店街>



<森見公園>



○自転車啓発教室 4 回実施

ポイント：集客施設等との連携で実施

自転車マナーUPプロジェクト →自転車先進都市としてのイメージ向上

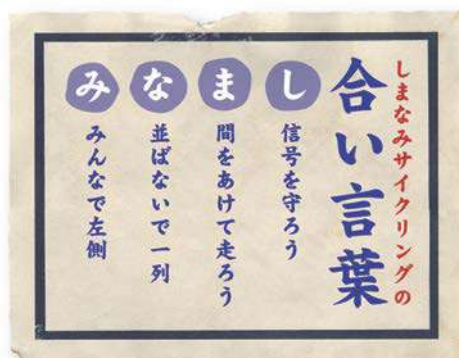
児童・生徒を中心に自転車走行のルールを啓発したり、自転車の楽しさを伝えたりするプロジェクトを展開した。

① サイクリング出発前の規則啓発プログラム構築

サイクリングの出発前に子ども達に特に守って欲しい自転車規則を確実に伝えるためにツールを検討

フリップ作成

覚えやすい、また家庭において親子で復唱できる等をポイントに標語形式を採用し、フリップを作成。また啓発スタッフが着用するTシャツ製作も検討した。



自転車安全運転宣言プログラム構築

曖昧で分かりにくい自転車の規則、車道左側走行の徹底等をクイズ形式で学び、自らの命を守るために自らがスマートライダーになる宣言をするしくみをプログラム化した。

自転車安全宣言のしくみ



②出前講座の実施

参加人数：108名

- | | | |
|--------------------|------------|------------|
| 1回目：平成24年5月25日（金） | in 来島海峡展望館 | 体験者数：約80名 |
| 2回目：平成24年7月15日（日） | in ワールドプラザ | 体験者数：約100名 |
| 3回目：平成24年9月29日（土） | in 本町児童館 | 体験者数：10名 |
| 4回目：平成24年10月13日（土） | in 波方児童館 | 体験者数：44名 |

サイクリングイベントとのジョイント、不特定多数の市民が集うモールでの開催等、多様な層を対象にした自転車走行ルールの啓発の機会を設けた。幅広い年齢層へ自転車走行の正しい知識、日本の交通事情の現状について説明することができた。「自転車間違い探しクイズ」は、違反もしくは危険な乗り方をしている10人を見つけ出すというもので、小さな子どもから大人まで真剣に参加してくれ、自転車への関心の高さがうかがえた。特に親子連れはコミュニケーションを取りながら学び合う姿が見られ、有意義だった。

<来島海峡展望館での様子>



<ワールドプラザ>



資料編（関連新聞記事）

■シクロカフェ

(平成24年)5月27日 日曜日 地方 (8)

公園に移動カフェ

今治自転車客ら立ち寄り

今治市中心市街地の活性化につなげようと、市内のNPO法人シクロツーリズムしまなみ（山本優子代表）が26日、同市通町1丁目の辰の口公園で、サイクリング客に立ち寄ってもらう移動カフェを開いた。多くの市民らが訪れた。

移動カフェは市の地域課題解決活動創出支援事業による社会実験の一環で、今月12日に続き2回目の開催。今

た。サイクリング途中に訪れた同市片山3丁目（村上千菊さん（38））は「普段は寂しい街中の雰囲気がいざやかになって楽しい」と話していた。

（渡部竜太郎）



ランニングバイクに乗り、特設コースを走る子どもたち

2012（平成24）年11月25日 愛媛新聞

■自転車ヒロバ

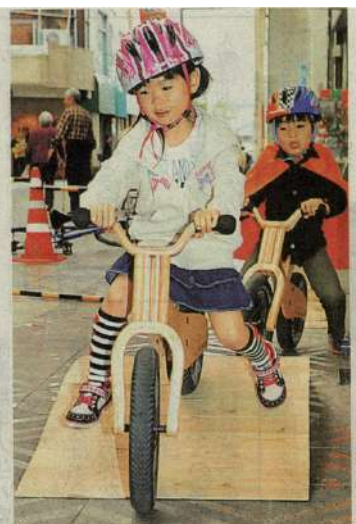
特産市や踊り 中心部に活気

今治

今治市の中心市街地を活性化させるイベント「第2回シンボル広

小路」みんなで創る「軽トラロード・ストリート」が28日、同市本町1丁目の広小路（県道今治港線）などであり、市民らが買い物やダンスパフォーマンスなどを

商店街アーケード内の子ども広場では、地面を蹴って進むペタルのない子ども用ランニングバイクのコースを設置。子どもたちは元気よく走り回り、別宮小1年西原大翔君（7）



ランニングバイクに乗り、特設コースを走る子ども

同市別宮町9丁目には「坂道でスピードが出て楽しかった」と話していた。

（渡部竜太郎）

2012（平成24）年10月30日 愛媛新聞

聞

(第3種郵便物認可)

ランニングバイク今治で人気 試乗会や選手権開催



幼児地を蹴り懸命

ペダルがなく、地面を蹴って進む幼児向けの「ランニングバイク」が今治市で人気だ。地元NPO法人が実施している試乗会は毎回盛況。2012年11月には大規模な大会も開かれるなど、新たな自転車文化が根付き始めている。

ランニングバイクは、店などで1台5千〜2万円程度で販売されてランス感覚を養う乗り物で、07年に米国で誕生。自転車店やおもちゃ

おもちゃ販売の「お台を販売。太道保滋社長

しまなみランニングバイク選手権で、地面を懸命に蹴って進む子どもたち

るまちおこしに取り組むNPO法人シクロツーリズムしまなみ(山本優子代表)の普及活動がある。幼児期から安全な乗り方を学んでもらおうと、12年5月以降、月2回のペースで試乗会を実施。毎回約100人が参加し、市内の公園や商店街などに設置されたコースを元気に走り回っている。当初10台だった貸出数は、人気を受け30台に増やした。

11月には、同市通町3丁目の今治城吹揚公園で第1回しまなみランニングバイク選手権を開催し、県内外から2〜6歳の111人が出場。募集定員を大幅に上回り、キャンセル待ちが出るほどだった。市内から出場した田坂康晴ちゃん(6)は「自分の力で進むのが楽しい。またレースに出たい」と話している。

(渡部竜太郎)

2013 (平成 25) 年 1 月 8 日 愛媛新聞

6. 大・島博覧会に向けた瀬戸内サイクルアクティビティ構築事業（愛媛未来づくり協働提案事業）

聖地・しまなみとして自転車のムーブメントが起こるものの、瀬戸内海を一体的に体感できる演出が未整備で、周遊型・滞在型の観光地として選ばれるエリアとなっていないことに課題意識を持ち、大・島博覧会のインパクトの要となるサイクリングロードの観光資源の付加価値向上に焦点を絞り、瀬戸内海を面で捉えた取組みを多様なステークホルダーの参画型で座談会、公募型ワークショップとして進めた。瀬戸内海を自転車と船で周遊するダイナミックな旅行提案とその受入基盤整備は、国内外へのアピール力が高いことを実感。引き続き、地域ファン獲得や地域振興の担い手育成に取り組みたいとの意識を共有した。

（１）しまなみの航路現状調査

海上交通の物流・人流が縮小する中、域内の航路は減便、廃止が続く。新たに観光交流サービス産業への期待が膨らむ中、住民の足として位置づけられる定期船の観光利用も見られる。クルージングや潮流船等のプログラムも萌芽し、実績を上げている。

本事業では二次交通としての船に着目。サイクリストが気軽に船に自転車を積み込める受入基盤の整備を念頭に、現状の定期路線の調査を行った。

■ エリア内の港の現況



■ 島嶼部への航路・自転車積載状況等の調査一覧

くしまなみエリア＞										
航路	発着港	経由地	発着港	フェリー	高速船	運賃(片道)	自転車搭載 輪行すれば 可(無料)	積載台数	備考	問合せ先
今治⇄大島	今治港	—	下田水港	×	○	¥320	¥240	×	手荷物(輪行袋)にして持込 み可能	協和汽船 0898-22-6825
※10月統合再編 今治⇄大三島	今治港	宗方(大三島) 木江(大崎上島)	宮浦港	○	○	¥990(フェ) ¥1050(高)	¥240	＜高速船＞5台ぐら いまで(予約不可)		大三島ブルーライン 0898-32-6713
今治⇄因島	今治港	友浦(大島) 木浦(伯方島) 岩城(岩城島) 佐島(佐島) 下弓削(弓削) 生名(生名)	土生港	×	○	¥1,700	¥550	5台ぐらいまで (予約不可)	＜積載不可の便＞ 今治発 7:55/14:45 土生発 12:30/17:15	芸予汽船株式会社 0898-32-6712
波止浜⇄馬島	波止浜港	来島・小島	馬島港	○	×	¥260	¥80	複数台	その時の荷物次第。 「10台ぐらいは?」確実と は言えません」	くるしま 0898-41-8425
大島⇄伯方島	宮窪港	鵜島	尾浦港	○	×	¥300	¥120	○	何台でも大丈夫。 車・トラックも可	(有)シーセブン 0897-72-1650
大三島⇄竹原	盛港	大久野島	忠海港	○	×	¥350	¥120	○		大三島フェリー(株) 0846-22-6199
生口島⇄三原	沢港	—	須波港	○	×	¥450	¥120	○		須波航路サービス 0848-67-0777
生口島⇄三原	瀬戸田港	沢(生口島)	三原港	×	○	¥800	¥120	5～10台 (予約可能)	約5台・約10台積載の船あ り。台数多いなら要予約。 船を手配する。	ほうらい汽船 0848-64-0530
生口島⇄尾道	瀬戸田港	沢(生口島) 須ノ上(佐木島) 重井東(因島) 新浜(尾道)	尾道駅前港	×	○	¥800	¥150	15台ぐらいまで (予約可能)	もし20台とかなら連絡を。 大きな船を手配する。	瀬戸内クルーズジング 0865-62-2856
生口島⇄岩城島	洲江港	—	小瀬港	○	×	¥285(人+自転車)		○		三光汽船(株) 0845-28-0035
因島⇄岩城島	土生港	—	長江港	○	×	¥380(人+自転車)		○		長江フェリー 0897-75-2580
因島⇄生名島	長崎港 (長崎棧橋)		立石港	○	×	¥70	¥60	○		生名公営渡船 0897-76-2224
因島⇄弓削島	長崎港 (長崎棧橋)	(生名經由便もあり)	下弓削港	○	×	¥240	¥110	10～15台ぐら いは可能	車は積載不可(二輪のみ)	弓削汽船(株) 0897-77-2052
因島⇄弓削島	家老渡港	—	上弓削港	○	×	¥180(人+自転車)		○		(有)家老渡フェリー 0845-22-4463
因島⇄生口島	金山港	—	赤崎港	○	×	¥95(人+自転車)		○	日曜日は運休	三光汽船(株) 0845-28-0035

因島⇄三原	重井西港	鷺(佐木島)	三原港	○	×	¥600	¥130	○	土生商船(株) 0845-22-1337
因島⇄三原	土生港	立石(生名島) 重井西(因島) 鷺(佐木島)	三原港	×	○	¥1,250	輸行すれば 可(無料)	×	土生商船(株) 0845-22-1337
因島⇄魚島	土生港	下弓削(弓削島) 豊島 高井神島	魚島	×	○	¥1,000	¥310	5 台ぐらいまで	上島町魚島総合支所 0897-78-0011
尾道⇄向島	尾道駅前港	—	富浜(向島)	○	×	¥100	¥10	○	向島運輸(株) 0848-22-7145
尾道⇄向島	土堂	—	小歌島(向島)	○(ハ・ニ 輪のみ)	×	¥60	¥10	○	福本渡船 0848-44-2711
尾道⇄向島	土堂	—	兼吉(向島)	○	×	¥100	¥10	○	尾道渡船 0848-44-0515

くとしまエリア>

航路	発着港	経由地	発着港	フェリー	高速船	運賃(片道)	自転車搭載	積載台数	備考	問合せ先
※10 月統合再編 今治⇄岡村島	今治港	—	岡村港	○	○	¥840(フェ) ¥840(高)	(フェ)¥150 (高)輸行すれば可(無料)	(フェ)○ (高)×		今治市関前支所総務課 岡村港務所 0897-88-2252
竹原⇄大崎上島	竹原港	—	垂水港	○	×	¥330	¥130	○		大崎汽船(株) 0846-22-2390 山陽商船(株) 0846-22-2133
竹原⇄大崎上島	竹原港	—	白水港	○	×	¥340	¥130	○		大崎汽船(株) 0846-22-2390 山陽商船(株) 0846-22-2133
竹原⇄大崎下島	竹原港	大崎上島	大長港	×	○	¥1,350	輸行すれば可(無料)	×		土生商船(株) 0845-22-1337
東広島⇄大崎上島	安芸津港	—	大西港	○	×	¥370	¥130	○		安芸津フェリー(株) 0846-45-0462
大崎上島⇄大崎下島	明石港	—	小長港	○	×	¥250	¥150	○		土生商船(株) 0845-22-1337

(2) 受入基盤整備のための住民座談会開催

周遊型・滞在型のサイクルツアーを造成するにあたり、「波方港」周辺住民をメイン対象とした座談会を開催。自転車を活用した地域振興の可能性、瀬戸内海全体を面で捉えるために求められる地域資源活用のネットワーク化について考えた。

①「サイクリングの可能性」

日 時：平成24年7月2日（月）10：30～12：30

参加者数：48名

「しまなみ海道」の今治市側の玄関口である「レンタサイクルステーション サンライズ糸山」から、海岸線を楽しみながら、四国の最北端へ誘う道。住民曰く「どんづまり」にあるのは、来島海峡大橋や多島美が大パノラマで楽しめる「大角海浜公園」。サイクリングを楽しむエリアとしては面白く、かつ、しまなみ海道、とびしま海道、さざなみ海道周遊トライアングルの起終点として相応しい。そんな地域のポテンシャルを住民が再認識し、今後、おもてなしの体制整備を進めていく仲間づくりの一步を踏み出すものとなった。

せとうち 大三角形構想



▲トライアングルの要としての“波方”を共有。サイクリングブームの追い風に乗れ、滞在を促すしかけが必要！

★過去にチャレンジした取組を棚卸。

課題①住民にとっては「何かやっているなあ」という感覚で、主体的参画が少なかったこと

②1回だけのイベントでは地域の魅力の発信にならないこと

③地域に還元されるメリット（効果）が不明なこと（ゴミだけ残ってはNG）

しまコレフェスタ2009



市民と来訪者の交流拠点 -海の玄関であった「波方フェリー 跡地」の機能継承-

▲竹原行きフェリー航路が廃止された波方港。港湾ビルのリノベーションへの意気込みも。

タンデム自転車・ブラインドサイクリング 2010

息合わせタンデム快走 (2010年9月12日 愛媛新聞)



▲公道走行解禁で一早く取組「タンデムイベント」は「あれがスタートだった」との前向きなコメントも。



▲どんづまりの波方にこそある魅力、そのロケーションの優位性の活かし方を喚起し、サイクリストの取込みに向けての意思を共有し、積極的な意見の交換を行った。

★受入にチャレンジするプログラムをプチ体験

<タンデム自転車の試乗>



▲「わたしら、相性ばっちりやね」「あんたとは気が合わんなあ」といった冗談も飛び交い、梅雨空に笑い声が響きく。自転車がコミュニケーションを楽しむ乗り物であることを体感してもらえた。

<シクロカフェのオープン>



▲自転車を使った移動カフェと初対面。自転車旅行者の飲食に関する嗜好性と、しまなみに求めているものの方向性、そして現実には地元から提供できるもののアイデア交換を行った。

■担い手となる住民のアンケート結果（回答者数 13 名）■

① タンデム自転車の試乗体験について（大変満足・満足 12 名、やや不満 1 名）

- ・とても楽しい。
- ・前に乗れたらいいと思う。
- ・若い人が乗ったらいいと思う。
- ・練習が必要だ。
- ・大いに賛成。ぜひ発展させてほしい。
- ・自転車を活用した地域活性化の要になりそう。
- ・機会があれば参加したい。
- ・普段、自転車にのらない人もできるのが魅力的。

② シクロカフェについて（大変満足・満足 12 名）

- ・地区のイベントで使用したい。
- ・飲食しながら話もでき親近感がわく。
- ・屋外で味わえるのがよい。
- ・他にどんなメニューがあるのか興味がある。
- ・かわいくて近づきたくなる。
- ・のぞきたい、食べたいという気になる。

③ 波方での自転車を使った盛り上げについて（参加したい・内容によっては参加したい 12 名）

- ・できるだけ参加したい。
- ・波方の賑わいを取り戻すためにはいろいろなイベントが必要だと思う。
- ・今日参加して楽しかったので、その楽しさを他の人にも感じてほしい。
- ・いろいろな催し物を企画し、少しでも多くの人々がそれを知ることによって活性化につながれば。
- ・食事の支度程度なら参加したい。
- ・人の集まるところにいるといろいろな話ができて楽しいし、心身ともにプラスになる。

②公共的な空間活用の提案

日 時：平成 24 年 10 月 20 日（土）14：30～12：30

参加者数：40 名

来島海峡大橋や多島美が大パノラマで楽しめる波方町波方の海岸線にサイクリスト誘客を進める目的を地元と共有する中、エリア内にある「波方児童館」等の施設、波方老人クラブ等の団体との協力体制を模索する意見交換を進めた。

この日は、実際に「波方児童館」とのコラボレーションによりイベントを開催。老若男女に自転車の魅力を体感いただくことができた。



- ▲自転車を使った移動カフェは大人気。地元の食材を活用したメニュー開発等に期待感が寄せられた。親子や祖父母に連れられた子ども達が自転車の魅力を体験。しまなみのポテンシャルを共有した。

②「波方フェリー跡地のリノベーション」

エリア：波方住民センター

日時：平成 24 年 3 月 9 日（土）13：00～（夜 試食会）

内容：跡地カフェメニューの開発

対象：波方町周辺住民をメイン対象

地域住民の交流拠点となっている「旧波方保育所」で意見交換。住民の余暇活動として休眠施設を活用しているが、観光的な要素を取り入れた維持管理に前向きな意見が寄せられた。

社会実験として、「船を活用したパイロットツアー」企画で訪れた県内外のサイクリストが「旧波方保育所」で宿泊体験。しまなみ海道のルート上にあり、とびしま海道への航路アクセスも良好な拠点として、評価は高く、住民の受入意欲が高まった。



- ▲東京、大阪、九州等から訪れたサイクリストと意見交換。地元の郷土料理「もぶり飯」・「鯛の浜焼き」等を手づくりし、誕生の背景等、地域の風土を紹介しながら地域の魅力として伝えた。

■パイロットツアー参加者アンケート①（回答者数20名）■

「しまなみ海道・とびしま海道・さざなみ海道」のトライアングルルートの基点でありサイクリスト受入に住民の体制も整いつつある波方の拠点化について伺った。

① サイクリング出発地点に望むもの

※出発地点としやすいまちは、

尾道市（12名）

今治市（7名）

大三島（1名）

と回答。

	(人)
休憩所	6
宿泊所	6
飲食店	4
観光案内所	5
その他	0
未回答	0



② サイクリスト交流拠点に望むもの

	(人)
アクセスのしやすさ（立地条件）	12
情報の充実	6
住民やサイクリスト同士での交流	7
ホスト（案内人・オーナー）の在中	1
自転車ソール等、アクティビティの充実	8
メンテナンス機能の充実	2
飲食メニューの充実	3
土産物の充実	0
その他	2
未回答	0

- ・自転車を組み立てるスペースが欲しい。
- ・メンテナンス機能が欲しい。
- ・無料の駐輪場が欲しい。（3）
- ・交通の便がいいところがベスト。（2）
- ・銀行（ATM）機能があればありがたい。
- ・温泉。

③ 交流拠点整備を進める波方での体験宿泊

※今回は旧波方保育所跡を利用。休眠公共施設の跡地利用の提案として実験。

	(人)
大変満足	10
満足	9
やや不満	0
不満	0
未回答	0



- ・既存施設の利用、無駄が無くて素晴らしい。
- ・施設の有効利用は良いこと。
- ・合宿みたいで。遅くまで交流できた。（2）
- ・懐かしい感じがしてよかった。
- ・広くてゆっくりできた。皆と話せた。（4）
- ・自転車の置き場に苦労しない点がよかった。
- ・食事が最高だった。（4）
- ・地元の人に料理を作ってもらえたのが最高。（2）
- ・布団が気持ちよかった。よく寝られた。（3）
- ・布団が厚く、調整ができなかった。
- ・違和感が面白い。寺にも泊まってみたい。
- ・細やかな心配りに感謝。
- ・トイレの数が少ない。（4）
- ・洗面所は必ずいる。

④ 地元の人の協力体制

※今回は地元の方による地産料理、郷土料理の提供を実験。

	(人)
大変満足	18
満足	2
やや不満	0
不満	0
未回答	0



- ・とても美味しかった。(6)
- ・料理、ここでしか食べられないもの。
- ・その土地の名産がいただけで新鮮で嬉しかった。
- ・食材が新鮮で美味しい。
- ・普段では味わうことができない家庭料理が良かった。
- ・まぜごはんが美味しかった。
- ・大きな鯛に子どもがびっくりだった。
- ・帰ってきてすぐごはんが食べられたのが良かった。
- ・量があって、大満足。
- ・量は食べ切れなくて申し訳なかった。
- ・朝ごはんが充実して満足。
- ・朝早くから朝食もつくっていただき大変満足。
- ・心づくしのお料理とおもてなしに心が温まり、旅がいっそう味わいを増して、お金では買えないものがある。
- ・とても暖かみのある料理や人柄にふれることができた。
- ・家庭料理はお金を出しても食べられない。
- ・アットホーム感がよかった。
- ・その土地を知るのにより経験となった。
- ・もっとお話したかった。
- ・料理の説明がありよかった。

(3) 専門家を招聘した滞在型プランニングのためのアクティビティ検証

サイクリングと船の移動を組み合わせ、広域エリアを楽しむツアーの起終点となる「波方港」周辺において、自然の息吹や季節の変化を五感で体感する資源発掘を進めた。希少生物環境はもちろん、瀬戸内海の文化や暮らしと一体となった里海遊び、潮流が育む豊かな漁場として、産業を支える里海に飛び込むアウトドアカヤックプラン等を盛り込んだイベントを実施。「滞在したくなる」「一泊したくなる」訴求力あるアクティビティや宿泊機能のポイントを学んだ。

① しまコレフェスタ2012の開催

「大角海浜公園のポテンシャル」をいかしたイベントを開催した。

日時：平成24年9月8日（土）14：00～9日（日）10：00

会場：大角海浜公園

内容：サイクリングと一体的なプログラム構築にあたり、海を満喫できるアウトドア・メニューを企画。夕食の提供、キャンプの実施等、宿泊スタイルの提案。「しまなみ海道」沿線には、多くのキャンプ場があり、提案の仕方によっては、家族連れ等に訴求するプログラムとなることが分かった。



▲自転車ヒロバ

2歳から楽しめるランニングバイクの特設コースを設置。今治市内の親子連れにはリピーターも。タンデム自転車体験は大人気。海沿いの直線ルートはプチ体験にぴったり。「自転車ヒロバ」の継続展開を検証したい。



▲シーカヤック体験

来島海峡の潮流を楽しむアクティビティとしてのポテンシャルを確認。サイクリング目的で来訪する旅行者に、しなみでもう一つ楽しめるメニューとして訴求力があり、サイクリングと組み合わせた提案に手ごたえを感じた。



▲投釣り観察会

サイクリングを終えて、夕方や早朝にも楽しめるプログラム。釣れた魚介を夕食で出す等のアレンジ体験の提案も。釣りガイドを養成し、豊かな漁場、その背景にある里海のポテンシャルを伝えたいとの思いを共有。



▲焚き火レストラン

「しまなみ海道」沿線の数あるキャンプ場で実践できるプログラム。牛モモ塊肉の炭火丸焼き、ダッチオーブンで煮込んだスープ等、豪快なアウトドアクッキング。地産の食材を活用したメニュー開発への意見も。



▲自転車キャンプ

潮騒、船の音、点滅する来島海峡大橋、灯台の灯り。ゆっくり流れる時間の中で星空を見上げる過ごし方に共感。朝は、自転車を持ち出しモーニングサイクリング。宿泊することで堪能できる魅力はリピート欲をかきたてるもの。

② マップの作成と配布

「来島海峡大橋」の降口から、「大角海浜公園」や今治市中心市街地に誘うサイクリングマップを作成。「しまコレフェスタ 2012」で来場者に配布する等、「しまなみ海道」と一体的に売り出す資源整理と発信を進めた。

(4) 船を活用したパイロットツアーの企画・実施

サイクリングと船の移動を組み合わせ、広域エリアを楽しむツアーを展開するにあたり、自転車を気軽に持ち込むことができる船の移動手段整備への検証実験を実施した。市外を中心に、公募によりサイクルシップ利用モニターが集結。実際に瀬戸内海を周遊するサイクリングを楽しみながら、船による移動を体験した。

船による移動は瀬戸内海の独自性を満喫できるものとして、予想以上に評価が高いものとなった。また、エコの視点から自転車と船は相性がいいとの意見が多く寄せられ、大・島博覧会へ向けた基盤整備としては、優先順位の高さを感じた。

■日帰りパイロットツアー

「岩城島～今治波止浜港サイクルシップ」

エリア：岩城港～波止浜港

日 時：平成 24 年 7 月 22 日（日）8：00～17：30

参加者：9 名（男性 6 名、女性 3 名）



「大三島～今治波止浜港サイクルシップ」

エリア：宮浦港～波止浜港

日 時：平成 24 年 9 月 16 日（日）8：00～17：30

参加者：4 名（男性 1 名、女性 3 名）



▲往路を自転車、復路を船と使い分け、瀬戸内海を周遊するダイナミックなツアーに参加者は大満足。また、定期便とは違う航路で社会実験し、多様なツアーアレンジと周遊ポイントとなる波方の価値を検証。

■1泊2日パイロットツアー

「タンデム自転車サイクルシップ」

	8:00	9:00	11:00	11:30	12:00	15:00	16:00	18:00	19:00
1日目・9(土)	1 日目は足慣らしをかねて、なかなか訪れる機会の少ない上島町（愛媛県）の島々へアイランドホッピング。しまなみ海道エリアながら、本土への橋では結ばれず、独特な縦島型に包まれたノスタルジックさが魅力の島々です。			●受付開始 今治市内（愛媛）	●今治港発 サイクリング開始 ●出発式・昼食	●上島町生名島 チャーター船	●岩城島 チャーター船	●波方港着 チャーター船	●夕食 今治市波方（愛媛） ●交流会
2日目・10(日)	●起床 ●朝食	●波止浜港 サイクリング開始 チャーター船	安芸灘とびしま海道 走行				●岡村島（愛媛） チャーター船	●今治市内ゴール チャーター船	2 日目は、近年注目度急上昇中の「とびしま海道」を完結！ とびしま海道とは？呉市川尻町から瀬戸内海に浮かぶ下道列島、上道列島、豊島、大崎下島、平瀬島、中ノ島、岡村島まで、7つの島を7つの橋で結ぶ、全長 30km の海道です。

エリア：今治港～上島港～波方港～安芸川尻港

日 時：平成 25 年 3 月 9 日（土）12：00～3 月 10 日（日）17：00

参加者：20 名（男性 13 名、女性 7 名）

■(3/9)12:00 <愛媛県今治市>今治港集合/スタート 千葉、埼玉、神奈川、東京、静岡、滋賀、愛知、大阪、福岡、松山から参加。チャーター船にタンデム自転車 12 台 & シンプル自転車を積み込み、出発！「船での移動がラグジュアリー感いっぱい。自分たちだけでは行けない島々へ行けるのが楽しみ」と、期待感たっぷり。	
■(3/9)13:20 <愛媛県上島町>生名島／生名港 愛媛の北端、上島町生名島で自転車を降ろしてスタンバイ。青い空と青い海に囲まれた一周 9km ほどの生名島サイクリング。親子連れ4組がタンデムにまたがる姿は微笑ましい。視覚に障がいがある方 4 名の内、3名はスタッフが前乗りパイロットを担当。パイロットからの音風景を膨らませて楽しくペダルを踏む。	
■(3/9)14:20 <愛媛県上島町>弓削島 生名橋、弓削大橋を渡り、生名島から弓削島へ。海岸線に続く道、カーブを曲がるたびに移りゆく風景、みなさん眼を奪われて感嘆の声が響く。メインルートを離れて路地裏へ踏み込んでみると、また違った島の一面も垣間見られる。この地域への親近感がどんどん増していく。これが自転車旅の醍醐味かも。	
■(3/9)15:20 <愛媛県上島町>岩城島 弓削島から、再びチャーター船に乗り込んで岩城島へ。一周 10km を潮の香りに頬をなでられながらペダリング。“青いレモンの島”のキャッチコピーの通り、道沿いにはレモンの果実をたわわに実らせた木々がたくさん見られて、記念撮影にいそしむ姿も。オレンジ色の柑橘もそこら中に実り、「愛媛に来てるんだねー！」って会話も。	
■(3/9)19:20 <愛媛県今治市>波方町 岩城島で温泉に入浴をすませて、再び船上の人へ。小一時間で今治市波方町の港へ。宿泊は「旧波方保育所」跡地で、地域住民の憩いの場“波方ふれあいセンター”を開放いただく。「任せといて！」と快く引き受けてくれたお料理は、お魚、海草、野菜と地元産をふんだんに使った心づくしのおもてなし。大好評。	
■(3/10)9:30 <広島県呉市>下蒲刈島 2 日目スタート。今治市波方港からチャーター船で、安芸川尻港へ。今日は、7 つの橋を渡り7つの島を巡る“とびしま海道”をサイクリング。行程は約 45km。島の風景に溶け込むような閑静な佇まいが魅力のルート。ちょっと曇り空ながら、安芸灘大橋を眺めながら、気分は盛り上がり、さあレッツゴー！	
■(3/10)11:00 <広島県呉市>上蒲刈島 日頃からよくタンデム自転車に乗っている愛好者たち。持ち寄った車種も様々。アメリカのメーカー車は、工夫とアイデアが凝縮されていて、すごくユニークなバイクが多い。みんなでタンデム自転車談義に花が咲く。タンデム車を乗り比べるなどして、休憩時間も目一杯楽しむ。	
■(3/10)14:50 <愛媛県今治市>岡村島 御手洗の町並み保存地区も見学して、しぼりたて 100%オレンジジュースでのども潤して、最終目的地まであとひと息。「また違う季節に走りに来てみたい」、「船のおかげで効率よく、たくさんの島々を回れた」と、大満足。最後の橋を渡り、自転車はゴールの岡村島へと進む。	
■(3/10)15:20 帰路船中にて 岡村島から今治港までは約 40 分のクルージング。船中でのイベントの振り返りでは、船を使ったダイナミックなツアーへの高評価をいただく。瀬戸内らしさの演出にぴったりであること、自転車と船の相性のよさに太鼓判！また、自転車愛好者同士、また地元の人との交流意欲が高いこともいかし、次の展開へつなげたい。	

(5) パイロットツアーの評価

パイロットツアーの参加者アンケートを実施した。周遊型・滞在型のサイクリングスタイル定着のために「気軽に自転車を乗せられる公共交通機関の充実」が重要であることが分かった。サイクルシップの就航、もしくは定期便への自転車積載数増加は、大・島博覧会に向けた受入基盤の緊急課題である。

■パイロットツアー参加者アンケート②（回答者数33名）■

「自転車＋船」で瀬戸内海を満喫できるアクティビティとなることを再確認！

海道サイクリングの楽しみ方が大きく広がることを大多数が希望

- ・（サイクルシップ自体が）日常生活では体験できない
- ・海風を感じながら、普段みることのできない船からの風景が瀬戸内らしい
- ・全員が「自転車を気軽に乗せられる船があれば利用したい」と回答

理由：疲れたときや時間を短縮したいときに利用したい

自転車での行動範囲が広がる

船上からの景色が楽しめる

① 瀬戸内海を自転車と船で巡るツアーについて (人)

大変満足	27
満足	6
やや不満	0
不満	0
未回答	0

- ・自分では行けない所に行けた。(2)
- ・個人では行けないルート。新しい発見あり。
- ・定期船の時間の制約があるため、なかなか離島に行く機会が無かった。効率良く島をサイクリングしたのがとても良かった。
- ・チャーター船での無駄のない行程。
- ・船でしか行けない場所、しまなみとは違った風景が大変素晴らしかった。
- ・ツアーに参加しないと体験できない。
- ・ゆったりと廻ることが出来た。
- ・チャーター船を使った旅のラグジュアリー感が半端ない！



- ・色々な景色が楽しめた。
- ・美しい景色の瀬戸内海のクルージングとサイクリングの両方を楽しめるなんともぜいたくな旅。
- ・とてもリッチな気分になった。
- ・船に乗れたのが良かった。
- ・タンDEM自転車のサイクリングに加えてチャーター船でのクルージングがすごく良かった。
- ・船、タンDEM自転車、食事、友人とコミュニケーションが楽しめた。
- ・旅といえば船・温泉・美味しいもの。
- ・重いタンDEMバイクの積み下ろしに感謝。
- ・自転車搬入、固定、搬出に感謝。

② 自転車が気軽に乗せられる船について (人)

また利用したい	33
利用したくない	0
分からない	0
未回答	0

- ・色々な島を再び訪れたい。違ったシーズンに！
- ・離島でポタリングができる。
- ・橋で結ばれてない所も走りたいから。
- ・自転車は手軽で快適な乗り物。エコでできるだけ利用する機会が増えると良いと思う。
- ・船の移動のときに休め、ゆっくり景色を堪能できる。船の時間の制約があり、移動や計画は十分に立てない。



- ・車とは違った景色が味わえる。
- ・自転車の分解等が無く、そのままのせられるのが良い。
- ・行動範囲がとても広がって良い。(2)
- ・自転車では海の上を走れないから。
- ・時間的余裕が助かった。
- ・全ての島をまわってみたい。
- ・スタッフのみなさんにとても良くしてもらった。

■パイロットツアー参加者アンケート③（回答者数7名）■

社会実験「自転車搬送サービス」（お客様の自転車を気軽に搬送できるサービス）について調査。
 拠点に付加したい機能として、引き続きモニタリングしたい。

① 自転車搬送サービスについて

	(人)
大変満足	6
満足	1
やや不満	0
不満	0
未回答	0

- ・タンデムの輸行は大変なので助かる。
- ・何よりも嬉しいサービス。
ぜひ割安でお願いしたい。
- ・飛行機でのアクセスがしやすくなる。
- ・スタート地点まで身軽に移動できる。
- ・自分の自転車で走りたい者にとってありがたい。



- ・事前に送っておけるので当日の準備や移動に体力を使わなくて済む。
- ・手間が省け、元気にサイクリングスタートできる。
- ・結局、分解組立てがめんどくさい。

② 自転車搬送サービス利用料金（片道）について

	(人)
5,000 円まで	6
8,000 円まで	1
10,000 円まで	0
その他	0
未回答	0

③ 自転車搬送サービスの継続について

	(人)
望む	7
望まない	0
わからない	0
未回答	0

資料編（関連新聞記事）

2012（平成 24）年 7 月 3 日
 愛媛新聞

海道振興自転車で
 今治住民ら活用策探る

今治市の NPO 法人「島博覧会」に向け、サイクリング環境を整備しようとして実施した。ワークショップでは、同法人メンバーが、しまなみ海道沿線の自転車イベントや、2 人乗りタンデム自転車などの魅力を説明した。

同法人は県の「愛媛未来づくり協働提案事業」の対象に選ばれており、ワークショップは事業の一環。瀬戸内しまなみ海道で 2014 年開催予定の「大・同所の無職瀬野一雄



さん(67)は「地元でサイクリングが楽しみ、美しい海岸線を見てほしい」と話した。同事業では今後、ワークショップや自転車ツアーのほか、宿泊施設などのサイクリスト受け入れ態勢整備に取り組む。

(渡部竜太郎)

7. その他の自転車ツアー

①パートナーツアー

○ここで漕いで瀬戸内海（今治国際ホテル）

内容：シーカヤックとサイクリングの2つのアウトドアで瀬戸内海を満喫するツアー。

今治国際ホテル～来島海峡大橋～馬島～大島～来島海峡大橋～今治国際ホテル

実績：平成24年5月5日（土）2名

平成24年6月7日（木）2名

○しまなみ日帰りサイクリング（道後八八・道後夢蔵）

内容：道後のオプションプランの位置づけで、タイヤアップ販売する日帰りツアー。

道後温泉旅館から公共交通機関でしまなみin。サンライズ～来島海峡大橋～大島～サンライズ。

実績：平成24年6月24日（日）2名 中止

平成24年7月30日（日）2名

○しまなみスローサイクリングツアー（JR四国）

実績なし

○毎日新聞旅行（毎日新聞旅行主催ツアーのアテンド業務委託）

内容：しまなみ海道を2日間かけて縦断するツアーのアテンド。（今治国際ホテル宿泊プラン）

実績：平成24年12月2日（土）・3日（日）19名

②オーダーメイドツアー

○内容：しまなみでの自転車の個人旅行を個別にコーディネートした。

実績：「しまなみ海道ハーフライド」平成24年4月5日（木）3名（社員旅行）

「タンデム自転車ポタリング」平成24年5月1日（火）2名（個人旅行）

「しまなみ海道ポタリング」平成24年10月22日（月）2名様（個人旅行）

○内容：しまなみでの自転車の団体旅行を個別にコーディネートした。

実績：ザ・ココナツウエルネスクラブ高松 11月2日（金）12名

（スポーツクラブ社員の皆さんにタンデム自転車を使ったツアーを提供。

スポーツクラブ利用者向けのサービスメニューとしての可能性の検討材料目的。）

公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 11月25日（日）4組8名（通訳者含）

（しまなみタンデム自転車ツアーを提供。先方で募集した7名が参加。

尾道側スタートで向島までご案内するツアー。）

③パッケージツアー

○瀬戸内2大海道をサイクリング（ANA・フジトラベル）

・「^{あきなだ}安芸灘とびしま海道」を渡る とびしま島走サイクリング

8/27(土)～28(日) 実績なし

・「しまなみ海道」へ行く しまなみ^{とうそう}島走サイクリング

10/22(土)～23(日) 実績なし

○高知新聞観光 しまなみ海道サイクリングツアー

実 施 日：平成24年4月1日（日） ※集客が少なく、催行不可

平成24年5月13日（日） ※集客が少なく、催行不可

○JTB しまなみ海道タンデム自転車ツアー

実 施 日：平成24年5月26日（土） 2名

平成24年8月24日（金） 4名

平成24年11月23日（金・祝） 3名

8. 物品販売

しまなみに自転車旅行に訪れる人をターゲットにした商品を開発、販売した。

（関連事項）

自転車専用マップ、Tシャツ等の商品、自転車レシキューのしくみに使用している「島走（トウソウ）」の商標登録を進めた。

9. 講師派遣

4月25日（水）	西条市立丹原西中学校	安全な自転車の乗り方と自転車の魅力を伝える「交通安全教室」を担当。原則車道の規則、事故の現状等をフリップで伝え、学校周辺の実走や自転車規則クイズ等の体験的学習で学びを深めた。
7月6日（金）	株式会社しまなみ主催	サイクリングブームの中、道の駅運営者の会議への招聘。サイクリストが利用しやすい施設、サイクリスト向け商品開発などについてニーズに基づいた提案を行った。
8月25日（土）	丸の内朝大学主催	日本はいいな〜と再発見することを目指す「ニッポン再発見クラス」の第3弾が、瀬戸内海「しまなみ」で開校。離島時間を体感するサイクリングを実施した。
8月26日（日）	愛媛県東予地方局主催	近代化産業遺産 Jrマイスター養成講座の講師としてワークショップを担当。自転車の魅力や可能性をレクチャーした後、タンデム自転車試乗による産業観光サイクリングを実施した。
10月26日（金） 11月8日（木）	愛媛大学教育学部 附属中学校	自転車のルールやマナーを啓発すること、かつ、愛媛県が力を入れる自転車による観光振興の取組を体験型で学ぶことを目的に、授業の一環としてのプログラムの講師をつとめた。
10月30日（火）	四国地区用地対策 連絡協議会主催	土木管理等の関連部局行政職員が主要な参加者である研究発表会において、自転車をいかした観光まちづくりを進める上で求められる、自転車専用道の整備、道路シェアの意識啓発等を紹介した。
12月17日（月）	イング総合計画株式会社主催	今治市島嶼部で地域活性化の担い手として活動する「地域おこし協力隊」を対象に、自転車旅行による地域振興活動を紹介した。島嶼部活性化ビジョンを共有し、連携について意見交換を進めた。
2月6日（水） 2月28日（木）	日本食研株式会社 ケーオークラブ	今治市の優良企業主催の交流活動の招聘を受け、世界88カ国・タンデム自転車旅行紀を紹介。経験をいかした自転車まちづくりのビジョンと活動を伝え、企業とNPOとの連携の可能性を共有した。

10. 審議会・委員会・意見交換会への参加

4月4日（水） 9月26日（水）	今治市中心市街地再生協議会総会 今治市中心市街地再生協議会主催	今治市中心市街地の賑わい創出に取り組む協議会の総会へオブザーバー参加。作業部会「サイクル部会」のまちなか再生事業を報告した。
平成24年 毎月1回程度 4月16日（月） ～3月13日（水）	今治市中心市街地再生協議会運営会議 今治市中心市街地再生協議会主催	今治市中心市街地の賑わい創出に取り組む協議会の運営会議へ参加。部会評価や部会間連携のあり方、組織体制構築等を進めた。
平成24年 5月1日（火）	国際的サイクリングイベント勉強会 愛媛県観光物産課主催	自転車の聖地・しまなみへの認知度があがる中、国際的なサイクリングイベント実現に向けた関係者の合意を形成する会議を開催。
平成24年 7月25日（水） 3月22日（金）	しまなみ周遊サイクリング普及事業連絡会議 愛媛県今治支局総務県民室主催	自転車による周遊・滞在型の旅行スタイルを普及させるための各種情報交換、事業の円滑・効果的に実施のための会議を開催。

11. 今治市中心市街地再生事業 事務局（事業主体：今治市中心市街地再生協議会サイクル部会）

「しまなみ海道」を目的地に來訪する自転車旅行者を、中心市街地まで誘客し、賑わい創出を目指す「サイクル部会」の事務局を担当。まちなかでの自転車の利用環境を高め、まちなかの自転車による「回遊性」「移動性」を高める実験的取り組みを踏まえ、交流人口拡大に資するしくみづくり、自転車安全運転等の啓発イベントの開催等を実施した。

※詳細は別紙「今治市中心市街地再生協議会サイクル部会の取り組み」参照

（1）まちなかサイクリングの推進



▲まちなかに伸びるブルーラインを実走。まちなか誘客のベストロード「浜風海道」の発信を目標に。



▲まちなか誘客のしかけとして「風景に溶け込む・交流を促す」をポイントにした「スタンド」製作へ。



▲まちなか滞留&市民のおもてなし参画のしくみとして「自転車休憩所・サイクルオアシス」オープン。

（2）自転車利用の意識向上



▲ヘルメット着用等を参画型で学ぶプロジェクトは高校生主体。2回のスマートライドを実施。



▲命を守るヘルメット着用率UPを目指し、ヘルメットデザインコンテストを開催。市民参画型の啓発活動。



▲まちなかの公共空間を活用した「自転車ヒロバ」の集大成は、サイクリストの卵を育てる「選手権」。